文化に関する世論調査
報告書

平成３１年３月

文　化　庁

目次

Ⅰ．調査概要……1
１．調査目的……1
２．調査項目……1
３．調査対象……1
４．調査期間……1
５．調査方法……1
６．サンプル回収方法……2
７．報告書のみかた……2
８．主な調査結果……3
Ⅱ．調査結果……7
１．回答者のプロフィール……7
２．文化芸術の鑑賞活動……12
３．鑑賞以外の文化芸術活動（創作、出演、習い事、祭、体験活動など）……32
４．子どもの文化芸術体験……45
５．地域の文化的環境……51
６．文化芸術振興に対する寄付に関する意識……66
７．文化芸術の振興と効果……72
８．文化芸術の国際交流・発信……75
Ⅲ．調査票及び集計結果……85
Ⅳ．附属資料……99

Ⅰ．調査概要

１．調査目的

文化に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。

２．調査項目

（１）文化芸術の鑑賞活動
（２）鑑賞以外の文化芸術活動（創作、出演、習い事、祭、体験活動など）
（３）子どもの文化芸術体験
（４）地域の文化的環境
（５）文化芸術振興に対する寄付に関する意識
（６）文化芸術の振興と効果
（７）文化芸術の国際交流・発信

３．調査対象

（１）母集団　全国 18 歳以上の日本国籍を有する者
（２）標本数　3,053 人

４．調査期間

平成 31 年２月 15 日（金）～平成３１年２月 20 日（水）

５．調査方法

ウェブ・パネルを用いたインターネット・アンケート調査

6．サンプル回収方法

2015 年（平成 27 年）国勢調査に基づき、性年齢別（年齢は 18～19 歳、20～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳、70 歳以上の７分類）、都道府県別に回収数を設定し回収した（各条件に応じ、1,316 区分で回収数の割付を実施した）。ただし、特定年齢でサンプル数が不足した場合は、同じ地域の他の県からサンプルを補填している。これにより、性別、年齢区分７分類別、11 地域別でのサンプル数分布は、2015 年国勢調査と同じ分布となっている。

なお、地域区分については、内閣府地域区分Ｃを利用している。

＜参考：内閣府　地域区分Ｃ＞

地域名	都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
北関東	茨城、栃木、群馬、山梨、長野
南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
北陸	新潟、富山、石川、福井
近畿	滋賀、京都、奈良、和歌山、大阪、兵庫
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

7．報告書のみかた

（１）回答は、それぞれの質問の回答者数を母数とした百分率（%）で示している。それぞれの質問の回答者数は、全体の場合はＮ、それ以外の場合にはｎと表記している。

（２）%は小数点以下第２位を四捨五入し、小数点以下第１位までを表記している。したがって、回答の合計が必ずしも 100%にならない場合がある。また、回答率（%）の高い選択肢から並べ替えて表示している場合があり、調査票の選択肢の順番と異なる。

（３）回答者が２つ以上回答することのできる質問（複数回答）については、%の合計は 100%を超えることがある。

（４）集計表は、全体を 10 ポイント以上上回るものに　　10 ポイント以上下回るものに　　の網かけをしている。

（５）各設問の選択肢が長い場合、選択肢を省略して記載している場合がある。

８．主な調査結果

過去１年の鑑賞率は 53.9%、多いジャンルは「美術」、「映画」、「ポップスなど」、「歴史的な建物や文化財」。

過去１年間に何らかの文化芸術を鑑賞した人の割合は 53.9%、また全体の 10.5%は月１回以上鑑賞をしている。学生や自営業主、自由業、農林漁業など時間が取りやすい層や、世帯年収の高い層では鑑賞率が高く、一方、未就学児や小学生の子どもと同居しているなど時間が取りにくい層は鑑賞率が低くなっている。

鑑賞ジャンルとしては「美術」が 45.3%と最も多く、ついで「映画」（43.6%）、「ポップスなど」（31.5%）、「歴史的な建物や文化財」（29.6%）と続く。70 歳以上で「オーケストラなど」、高年齢層全体で「美術」、「演芸」、「花展、盆栽展、茶会、食文化など」、「歴史的な建物や文化財」の回答が多い。一方、「ポップスなど」では、60～69 歳から回答が少なくなっており、「ミュージカル」は 20～29 歳で多く、「アニメ映画など」では、年齢が低い方が回答率が高い。

なお、同居している高校生以下の子どもの鑑賞状況をみると、「映画」と「アニメ映画など」が上位となっている。

鑑賞しない最大の理由は「関心がないから」。関心を持たせることは難しいが、関心が薄くても「鑑賞に行ってしまう」環境整備によりある程度の鑑賞率向上は可能。

鑑賞しなかった理由としては「関心がないから」が 35.4%と最も多く、ついで「特にない・分からない」の 22.8%となっている。この２つを合わせた 58.2%については、文化芸術の鑑賞にそもそも目が向いていない層である可能性が高い。残余の 41.8%については、交通の便や費用の減額などを行うことで、鑑賞率を上げることが期待される。

関心がない層については、その 50.8%が、文化芸術の鑑賞について関心を持つきっかけが「分からない」と回答しており、関心をいきなり高めることは難しい。一方、残りの半数の回答をみると、「無料で見られるコンサートや展覧会などが増える」、「家族や親しい知人・友人に誘われる機会が増える」、「自宅や職場の近くでたくさん催しが行われるようになる」など、関心が薄くても文化芸術鑑賞に「行けてしまう」環境が必要という結果が多くなっている。

また、全員に対して美術館や博物館に行きやすくなる要因を聞いたところ、「入場料が安くなる」という回答が 50.5%と半数を超えており、やはり経済的な要因が大きく出てきている。

鑑賞以外の文化芸術活動をこの１年に実施した割合は 25.3%にとどまる。多いのは創作活動（若年層中心）と「伝統芸能や祭り」（70 歳以上が中心）。

この１年間で、活動経験があるのは 25.3%にとどまる。内容としては「作品の創作」の 8.8%が最も多く、ついで「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」の 6.4%、「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」の 6.2%となっている。「作品の創作」は 30 歳代まで、特に学生に多い。一方、「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」については 70 歳以上の回答が多い。

生活文化や芸術文化の習い事については、全体としては少ないが、世帯年収が高くなると若干実施率が高まる傾向がみられている。

活動の頻度としては、実施している人全体の 42.4%が月１回以上活動している。なお、高校生以下の同居している子どもについては、学校外での鑑賞以外の文化芸術活動を行っている割合が 32.2%と、成人よりも若干高めとなっている。

過去１年間に文化芸術に支援をした割合は 12.2%。多いのは、子ども、高齢者、障害者などの対象を絞った活動への支援。

過去１年間に文化芸術活動へ支援やボランティアをした経験があるのは 12.2%にとどまる。活動内容として最も多いのは「子どもの文化芸術体験のための支援活動」の 4.3%で、ついで「高齢者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動」の 3.6%、「障害者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動」（2.7%）となっており、文化芸術そのものよりも、文化芸術を鑑賞・体験しにくい層への支援が多い。

支援活動をしている割合が比較的高いのは、18～19 歳、20～29 歳や家族に介護・介助が必要な人がいる層となっている。

文化芸術活動や支援活動をしやすくなる条件は「近場で、魅力的な活動が、安く」できること。

文化芸術活動や支援活動が参加しやすくなる条件としては、「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」の 27.6%が最も回答率が高く、ついで「魅力ある内容の活動が行われる」の 27.2%、「活動に参加するための費用の負担が軽くなる」（22.6%）などと続いており、近場で気軽に行えることの重要性が高い。

子どもの文化芸術体系で重要だと考えられているのは「学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる」。文化芸術の体験で身につけてほしいことは「創造性や工夫をする力が高まる」。

子どもの文化芸術体験で重要だと考えていることでは、「学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる」が 34.8%で最も多く、ついで「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる」の 25.7%、「歴史的な建物や遺跡などについての学習する機会を充実させる」の 24.3%が並ぶ。なお、18～19 歳では「郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会を充実させる」も 32.3 %で比較的高くなっており、「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる」については、世帯年収が高いほど、回答率が高い。

一方、文化芸術体験の効果としては、「創造性や工夫をする力が高まる」（49.1%）と最も多く、全体のほぼ半数の人が期待しているという結果となった。２位は「美しさなどへの感性が育まれる」の 38.5%、３位は「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」の 36.3%、４位は「コミュニケーション能力が高まる」の 32.0%である。

70 歳以上では「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」の回答率が高く、介護・介助が必要な同居家族がいる人では、「他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる」という回答が多い。また、子どもの就学状況との関係では、高校生から中学生、小学生、未就学児と年齢が下がれば下がるほど、「美しさなどへの感性が育まれる」、「コミュニケーション力が高まる」という回答が多くなる。

「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」という考えは 74.9%が支持。ただし地域の文化的な環境への満足度は 33.5%にとどまる。地域の文化環境の充実に重要なのは、1 位「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」、2 位「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」、3 位「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」。

「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」について、「そう思う」という回答は 26.7%、「どちらかといえばそう思う」という回答は 48.2%となっている（小計は 74.9%）。一方、そう思わない人の小計は、13.5%にとどまる。年齢では、18～19 歳と 60～69 歳、70 歳以上で支持する人が多い。

一方、住んでいる地域の文化的な環境満足度については、「満足している」（4.1%）、「どちらかといえば満足している」（29.4%）の計 33.5%に対し、「どちらかといえば」を含めた満足していないの小計は 40.3%と、満足していない人の方が多い。また、文化的な環境への満足度を上げるためには「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」（29.5%）、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」（22.5%）、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」（21.6%）、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」（20.9%）、「文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実」（20.4%）、「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進」（19.0%）が必要という回答が多くなっている。なお、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」、「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進」については 70 歳以上で、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」については未就学児と同居している人で、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」については世帯年収が高い人で回答が多くなっている。

地域の伝統や歴史に愛着を持つべきと考えている人は、地域の文化的な環境への満足度も高い。

地域の文化的な環境と「祭りや歴史的建物が地域への愛着や誇りにつながる」という考えの支持の相関をみると、支持している人ほど満足度が高い（そういった考えを持っていない人は満足度が低い）という関係になっている。

この背景としては、地域の伝統や歴史を大切にすべきと考えている人ほど、生まれ育った地域の文化資源に実際に触れることが多く、その結果、文化的な環境の満足度も高まるというつながりがある可能性が指摘される。

文化芸術による社会包摂や共生社会の考え方を知っている人は 21.7%。ただし、学生や、要介護・障害その他で自身の行動に制限がある人、家族に介助・介護が必要な人の認知度は高め。必要な取組の 1 位は「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う」ようにすること。

「文化芸術活動をを通じて、障害者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこう」という社会包摂や共生社会の考え方を知っている人はいまだ 21.7%にとどまるが、学生や自身が要介護・障害その他で行動に制限がある人での認知度は３割以上、家族に介助・介護が必要な人での認知は 40.8%となっており、若い層や当事者に近い層ではある程度考え方が浸透してきている。

社会包摂により共生社会化を進めていく取組としては、「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う」という回答が 42.2%と最も多く、ついで「障害の有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の整備」（32.5%）、「音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実」（31.2%）、「博物館や高齢者、生活困窮者の博物館・美術館などの入場料を低額もしくは無料にする」（26.4%）など、ハンディキャップをなくす方向性のものが上位を占めた。

文化芸術に寄付をしたことがある比率は 5.6%だが、今後してみたいは 31.0%。ともに 18～19 歳と 70 歳以上で多い。また世帯年収が高い人も寄付をした比率が高い。寄付をしやすくするためには、情報の公開が進むことや優遇措置の拡充が必要。

文化芸術に寄付を「したことがある」という回答は 5.6%にとどまった。一方、「したことはないが、今後はしてみたい」は 31.0%で、両者の計は 36.6%となる。18～19 歳と 70 歳以上は、「したことがある」の比率も、「したことはないが、今後はしてみたい」の比率も高め。また、世帯収入が 1,000 万円以上の人では、12.7%が「したことがある」と回答している。

寄付がしやすくなる要因としては、「寄付金の収支が明確になること」の 29.9%が最も多く挙げられている。ついで「寄付に関する基礎的な情報が提供されること」（29.3%）、「寄付に対する控除など、納税の際の優遇措置が拡充されること」（26.4%）、「寄付先の活動状況や財務情報が積極的に公開されること」（25.1%）となっており、適切な情報の公開や優遇措置の拡充が求められている。

文化財の観光資源化にとって最も重要なのは「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」の 48.8%。ついで「周辺環境が整備されている」、「文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある」、「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」と続く。

文化財の観光資源化にとって最も重要なのは「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」（48.8%）で、ほぼ半数が回答している。ついで「周辺環境が整備されている」（33.5%）、「文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある」（30.1%）、「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」（29.8%）が 30%内外で並んでいる。

18～19 歳や学生では「公衆無線ＬＡＮなどの通信環境が整備されていることにより、観光地において文化財に関する情報が入手しやすい」、70 歳以上では「文化財の所在や内容に関する情報が充実していて分かりやすく表示・解説されている」という回答も多い。また、「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」という考えに「そう思う」と回答した人では、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」や「地域の芸能や祭りなどの継承・保全」を中心に、多くの項目で回答率が最も高くなっている。

国際的な文化交流の意義は、１位「国際関係の安定につながる」、２位「国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展」。発信すべき文化は、「日本の伝統音楽」、「伝統芸能」、「食文化」。

国際的な文化交流の意義としては、「国際関係の安定につながる」という意見が 40.9%で最も多く、ついで「国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展」の 38.2%、「世界の文化の発展につながる」の 37.4%、「訪日外国人客の増加や日本産品の海外展開につながる」の 33.0%と続く。

18～19 歳と世帯年収が高い層で「訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる」という回答が多く、70 歳以上と介護・介助する家族がいる人で「国際関係の安定につながる」の回答率が高くなっている。介護、介助する家族がいる人では「国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展」との回答も多い。

また、日本の文化芸術の魅力として発信すべき分野としては、「日本の伝統音楽」が 45.1%で最も多く、ついで「伝統芸能」（42.8%）、「食文化」（39.3%）、「美術」（35.0%）、「歴史文化」（34.2%）、「生活文化」（33.0%）と続いており、日本の伝統や歴史に基づく文化を発信すべきという意見が多い。特に 70 歳以上では、「美術」や「伝統芸能」の回答が多くなっている。一方、18～19 歳や学生では「文学」、「マンガ、アニメなど」という回答率も高い。また、世帯年収が高いほど「美術」「映画」という回答も増える傾向にある。

東京 2020 大会関連の文化イベントの参加が拡大するためには「チケット代が安くなる」（49.2%）ことが必要。

全体のほぼ半数（49.2%）が「チケット代が安くなる」ことが必要と回答。ついで「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」の 44.2%、「多言語による案内や解説が充実する」33.8%などが並ぶ結果となった。

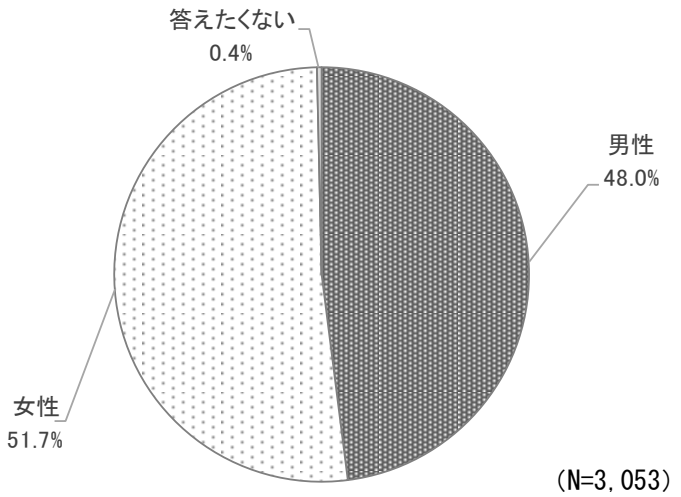
Ⅱ．調査結果

1．回答者のプロフィール

（1）性別

性別は、「男性」48.0%、「女性」51.7%、「答えたくない」0.4%となった。

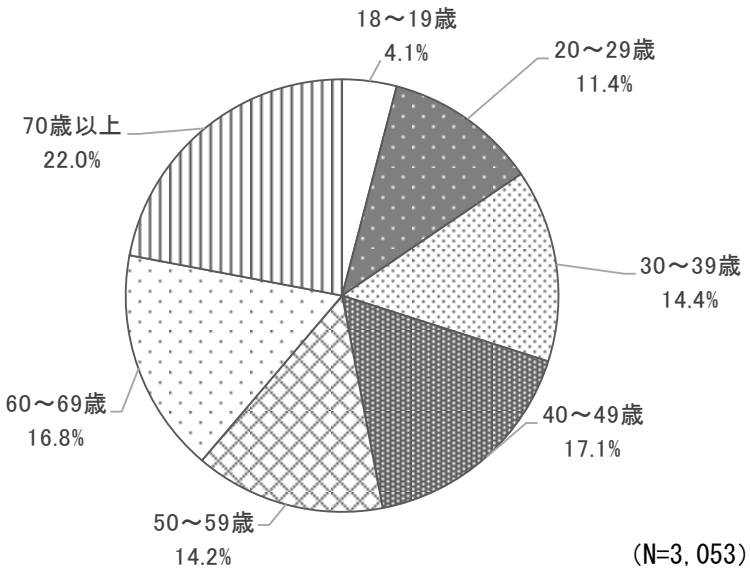
図1－（1）　性別



（2）年齢

最も多い年齢は、「70 歳以上」の 22.0%で、ついで「40～49 歳」の 17.1%、「60～69 歳」の 16.8%となっている。

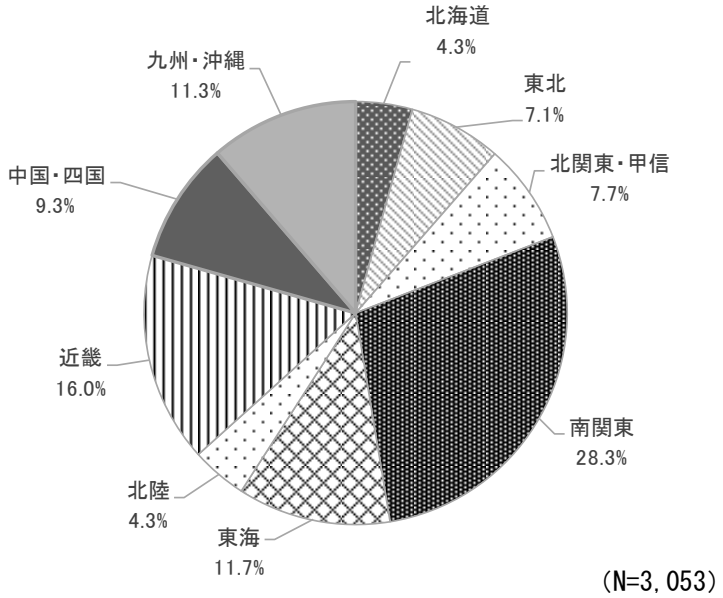
図1－（2）　年齢



（3）居住地

最も多いのは「南関東」の 28.3%で、ついで「近畿」の 16.0%となる。なお、四国、沖縄の地域区分については、構成比（平成 27 年時点での国勢調査構成比に合わせたサンプル構成比）が少ないため、それぞれ中国、九州と併せている。なお、中国の構成比は 6.1%、四国は 3.2%、九州は 10.2%、沖縄は 1.1%となっている。

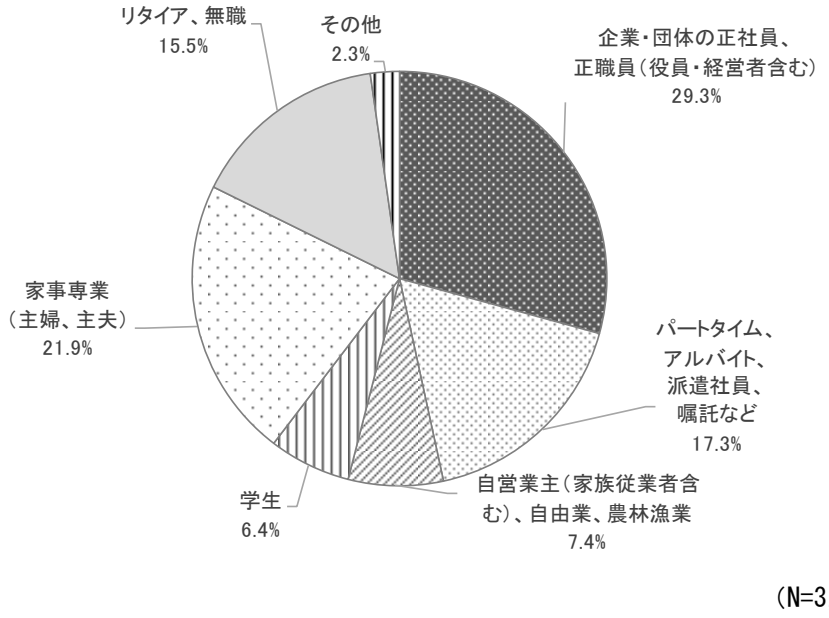
図１－（３）　居住地



（4）職業

職業では「企業・団体の正社員、正職員」が 29.3%で最も多く、ついで「家事専業」の 21.9%、「パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など」の 17.3%、「リタイア、無職」の 15.5%と続く。

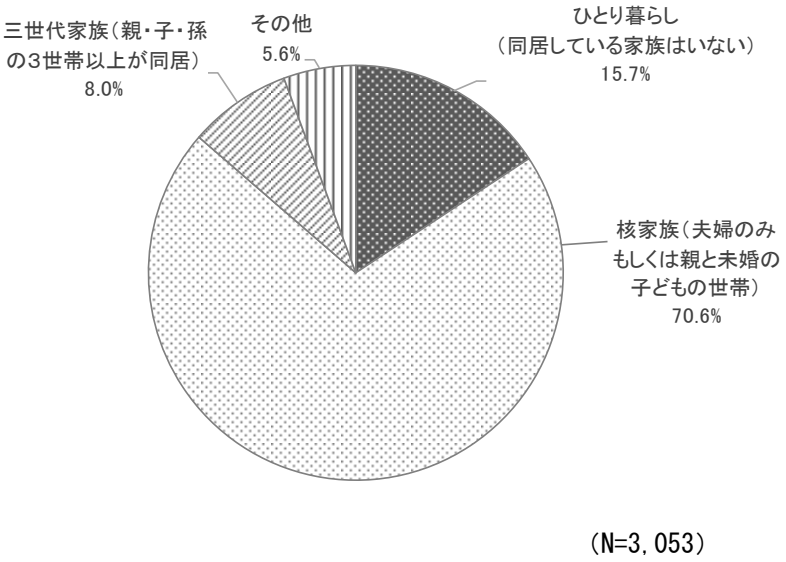
図１－（４）　職業



（5）家族形態

家族形態では、「核家族」が 70.6%で大半を占め、ついで「ひとり暮らし」15.7%、「三世代家族」8.0%となる。

図１－（５）　家族形態

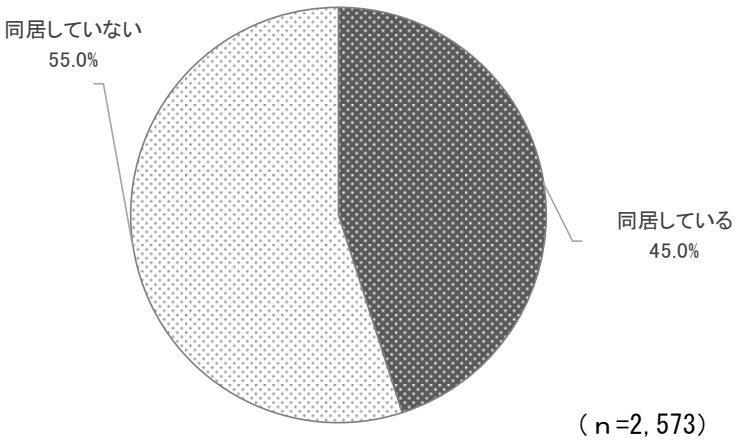


【（５）で『2.核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）』～『4.その他』　いずれかを選択した方】

（５）－①　子どもとの同居の有無

「ひとり暮らし」以外の家族形態で、子どもと「同居している」割合は 45.0%である。

図１－（５）－①　子どもとの同居の有無

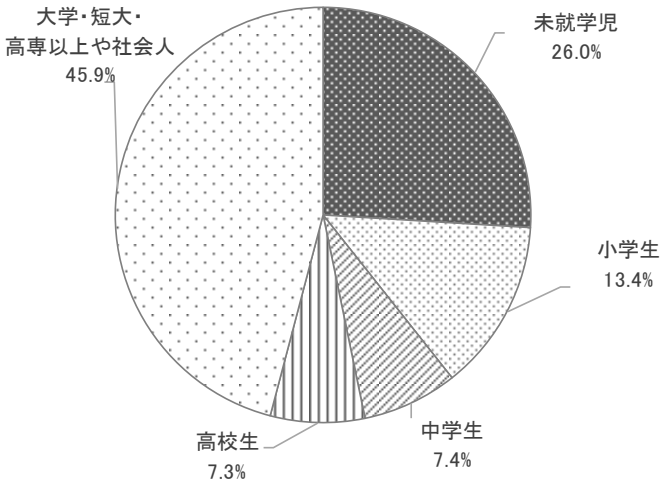


【（5）―①で『1.同居している』を選択した方】

（5）－② 同居の末子の成長段階

子どもと同居している世帯での末子の成長段階を就学状況でみると、「未就学児」が 26.0%で最も多く、ついで「小学生」13.4%、「中学生」7.4%、「高校生」7.3%となる。

図１－（５）－②　同居の末子の成長段階

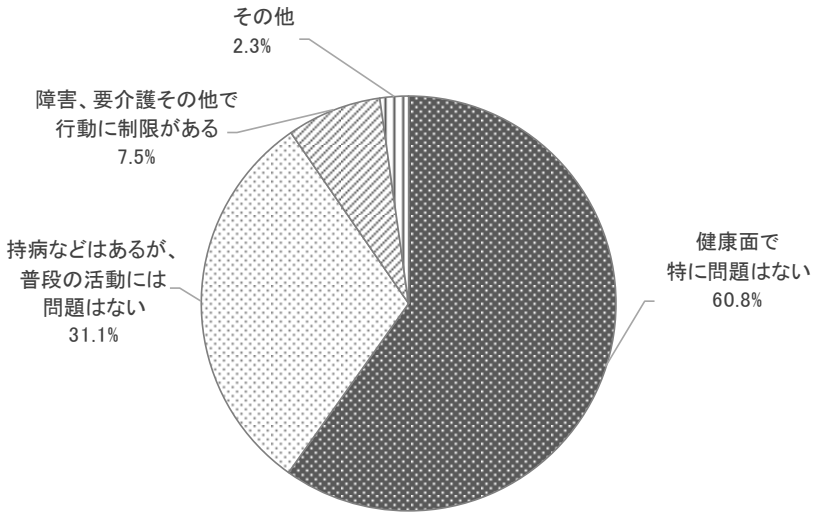


（ｎ=1,159）

（6）回答者の健康状態

回答者のうち「健康面で特に問題はない」人は 60.8%、「持病などはあるが、普段の活動には問題はない」は 31.1%と全体の 91.9%は文化芸術活動に影響のない健康状態にある。一方、「障害、要介護その他で行動に制限がある」人の割合も 7.5%に上っている。

図１－（６）回答者の健康状態



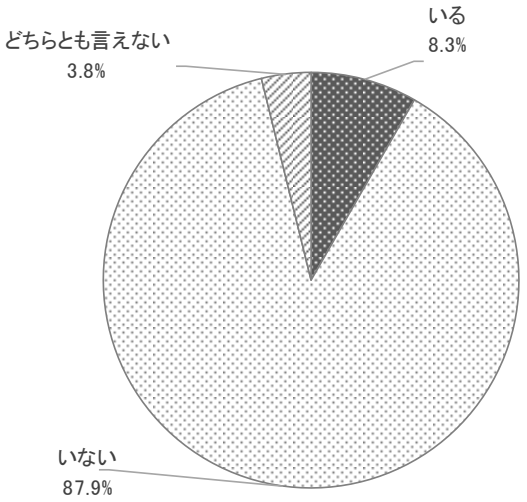
(N=3,053)

【（5）で『2.核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）』～『4.その他』　いずれかを選択した方】

（7）介護・介助の必要な同居家族の有無

ひとり暮らし以外の家庭で介護・介助が必要な同居家族が「いる」世帯の割合は 8.3%となった。

図１－（7）介護・介助の必要な同居家族の有無

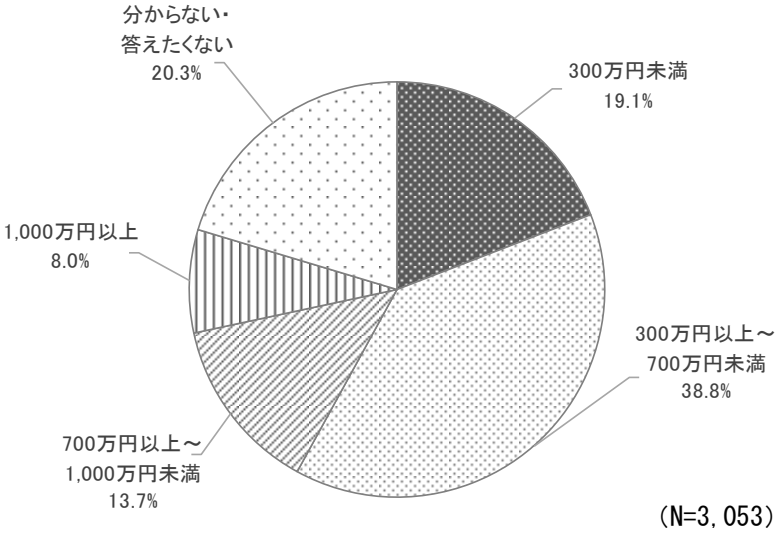


（n=2,573）

（8）世帯年収

世帯年収では「300 万円以上～700 万円未満」が 38.8%で最も多く、ついで「300 万円未満」の 19.1%、「700 万円以上～1,000 万円未満」の 13.7%となった。

図１－（8）世帯年収



（N=3,053）

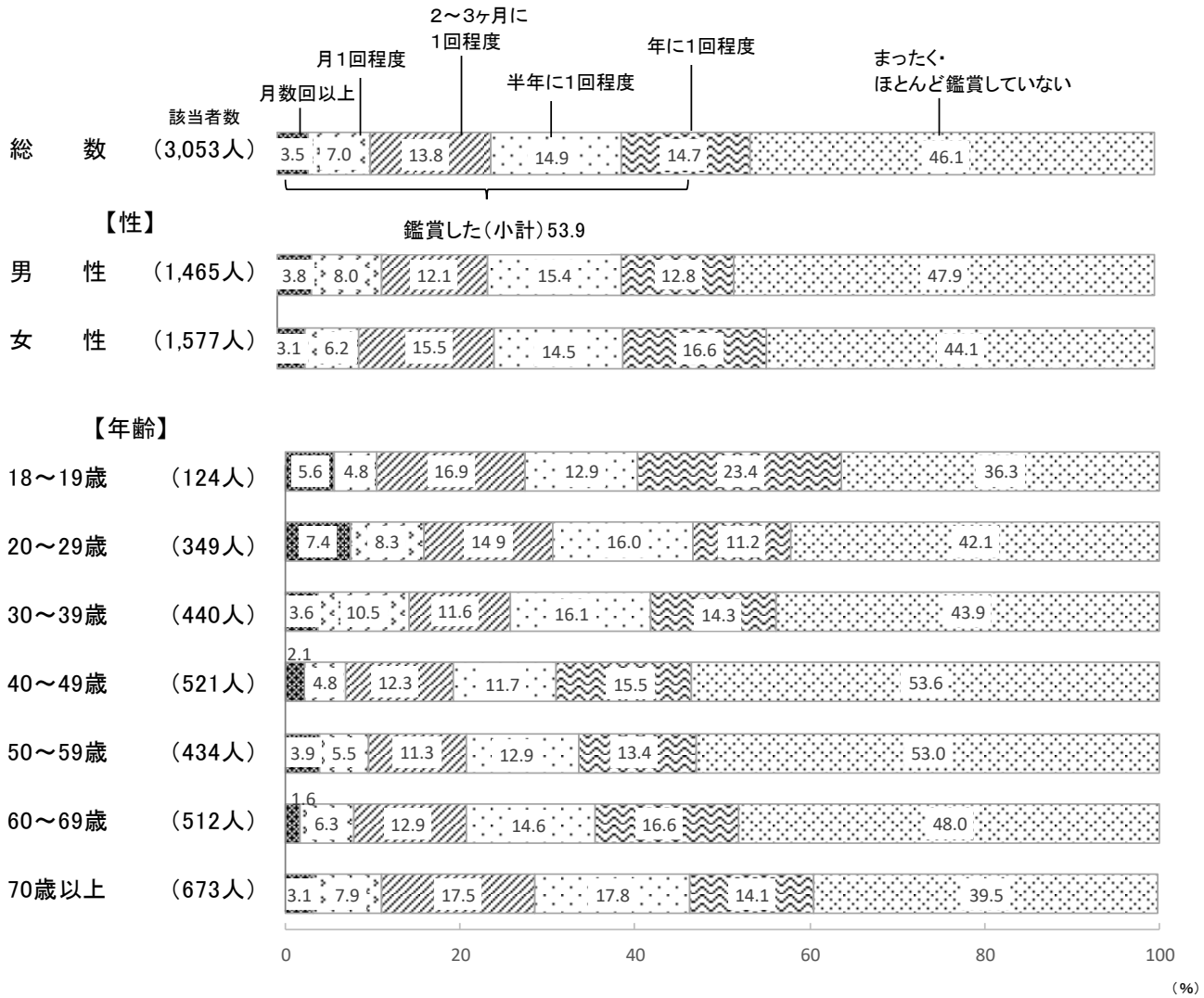
２．文化芸術の鑑賞活動

Ｑ１	あなたは、この１年間で、どの程度、コンサートや美術展、アートや音楽のフェスティバル、歴史的な文化財の鑑賞、映画その他の文化芸術イベントを鑑賞しましたか。

全体では、この１年間鑑賞した人が 53.9%、「まったく・ほとんど鑑賞していない」が 46.1%となった。頻度では、「半年に１回程度」が 14.9%と最も多く、続いて「年に１回程度」の 14.7%、「２～３ヶ月に１回程度」の 13.8%となる。月１回以上鑑賞している鑑賞頻度の高い層は計 10.5%である。

性別では、男性で、年齢別では 40～49 歳と 50～59 歳で「まったく・ほとんど鑑賞していない」という回答が多い。

図Ｑ１　文化芸術の鑑賞頻度



居住地域では、近畿（43.3%）、中国・四国（43.5%）で「まったく・ほとんど鑑賞していない」という回答がやや少なく、鑑賞が活発な傾向がみられる。職業別では学生（33.3%）、自営業主、自由業、農林漁業（41.3%）で、世帯年収では 1,000 万円以上（31.8%）で同様に「まったく・ほとんど鑑賞していない」比率が低い。この背景としては、都市部の文化施設の多さ、職業面での時間の融通の付けやすさ、経済的な余裕があると考えられる。

一方、未就学児や中学生との同居家族では、「まったく・ほとんど鑑賞していない」という回答が多くなっている。

表Ｑ１　文化芸術の鑑賞頻度

		Ｎ＝	月数回以上	月1回程度	2～3ケ月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	まったく・ほとんど鑑賞していない
全体		3053	3.5	7.0	13.8	14.9	14.7	46.1
性別	男性	1465	3.8	8.0	12.1	15.4	12.8	47.9
	女性	1577	3.1	6.2	15.5	14.5	16.6	44.1
	答えたくない	11	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	72.7
年齢別	18～19歳	124	5.6	4.8	16.9	12.9	23.4	36.3
	20～29歳	349	7.4	8.3	14.9	16.0	11.2	42.1
	30～39歳	440	3.6	10.5	11.6	16.1	14.3	43.9
	40～49歳	521	2.1	4.8	12.3	11.7	15.5	53.6
	50～59歳	434	3.9	5.5	11.3	12.9	13.4	53.0
	60～69歳	512	1.6	6.3	12.9	14.6	16.6	48.0
	70歳以上	673	3.1	7.9	17.5	17.8	14.1	39.5
居住地域	北海道	132	2.3	5.3	10.6	14.4	18.2	49.2
	東北	217	3.7	6.0	13.8	14.7	15.2	46.5
	北関東・甲信	235	2.1	3.0	20.0	16.2	11.9	46.8
	南関東	863	4.2	7.1	15.4	15.6	12.6	45.1
	東海	357	3.4	8.7	11.8	14.3	14.8	47.1
	北陸	130	1.5	6.2	12.3	17.7	14.6	47.7
	近畿	490	3.7	10.0	14.5	15.1	13.5	43.3
	中国・四国	283	3.5	8.5	12.7	11.0	20.8	43.5
	九州・沖縄	346	3.5	4.3	9.2	15.0	17.1	50.9
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	3.7	9.3	16.3	14.0	12.5	44.2
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	3.2	5.5	12.1	14.2	16.3	48.8
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	5.3	8.0	12.0	19.1	14.2	41.3
	学生	195	8.2	5.6	16.9	17.9	17.9	33.3
	家事専業（主婦、主夫）	669	2.2	6.0	14.2	15.5	16.4	45.6
	リタイア、無職	472	2.3	5.9	10.0	13.6	14.0	54.2
	その他	69	2.9	8.7	13.0	13.0	13.0	49.3
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	6.3	8.1	14.2	15.0	12.9	43.5
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	2.7	6.9	14.0	15.4	15.3	45.8
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	5.3	8.2	13.5	13.9	14.7	44.5
	その他	172	2.3	4.7	11.0	9.9	13.4	58.7
子どもとの同居	同居している	1159	2.4	7.2	13.6	13.3	14.2	49.2
	同居していない	1414	3.4	6.5	13.8	16.2	15.8	44.3
末子の成長段階	未就学児	301	2.3	8.6	8.6	13.3	14.6	52.5
	小学生	155	4.5	7.7	14.2	10.3	14.2	49.0
	中学生	86	2.3	9.3	16.3	9.3	10.5	52.3
	高校生	85	1.2	5.9	10.6	15.3	17.6	49.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	2.1	6.2	16.4	14.5	14.1	46.8
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	3.2	6.8	14.8	14.7	14.2	46.3
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	4.0	7.5	13.6	16.7	15.7	42.5
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	4.7	7.9	8.4	9.8	18.1	51.2
	その他	69	1.4	7.2	4.3	4.3	11.6	71.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	9.9	11.7	10.8	16.0	15.5	36.2
	いない	2261	2.2	6.4	14.3	15.0	15.1	47.0
	どちらとも言えない	99	5.1	7.1	7.1	9.1	14.1	57.6
世帯年収	300万円未満	584	3.4	5.3	11.5	12.8	13.0	53.9
	300万円以上～700万円未満	1186	2.5	7.4	14.6	16.8	16.6	42.1
	700万円以上～1,000万円未満	417	4.6	9.4	13.4	17.3	15.3	40.0
	1,000万円以上	245	4.9	15.1	20.0	15.1	13.1	31.8
	分からない・答えたくない	621	4.0	3.2	12.2	11.6	13.0	55.9

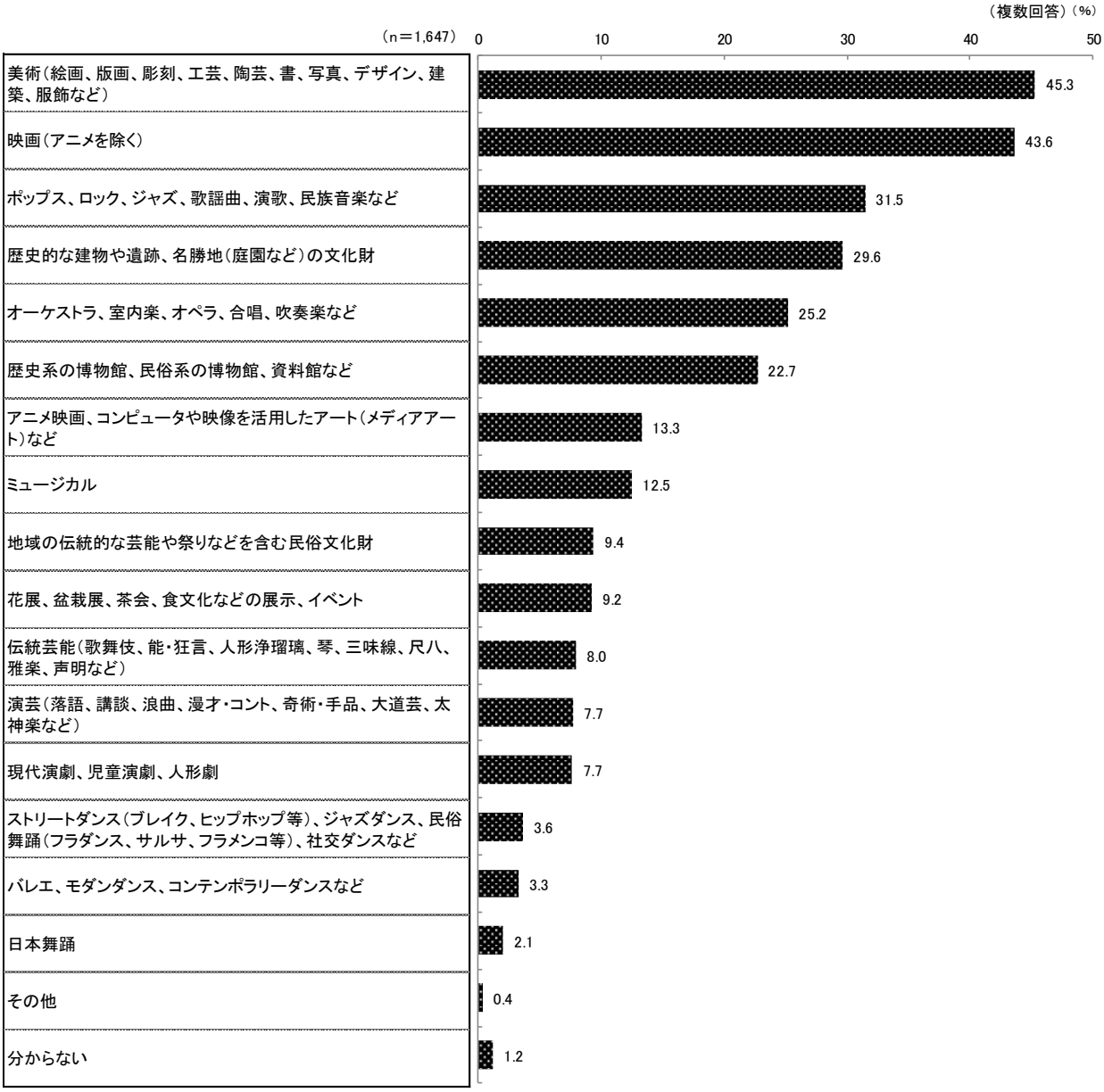
【Q1 で『1.月数回以上』～『5.年に１回程度』　いずれかを選択した方】

Q２	あなたが、この１年間に鑑賞した文化芸術のジャンルは何ですか。（複数回答）

ジャンルとしては「美術」が 45.3%と最も多く、ついで「映画」（43.6%）、「ポップスなど」（31.5%）、「歴史的な建物や文化財」（29.6%）と続く。

※問１で文化芸術イベントを「まったく・ほとんど鑑賞していない」に回答した人は設問の対象となっていない。このため、文化芸術という言葉から連想されにくいジャンル（映画、文化財など）については、数値が低めに出ている可能性があることに留意が必要である。

図Ｑ２-①　鑑賞した文化芸術のジャンル



性別では、「ミュージカル」「バレエなど」「伝統芸能」で女性の回答比率が高め、年齢では、70 歳以上で「オーケストラなど」、「美術」の回答が多く、18～19 歳、20～29 歳では「美術」の回答が少ない。また、「ポップスなど」では、60～69 歳から回答が少なくなっており、「ミュージカル」は 20～29 歳で多くなっている。

職業では、パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託などで「オーケストラなど」の回答が少なめ、未就学児、小学生と同居している人では「現代演劇、児童演劇、人形劇」が多め、また、「現代演劇、児童演劇、人形劇」「ストリートダンス、ジャズダンス、民族舞踊、社交ダンスなど」「日本舞踊」を除き、世帯年収が高い方が回答率が高くなる傾向がみられる。

表Ｑ2-①-[1]　鑑賞した文化芸術のジャンル

		n＝	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民族舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
全体		1647	25.2	31.5	45.3	7.7	12.5	3.3	3.6	2.1	8.0
性別	男性	763	25.8	31.1	43.9	7.9	10.4	2.1	3.1	2.5	6.4
	女性	881	24.7	31.7	46.7	7.4	14.3	4.3	4.1	1.7	9.3
	答えたくない	3	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳	79	30.4	38.0	30.4	7.6	13.9	1.3	1.3	2.5	7.6
	20～29歳	202	23.3	38.6	34.2	9.9	22.8	5.0	9.4	4.5	6.4
	30～39歳	247	20.2	40.1	41.3	8.1	16.2	2.0	4.0	1.2	6.1
	40～49歳	242	17.4	37.2	39.7	9.9	10.7	2.5	2.5	0.4	3.3
	50～59歳	204	21.6	36.8	46.1	7.4	10.8	4.4	2.0	0.5	6.9
	60～69歳	266	24.1	25.2	50.0	7.5	11.7	2.6	2.6	1.9	10.5
	70歳以上	407	35.4	19.4	56.0	5.2	7.4	3.9	3.2	3.2	11.5
居住地域	北海道	67	29.9	23.9	44.8	1.5	22.4	1.5	6.0	3.0	0.0
	東北	116	28.4	37.1	41.4	10.3	9.5	4.3	2.6	2.6	7.8
	北関東・甲信	125	22.4	32.8	46.4	5.6	12.0	3.2	1.6	1.6	4.8
	南関東	474	30.2	32.5	48.7	8.9	16.5	4.9	3.8	2.1	9.5
	東海	189	24.9	32.3	42.3	4.2	10.1	2.1	4.8	1.1	6.9
	北陸	68	20.6	22.1	48.5	5.9	10.3	2.9	4.4	2.9	5.9
	近畿	278	21.2	34.5	47.1	12.2	10.4	2.5	3.6	2.5	9.4
	中国・四国	160	20.6	32.5	36.3	3.8	9.4	1.9	2.5	1.3	8.8
	九州・沖縄	170	22.4	23.5	45.3	7.1	10.0	2.9	4.1	2.4	8.2
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	499	24.2	39.7	42.3	9.8	16.2	2.8	5.2	2.4	7.0
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	271	16.6	36.2	38.0	5.9	12.5	2.6	2.6	1.1	5.5
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	132	29.5	34.1	47.0	10.6	6.8	5.3	2.3	2.3	13.6
	学生	130	23.8	34.6	36.9	7.7	18.5	4.6	4.6	2.3	6.2
	家事専業（主婦、主夫）	364	29.4	23.1	53.3	7.4	11.0	3.8	3.6	1.9	9.9
	リタイア、無職	216	28.7	19.9	50.5	3.2	6.5	1.9	1.9	2.3	6.9
	その他	35	28.6	14.3	54.3	8.6	11.4	5.7	2.9	2.9	11.4
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	271	24.4	33.9	42.1	7.4	12.9	3.3	4.4	3.3	7.0
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	1169	25.7	30.5	47.1	6.9	11.4	2.7	3.1	1.3	7.8
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	136	25.7	35.3	36.0	14.7	20.6	7.4	7.4	5.1	11.0
	その他	71	18.3	29.6	45.1	7.0	14.1	4.2	2.8	4.2	8.5
子どもとの同居	同居している	589	25.1	32.9	43.3	8.8	11.7	3.6	4.2	2.4	8.3
	同居していない	787	25.5	29.5	47.9	6.9	13.0	3.0	2.9	1.4	8.0
末子の成長段階	未就学児	143	25.2	35.0	31.5	12.6	14.7	4.2	7.7	1.4	4.9
	小学生	79	30.4	38.0	40.5	10.1	17.7	2.5	5.1	2.5	6.3
	中学生	41	17.1	36.6	41.5	7.3	7.3	0.0	7.3	2.4	9.8
	高校生	43	23.3	30.2	48.8	4.7	14.0	7.0	0.0	2.3	7.0
	大学・短大・高専以上や社会人	283	25.1	30.4	49.5	7.4	8.8	3.5	2.5	2.8	10.6
健康状態	健康面で特に問題はない	996	23.8	32.2	43.8	6.8	14.2	3.3	4.3	1.6	7.7
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	545	28.3	31.4	48.1	9.2	9.9	3.5	2.8	2.9	8.3
	障害、要介護その他で行動に制限がある	105	24.8	25.7	45.7	6.7	11.4	1.9	3.8	2.9	10.5
	その他	20	15.0	25.0	40.0	10.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	136	35.3	37.5	50.0	16.2	19.9	7.4	6.6	6.6	16.9
	いない	1198	24.5	29.9	45.7	6.7	11.6	2.8	3.2	1.3	7.3
	どちらとも言えない	42	16.7	40.5	40.5	9.5	11.9	2.4	2.4	0.0	2.4
世帯年収	300万円未満	269	24.2	28.3	41.6	5.6	10.4	1.5	2.6	2.6	7.4
	300万円以上～700万円未満	687	26.8	30.9	42.9	7.9	11.5	2.6	3.6	1.9	7.3
	700万円以上～1,000万円未満	250	27.2	32.4	46.0	7.6	12.0	3.6	2.8	2.0	8.0
	1,000万円以上	167	28.7	40.1	53.9	10.8	19.2	6.0	4.2	2.4	13.8
	分からない・答えたくない	274	18.2	29.9	48.9	7.3	13.5	4.7	5.1	1.8	6.6

男性の回答が多めなのは「映画」、「アニメ映画など」、「歴史的な建物や文化財」、「歴史博物館など」、女性が多めなのは「花展、盆栽展、茶会、食文化など」となっている。年齢別では、「演芸」、「花展、盆栽、茶会、食文化など」、「歴史的な建物や文化財」で年齢が高い方が回答率が高くなる傾向がみられる。逆に「アニメ映画など」では、年齢の低い方が回答率が高い（「アニメ映画など」は学生、未就学児と同居している人も高い）。

「映画」、「歴史博物館など」では、世帯年収が高いほど回答率が高い傾向がみられる。

表Ｑ２-①-[2]　鑑賞した文化芸術のジャンル

		n＝	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）	花展、盆栽展、茶会、食文化などの展示、イベント	映画（アニメを除く）	アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアートなど）	歴史的な建物や遺跡、名勝地（庭園など）の文化財	歴史系の博物館、資料館など、民俗系の博物館	地域の伝統的な芸能や祭りなどを含む民俗文化財	その他	分からない
全体		1647	7.7	9.2	43.6	13.3	29.6	22.7	9.4	0.4	1.2
性別	男性	763	8.4	6.9	45.7	15.7	31.7	25.2	11.9	0.1	1.2
	女性	881	7.2	11.2	41.8	11.1	27.8	20.7	7.3	0.6	1.2
	答えたくない	3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳	79	3.8	0.0	41.8	30.4	8.9	11.4	3.8	1.3	0.0
	20～29歳	202	5.4	4.5	51.5	27.2	22.3	14.9	6.9	0.5	2.5
	30～39歳	247	6.5	4.5	46.2	23.9	21.1	20.6	10.5	0.0	2.4
	40～49歳	242	5.4	5.0	45.5	17.4	23.1	19.0	7.9	0.4	1.2
	50～59歳	204	7.4	9.3	50.5	9.3	27.9	20.6	6.4	0.5	1.0
	60～69歳	266	8.3	9.8	40.6	3.8	37.6	28.2	10.5	0.0	0.8
	70歳以上	407	11.5	18.4	35.9	2.5	42.0	29.7	12.8	0.5	0.5
居住地域	北海道	67	1.5	7.5	52.2	11.9	25.4	25.4	13.4	0.0	0.0
	東北	116	8.6	5.2	39.7	13.8	27.6	19.0	6.9	0.9	0.9
	北関東・甲信	125	6.4	9.6	40.0	8.0	28.0	18.4	11.2	0.0	0.8
	南関東	474	9.3	10.1	50.0	16.5	29.3	23.6	10.3	0.0	1.5
	東海	189	6.9	10.1	36.0	10.1	34.9	31.2	9.5	0.0	1.1
	北陸	68	8.8	10.3	44.1	8.8	26.5	27.9	14.7	0.0	1.5
	近畿	278	9.0	10.1	45.3	13.7	29.9	21.6	6.5	0.4	1.4
	中国・四国	160	5.6	10.6	37.5	15.6	26.9	15.6	7.5	1.9	0.6
	九州・沖縄	170	6.5	5.9	38.8	11.2	32.4	21.8	10.0	0.6	1.8
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	499	7.6	6.0	50.1	18.6	30.7	24.2	9.8	0.2	1.0
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	271	5.5	6.6	44.6	12.2	23.6	19.6	5.2	0.4	0.7
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	132	12.1	15.2	43.9	9.8	31.8	22.0	11.4	0.8	1.5
	学生	130	4.6	2.3	46.2	26.9	15.4	13.1	4.6	0.8	2.3
	家事専業（主婦、主夫）	364	7.7	14.8	36.5	7.1	36.0	24.7	9.9	0.5	1.6
	リタイア、無職	216	9.7	10.2	38.4	6.9	31.0	24.1	13.4	0.0	0.5
	その他	35	8.6	14.3	37.1	11.4	31.4	34.3	17.1	0.0	2.9
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	271	6.6	8.9	44.3	14.8	29.5	24.4	9.6	0.4	0.7
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	1169	8.1	9.0	43.0	12.4	30.3	22.8	9.6	0.4	0.9
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	136	5.1	11.0	46.3	17.6	27.2	20.6	10.3	0.0	2.2
	その他	71	9.9	11.3	45.1	14.1	23.9	19.7	4.2	0.0	5.6
子どもとの同居	同居している	589	6.8	10.7	41.4	13.6	28.5	21.4	9.0	0.2	1.2
	同居していない	787	8.8	8.3	45.0	12.6	30.5	23.1	9.7	0.5	1.4
末子の成長段階	未就学児	143	4.9	6.3	41.3	26.6	19.6	20.3	14.7	0.7	1.4
	小学生	79	7.6	6.3	45.6	17.7	22.8	24.1	6.3	0.0	1.3
	中学生	41	2.4	9.8	43.9	19.5	26.8	14.6	4.9	0.0	2.4
	高校生	43	2.3	4.7	51.2	14.0	23.3	18.6	4.7	0.0	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	283	8.8	15.2	38.5	4.9	35.7	22.6	8.1	0.0	1.1
健康状態	健康面で特に問題はない	996	6.4	8.4	45.9	15.5	28.7	20.6	8.9	0.3	1.3
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	545	9.9	11.2	42.0	9.9	32.3	27.5	10.5	0.4	0.9
	障害、要介護その他で行動に制限がある	105	9.5	6.7	31.4	12.4	28.6	20.0	8.6	1.0	1.0
	その他	20	5.0	15.0	40.0	15.0	25.0	20.0	5.0	0.0	5.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	136	11.8	16.9	51.5	17.6	30.9	25.7	14.7	0.0	1.5
	いない	1198	7.5	8.6	42.8	12.4	30.1	22.6	9.1	0.4	1.3
	どちらとも言えない	42	7.1	4.8	35.7	14.3	11.9	4.8	0.0	0.0	2.4
世帯年収	300万円未満	269	6.3	11.9	41.3	14.5	23.4	20.1	9.3	0.4	1.5
	300万円以上～700万円未満	687	7.7	7.7	43.2	12.7	30.9	23.3	9.6	0.3	0.6
	700万円以上～1,000万円未満	250	6.8	8.4	42.8	13.2	33.6	26.0	10.0	0.0	0.4
	1,000万円以上	167	13.2	13.2	55.7	13.2	38.3	33.5	10.2	0.0	1.2
	分からない・答えたくない	274	6.6	8.8	40.1	13.9	23.7	14.2	8.0	1.1	3.3

文化芸術振興のための寄付をしたことがある人は、「映画」を除く全てのジャンルで、鑑賞したという回答が多くなっている。特に「オーケストラなど」「現代演劇、児童演劇、人形劇」、「ミュージカル」、「伝統芸能」、「花展、盆栽展、茶会、食文化など」では、寄付をしたことない人に比べ、２倍以上の回答率となっている。

表Ｑ２-②　鑑賞した文化芸術のジャンル

		n＝	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）	花展、盆栽展、茶会、食文化などの展示、イベント	映画（アニメを除く）	アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡、名勝地（庭園など）の文化財	歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭りなどを含む民俗文化財	その他	分からない
全体		1647	25.2	31.5	45.3	7.7	12.5	3.3	3.6	2.1	8.0	7.7	9.2	43.6	13.3	29.6	22.7	9.4	0.4	1.2
文化芸術振興のための寄付	したことがある	149	55.0	33.6	59.1	19.5	28.9	12.1	8.7	8.1	22.1	15.4	22.1	48.3	19.5	38.9	41.6	20.8	0.7	0.7
	したことはないが、今後はしてみたい	697	24.7	31.1	48.9	8.0	11.2	3.0	4.3	2.3	9.0	8.5	10.9	49.1	13.8	34.9	25.0	11.8	0.1	0.3
	したことはなく、今後もしたいとは思わない	569	20.4	31.8	38.5	4.2	11.6	1.1	1.8	0.7	3.0	5.6	5.3	37.1	12.3	22.1	15.1	4.9	0.5	1.9
	分からない	232	19.4	30.2	42.2	7.3	8.2	3.9	3.0	0.9	7.8	5.6	5.6	40.1	10.3	26.3	22.4	6.0	0.4	2.6

《経年比較》

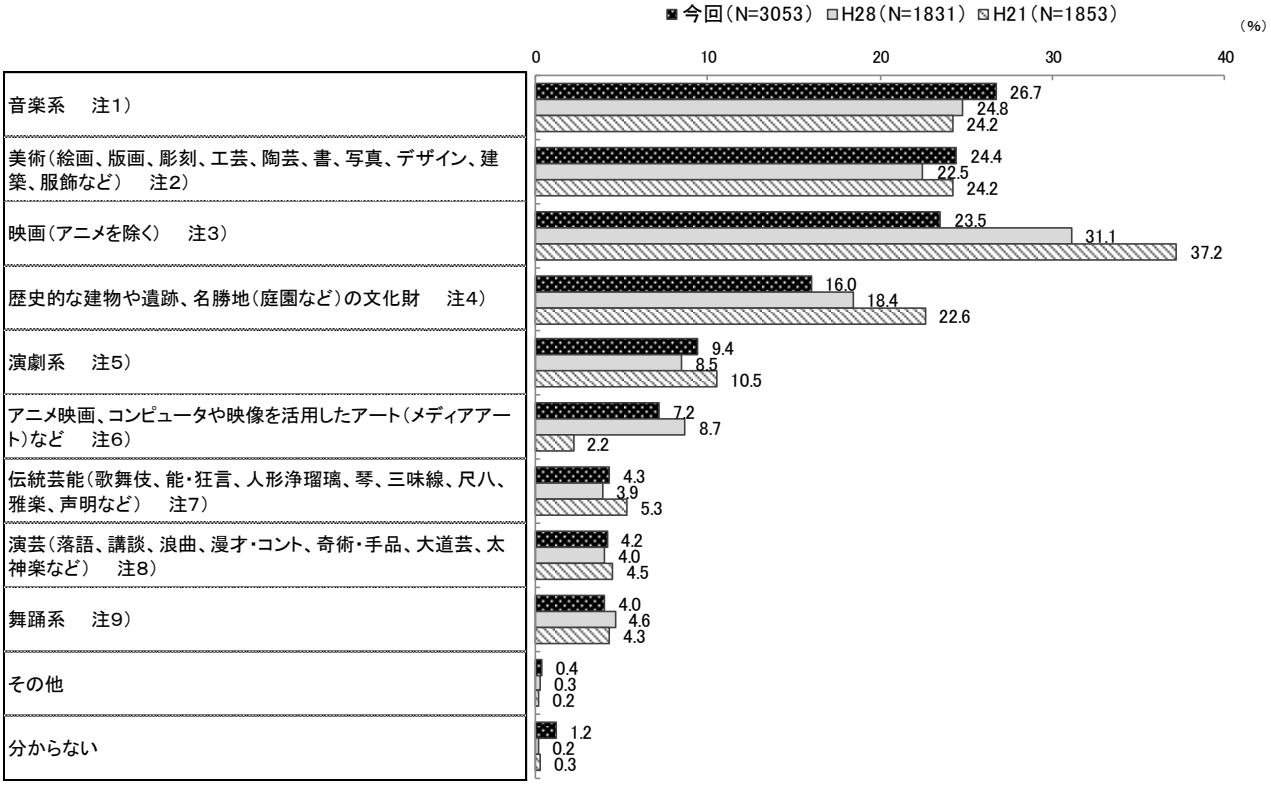
各ジャンルの鑑賞率を比較すると、「音楽系」「美術」では過去３回の中で、僅かではあるが、今回が最も多くなっている。また、「演劇系」「伝統芸能」「演芸」については、平成 28 年度の前回調査よりやや上昇した。

一方、「映画」、「歴史的な建物や文化財」については、大きく回答数が減っている。

※先に述べたように、今回は、問１で文化芸術イベントを「まったく・ほとんど鑑賞していない」に回答した人は設問の対象となっていない。一方、過去２回の調査は、全ての人が回答対象となっている。このため、文化芸術という言葉から連想されにくいジャンル（映画、文化財など）については、過去調査に比べ、今回調査の回答率が低めに出ている可能性があることに留意する必要がある。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Ｑ２-②　鑑賞した文化芸術のジャンル（経年比較）



注１）今回の音楽に関する選択肢を「音楽系」にまとめた
　　H28 での選択肢は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）」
　　H21 での選択肢は「音楽」
注２）H28 での選択肢は「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」
　　H21 での選択肢は「美術」
注３）H21 での選択肢は「映画（アニメーションを除く）」
注４）H28 での選択肢は「歴史的な建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）」
　　H21 での選択肢は「歴史的な建物や遺跡」
注５）今回の演劇に関する選択肢を「演劇系」にまとめた
　　H28 での選択肢は「演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）」
　　H21 での選択肢は「演劇」
注６）H21 での選択肢は「メディア芸術（映画を除く）」
注７）H28 での選択肢は「伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）」
　　H21 での選択肢は「伝統芸能」
注８）H28 での選択肢は「芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）」
　　H21 での選択肢は「芸能」
注９）今回の舞踊に関する選択肢を「舞踊系」にまとめた
　　H28 での選択肢は「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）」
　　H21 での選択肢は「舞踊」

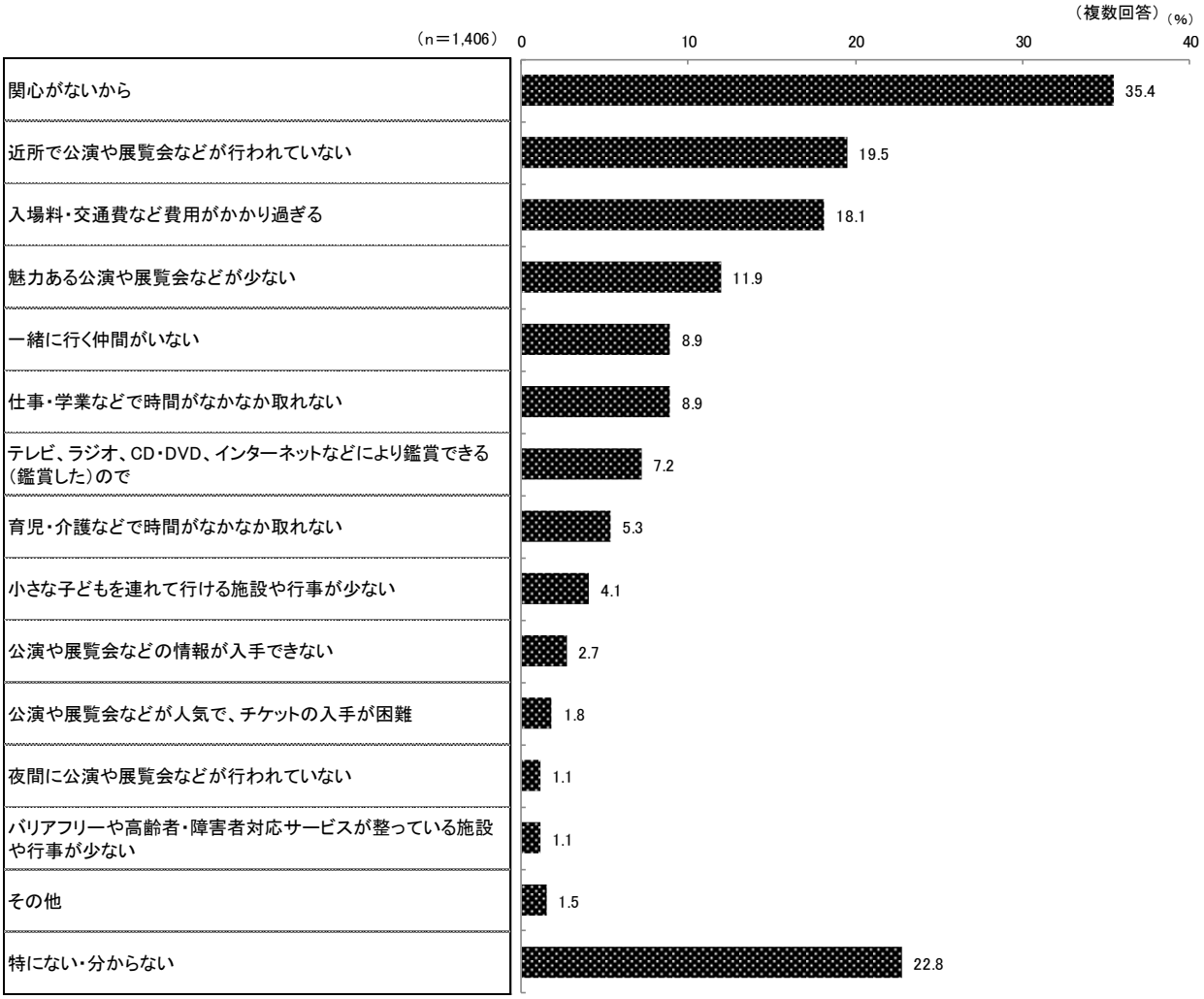
【Q1 で『6.まったく・ほとんど鑑賞していない』　を選択した方】

Q2SQ1	鑑賞しなかった理由は何ですか。（複数回答）

鑑賞しなかった理由としては「関心がないから」が 35.4%と最も多く、ついで「特にない・分からない」の 22.8%となっている。この２つの回答を合わせた 58.2%については、文化芸術の鑑賞にそもそも目が向いていない層と判断される。一方、残余の 41.8%については、何らかの阻害要因が解決されれば、鑑賞活動を行う可能性が高い層と考えられる。

鑑賞の阻害要因としては、「近所で公演や展覧会などが行われていない」（19.5%）と「入場料・交通費など費用がかかり過ぎる」（18.1%）という交通の便や経済的な要因を指摘する声が上位に並んだ。

図Ｑ２-１-①　鑑賞しなかった理由



70 歳以上で「近所で公演や展覧会などが行われていない」という回答が、20～29 歳、30～39 歳と未就学児と同居している人で「育児・介護などで時間がなかなか取れない」という回答が多い。また、世帯年収 300 万円未満の層では「入場料・交通費など費用がかかり過ぎる」との回答が多い。

表Q２-１-[1]　鑑賞しなかった理由

		N＝	近所で公演や展覧会などが行われていない	夜間に公演や展覧会などが行われていない	公演や展覧会などの情報が入手できない	一緒に行く仲間がいない	入場料・交通費など費用がかかり過ぎる	公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難	育児・介護などで時間がなかなか取れない	仕事・学業などで時間がなかなか取れない
全体		1406	19.5	1.1	2.7	8.9	18.1	1.8	5.3	8.9
性別	男性	702	19.5	0.9	2.7	8.0	16.4	1.4	2.7	8.1
	女性	696	19.7	1.4	2.7	9.8	20.1	2.3	8.0	9.8
	答えたくない	8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳	45	15.6	4.4	2.2	24.4	26.7	4.4	0.0	28.9
	20～29歳	147	14.3	1.4	3.4	7.5	10.9	1.4	12.2	11.6
	30～39歳	193	15.5	0.0	2.6	10.4	17.6	0.5	15.0	11.9
	40～49歳	279	16.8	0.7	2.5	5.4	16.8	1.8	6.1	10.0
	50～59歳	230	18.7	0.0	0.4	9.1	19.6	3.9	1.3	7.8
	60～69歳	246	18.3	0.4	3.7	11.4	20.7	1.6	1.2	4.9
	70歳以上	266	30.5	3.4	3.8	7.1	18.8	1.1	1.9	5.3
居住地域	北海道	65	21.5	0.0	3.1	10.8	18.5	0.0	9.2	6.2
	東北	101	16.8	3.0	2.0	5.0	16.8	1.0	1.0	9.9
	北関東・甲信	110	30.9	3.6	2.7	10.9	20.0	3.6	6.4	12.7
	南関東	389	14.1	0.8	1.8	9.0	20.3	1.3	5.9	6.7
	東海	168	21.4	0.6	4.2	10.1	17.9	1.8	5.4	11.3
	北陸	62	21.0	0.0	4.8	8.1	6.5	0.0	4.8	14.5
	近畿	212	16.0	0.0	2.4	7.5	17.5	1.4	6.1	9.9
	中国・四国	123	23.6	3.3	4.1	12.2	15.4	4.1	2.4	4.1
	九州・沖縄	176	23.9	0.6	2.3	7.4	19.9	2.8	5.7	9.7
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	395	13.9	0.5	2.8	6.6	13.9	1.3	6.1	12.4
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	258	18.2	0.8	1.6	10.5	19.4	1.6	3.9	12.4
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	93	24.7	0.0	3.2	7.5	16.1	3.2	3.2	16.1
	学生	65	16.9	4.6	4.6	16.9	18.5	3.1	0.0	23.1
	家事専業（主婦、主夫）	305	22.3	1.3	3.3	7.5	20.0	2.3	10.5	1.3
	リタイア、無職	256	25.4	2.0	2.3	11.7	22.7	1.6	2.0	2.0
	その他	34	14.7	0.0	2.9	2.9	11.8	2.9	2.9	14.7
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	209	23.4	2.4	1.4	16.3	21.1	2.4	1.0	7.7
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	987	18.5	0.8	3.2	7.9	18.4	1.8	6.4	8.7
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	109	23.9	0.9	1.8	7.3	15.6	0.0	9.2	11.0
	その他	101	15.8	2.0	1.0	5.0	11.9	3.0	0.0	10.9
子どもとの同居	同居している	570	16.3	0.5	3.2	5.6	17.4	1.8	11.4	9.1
	同居していない	627	21.1	1.3	2.7	9.4	17.9	1.8	1.3	9.1
末子の成長段階	未就学児	158	12.7	0.0	3.8	3.2	15.2	0.6	36.1	10.1
	小学生	76	14.5	0.0	2.6	10.5	14.5	1.3	1.3	15.8
	中学生	45	17.8	0.0	0.0	4.4	17.8	2.2	2.2	8.9
	高校生	42	19.0	0.0	0.0	4.8	16.7	4.8	4.8	7.1
	大学・短大・高専以上や社会人	249	18.5	1.2	4.0	6.0	19.7	2.0	1.6	6.8
健康状態	健康面で特に問題はない	860	17.0	1.0	2.2	7.1	14.7	1.4	6.6	9.2
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	403	24.3	1.0	3.5	11.7	24.1	2.7	3.7	9.4
	障害、要介護その他で行動に制限がある	110	26.4	2.7	3.6	14.5	27.3	2.7	2.7	5.5
	その他	49	8.2	0.0	2.0	4.1	14.3	0.0	2.0	4.1
介護・介助が必要な家族の有無	いる	77	20.8	0.0	0.0	10.4	27.3	1.3	11.7	6.5
	いない	1063	19.2	1.0	3.2	7.2	17.4	1.9	5.8	9.3
	どちらとも言えない	57	8.8	0.0	1.8	10.5	8.8	0.0	3.5	8.8
世帯年収	300万円未満	315	25.4	1.9	1.9	8.9	28.6	1.9	3.2	6.3
	300万円以上～700万円未満	499	18.2	0.6	4.0	10.0	17.4	1.0	7.2	9.2
	700万円以上～1,000万円未満	167	22.2	0.6	2.4	6.6	16.8	3.0	7.2	10.8
	1,000万円以上	78	14.1	0.0	1.3	6.4	5.1	1.3	3.8	7.7
	分からない・答えたくない	347	15.9	1.7	2.0	8.9	13.3	2.6	4.0	10.1

未就学児と同居している人では「小さな子どもを連れて行ける施設や行事が少ない」という回答が多い。また「関心がないから」という回答が、世帯年収が高い層で、多くなっている。これは、この層では、経済的な余裕があるため、交通の便や経済的な要因といった疎外要因の影響が相対的に少なくなっているためと考えられる。

表Ｑ２-１-[2]　鑑賞しなかった理由

		N＝	小さな子どもを連れて行ける施設や行事が少ない	バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が少ない	魅力ある公演や展覧会などが少ない	テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）ので	関心がないから	その他	特にない・分からない
全体		1406	4.1	1.1	11.9	7.2	35.4	1.5	22.8
性別	男性	702	1.1	0.6	12.5	7.5	40.3	0.6	23.6
	女性	696	7.0	1.7	11.5	6.8	30.9	2.4	21.3
	答えたくない	8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	75.0
年齢別	18～19歳	45	0.0	0.0	20.0	17.8	33.3	2.2	24.4
	20～29歳	147	10.2	0.0	7.5	2.0	35.4	0.7	29.9
	30～39歳	193	13.0	1.0	7.8	2.6	32.6	0.5	23.3
	40～49歳	279	6.1	0.7	6.8	5.4	39.1	1.1	23.7
	50～59歳	230	0.0	0.9	16.5	6.1	34.3	2.2	23.9
	60～69歳	246	0.0	1.2	12.2	11.4	35.8	1.2	22.4
	70歳以上	266	0.0	2.6	17.3	10.5	34.6	2.6	16.5
居住地域	北海道	65	0.0	0.0	13.8	3.1	38.5	1.5	18.5
	東北	101	1.0	3.0	10.9	6.9	38.6	0.0	24.8
	北関東・甲信	110	4.5	0.9	10.9	7.3	33.6	1.8	20.9
	南関東	389	3.9	0.5	7.7	6.2	34.4	1.8	25.2
	東海	168	6.0	0.6	13.1	8.3	36.3	1.8	19.0
	北陸	62	3.2	0.0	12.9	3.2	45.2	1.6	17.7
	近畿	212	3.3	1.4	13.2	11.3	38.2	0.9	21.7
	中国・四国	123	5.7	3.3	16.3	5.7	35.0	1.6	25.2
	九州・沖縄	176	5.7	1.1	15.9	7.4	28.4	1.7	23.9
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	395	4.6	0.0	9.6	4.3	40.3	0.5	26.6
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	258	3.1	1.6	8.5	7.0	34.5	1.6	18.6
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	93	1.1	1.1	17.2	6.5	34.4	1.1	20.4
	学生	65	0.0	0.0	20.0	10.8	33.8	1.5	32.3
	家事専業（主婦、主夫）	305	9.8	2.3	12.8	7.2	30.5	2.0	20.3
	リタイア、無職	256	0.0	1.6	15.2	10.2	35.2	2.7	21.9
	その他	34	0.0	0.0	2.9	14.7	38.2	0.0	26.5
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	209	0.0	1.4	12.4	6.7	34.0	2.4	21.5
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	987	5.3	1.1	12.1	7.5	35.8	1.5	21.8
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	109	3.7	1.8	11.9	5.5	35.8	0.9	18.3
	その他	101	1.0	0.0	9.9	6.9	34.7	0.0	39.6
子どもとの同居	同居している	570	10.0	1.2	11.1	5.4	34.6	0.9	21.8
	同居していない	627	0.0	1.0	12.6	8.9	36.7	1.8	24.1
末子の成長段階	未就学児	158	32.3	0.6	8.2	1.3	26.6	0.6	17.7
	小学生	76	5.3	1.3	7.9	3.9	38.2	0.0	21.1
	中学生	45	0.0	2.2	2.2	6.7	35.6	0.0	22.2
	高校生	42	0.0	4.8	11.9	4.8	40.5	2.4	23.8
	大学・短大・高専以上や社会人	249	0.8	0.8	15.3	8.4	37.3	1.2	24.1
健康状態	健康面で特に問題はない	860	6.2	0.0	10.5	5.8	37.9	0.7	24.8
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	403	0.7	1.7	17.1	9.2	32.5	2.0	15.6
	障害、要介護その他で行動に制限がある	110	0.0	10.0	9.1	10.0	32.7	4.5	19.1
	その他	49	2.0	0.0	4.1	6.1	24.5	4.1	53.1
介護・介助が必要な家族の有無	いる	77	0.0	7.8	9.1	13.0	27.3	3.9	19.5
	いない	1063	5.3	0.6	12.4	7.1	37.0	0.8	22.0
	どちらとも言えない	57	1.8	1.8	5.3	1.8	22.8	7.0	45.6
世帯年収	300万円未満	315	1.3	2.5	13.0	9.5	34.3	2.9	18.7
	300万円以上～700万円未満	499	5.8	0.8	11.4	8.0	36.7	0.8	19.0
	700万円以上～1,000万円未満	167	5.4	0.6	16.8	3.0	40.1	1.2	20.4
	1,000万円以上	78	1.3	0.0	14.1	6.4	41.0	2.6	26.9
	分からない・答えたくない	347	4.0	0.9	8.9	6.1	31.1	1.2	32.0

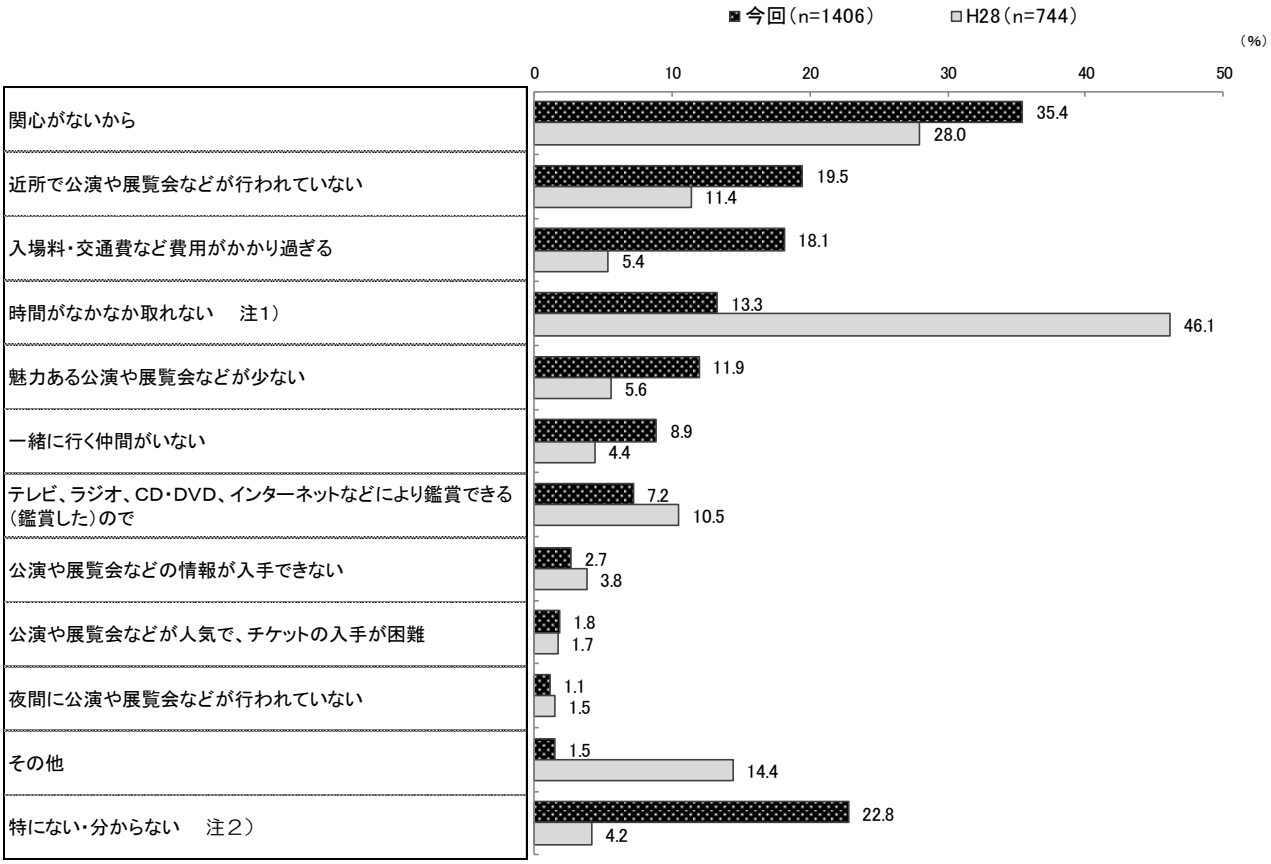
《経年比較》

平成 28 年度調査との経年比較では、「時間がなかなか取れない」という回答が大幅に減り、また、「テレビ、ラジオ、ＣＤ・ＤＶＤ、インターネットなどにより鑑賞できるので」、「公演や展覧会などの情報が入手できない」、「夜間に公演や展覧会などが行われていない」という回答が若干の減少を見せている。このうち、「時間がなかなか取れない」という選択肢については、平成 28 年調査では大きくまとまっていたものを、今回、「仕事・学業」、「育児・介護」で時間が取れないと具体的に時間が取れない要因を明確にした選択肢に差し替えたことが影響していると考えられる。また、情報入手や夜間公演・展示の要因は、施設・主催者側で一定程度対応できる要因であり、この点を踏まえるならば、鑑賞がしやすい環境整備への努力がある程度進んできた可能性がある。

一方、「関心がないから」、「近所で公演や展覧会などが行われていない」、「入場料・交通費など費用がかかり過ぎる」、「魅力ある公演や展覧会が少ない」、「一緒に行く仲間がいない」といった項目への回答は、前回調査から、大幅に増えている。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Ｑ２-１-②　鑑賞しなかった理由（経年比較）



注１）今回の選択肢「仕事・学業などで時間がなかなか取れない」と「育児・介護などで時間がなかなか取れない」を「時間がなかなか取れない」にまとめた

注２）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

【Q2SQ1 で『13.関心がないから』　を選択した方】

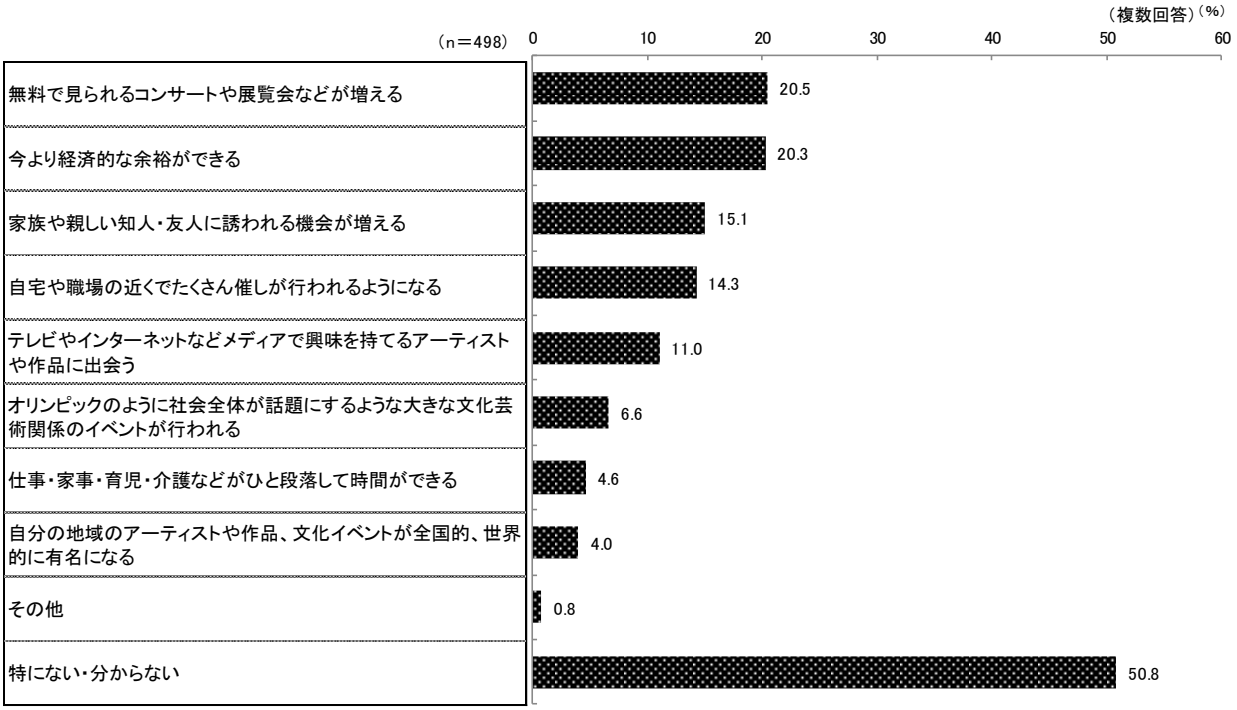
Q2SQ2	あなたはどのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞にもっと関心を持つようになると思いますか。（複数回答）

全体の 50.8%が「特にない・分からない」と回答しており、現在文化芸術に関心を持っていない人が、あらためて文化芸術に関心を持つきっかけを考えることは難しい（自らの方から、文化芸術に触れようとすることはなかなか期待しにくい）ことがわかる。

具体的に関心を持つきっかけを挙げてくれた人に関しては、「無料で見られるコンサートや展覧会などが増える」（20.5%）、「今より経済的な余裕ができる」（20.3%）、「家族や親しい知人・友人に誘われる機会が増える」（15.1%）、「自宅や職場の近くでたくさん催しが行われるようになる」（14.3%）といった回答が上位に上がっている。

これらは、いずれも、負担なく、もしくは、自ら「行こう」と強く思わなくとも文化芸術の鑑賞の場に行けるようになる選択肢である。これを踏まえるなら、ＰＲなどで興味・関心をつくっていこうとするより、あまり関心がなくとも、文化芸術鑑賞に、「行けてしまう」環境をつくった方が、有効である可能性が高い。

図Ｑ２-２　文化芸術への関心を高めるには



※下記データは、サンプル数が少なく、大きな差もみられないため、参考数値。

表Ｑ２-２　文化芸術への関心を高めるには

		Ｎ＝	自宅や職場の近くでたくさん催しが行われるようになる	オリンピックのように社会全体が話題にするような大きな文化芸術関係のイベントが行われる	家族や親しい知人・友人に誘われる機会が増える	仕事・家事・育児・介護などがひと段落して時間ができる	今より経済的な余裕ができる	無料で見られるコンサートや展覧会などが増える	テレビやインターネットなどメディアで興味を持てるアーティストや作品に出会う	自分の地域のアーティストや作品、文化イベントが全国的、世界的に有名になる	その他	特にない・分からない
全体		498	14.3	6.6	15.1	4.6	20.3	20.5	11.0	4.0	0.8	50.8
性別	男性	283	10.6	6.7	12.4	5.7	18.4	15.2	10.2	3.9	0.7	55.1
	女性	215	19.1	6.5	18.6	3.3	22.8	27.4	12.1	4.2	0.9	45.1
	答えたくない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳	15	20.0	20.0	33.3	13.3	26.7	33.3	13.3	6.7	0.0	33.3
	20～29歳	52	9.6	5.8	21.2	3.8	19.2	11.5	11.5	0.0	0.0	57.7
	30～39歳	63	14.3	9.5	14.3	4.8	20.6	23.8	12.7	9.5	4.8	44.4
	40～49歳	109	16.5	5.5	15.6	5.5	17.4	11.9	8.3	2.8	0.9	54.1
	50～59歳	79	8.9	10.1	15.2	2.5	20.3	17.7	11.4	6.3	0.0	50.6
	60～69歳	88	17.0	3.4	12.5	6.8	21.6	26.1	10.2	3.4	0.0	53.4
	70歳以上	92	15.2	4.3	10.9	2.2	21.7	28.3	13.0	2.2	0.0	47.8
居住地域	北海道	25	4.0	4.0	16.0	8.0	16.0	12.0	8.0	0.0	0.0	60.0
	東北	39	17.9	2.6	17.9	0.0	20.5	28.2	10.3	2.6	0.0	46.2
	北関東・甲信	37	27.0	5.4	8.1	5.4	21.6	24.3	13.5	8.1	2.7	40.5
	南関東	134	9.7	6.7	9.7	3.0	14.9	15.7	12.7	3.0	1.5	56.7
	東海	61	18.0	11.5	23.0	6.6	27.9	19.7	11.5	3.3	0.0	41.0
	北陸	28	10.7	10.7	21.4	0.0	14.3	17.9	10.7	3.6	0.0	60.7
	近畿	81	14.8	6.2	21.0	4.9	22.2	27.2	9.9	2.5	1.2	44.4
	中国・四国	43	16.3	7.0	16.3	14.0	23.3	16.3	9.3	11.6	0.0	55.8
	九州・沖縄	50	14.0	4.0	8.0	2.0	24.0	24.0	10.0	4.0	0.0	54.0
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	159	10.1	8.8	13.8	7.5	11.3	8.8	5.0	3.8	1.3	58.5
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	89	20.2	4.5	20.2	3.4	23.6	27.0	16.9	5.6	1.1	40.4
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	32	15.6	3.1	12.5	6.3	21.9	18.8	12.5	3.1	0.0	50.0
	学生	22	9.1	18.2	27.3	9.1	22.7	18.2	18.2	4.5	0.0	40.9
	家事専業（主婦、主夫）	93	21.5	5.4	14.0	3.2	29.0	28.0	9.7	1.1	0.0	39.8
	リタイア、無職	90	10.0	4.4	11.1	1.1	23.3	25.6	13.3	5.6	0.0	62.2
	その他	13	7.7	7.7	15.4	0.0	15.4	38.5	23.1	7.7	7.7	46.2
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	71	9.9	9.9	12.7	1.4	19.7	14.1	11.3	5.6	1.4	56.3
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	353	15.0	6.2	15.9	5.4	20.4	22.4	11.9	4.0	0.8	49.3
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	39	12.8	5.1	17.9	2.6	20.5	12.8	5.1	2.6	0.0	51.3
	その他	35	17.1	5.7	8.6	5.7	20.0	22.9	8.6	2.9	0.0	54.3
子どもとの同居	同居している	197	14.7	7.6	14.2	6.1	18.8	17.8	8.6	4.1	0.5	51.3
	同居していない	230	15.2	4.8	16.5	4.3	21.7	24.8	13.0	3.5	0.9	48.7
末子の成長段階	未就学児	42	9.5	9.5	9.5	9.5	19.0	11.9	9.5	4.8	0.0	61.9
	小学生	29	10.3	3.4	17.2	3.4	20.7	17.2	3.4	6.9	0.0	51.7
	中学生	16	12.5	6.3	18.8	6.3	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	50.0
	高校生	17	5.9	11.8	5.9	5.9	23.5	17.6	5.9	5.9	0.0	52.9
	大学・短大・高専以上や社会人	93	20.4	7.5	16.1	5.4	17.2	23.7	11.8	3.2	0.0	46.2
健康状態	健康面で特に問題はない	326	12.9	7.1	12.9	4.6	19.9	18.4	9.8	4.0	0.3	53.7
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	131	16.8	4.6	21.4	5.3	19.8	26.7	13.0	4.6	0.8	45.0
	障害、要介護その他で行動に制限がある	36	19.4	11.1	11.1	2.8	25.0	16.7	13.9	2.8	5.6	41.7
	その他	12	8.3	8.3	16.7	0.0	25.0	33.3	25.0	0.0	0.0	50.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	21	9.5	0.0	23.8	0.0	19.0	9.5	4.8	0.0	4.8	52.4
	いない	393	15.5	6.4	15.0	5.3	19.6	22.1	11.5	3.8	0.5	49.9
	どちらとも言えない	13	7.7	7.7	15.4	7.7	46.2	23.1	7.7	7.7	0.0	46.2
世帯年収	300万円未満	108	13.0	6.5	15.7	2.8	25.9	25.0	15.7	5.6	1.9	49.1
	300万円以上～700万円未満	183	15.3	6.0	17.5	8.2	22.4	23.0	9.3	3.3	1.1	44.8
	700万円以上～1,000万円未満	67	13.4	6.0	9.0	3.0	19.4	16.4	9.0	4.5	0.0	58.2
	1,000万円以上	32	6.3	9.4	12.5	0.0	9.4	9.4	12.5	3.1	0.0	56.3
	分からない・答えたくない	108	16.7	7.4	14.8	2.8	14.8	17.6	10.2	3.7	0.0	56.5

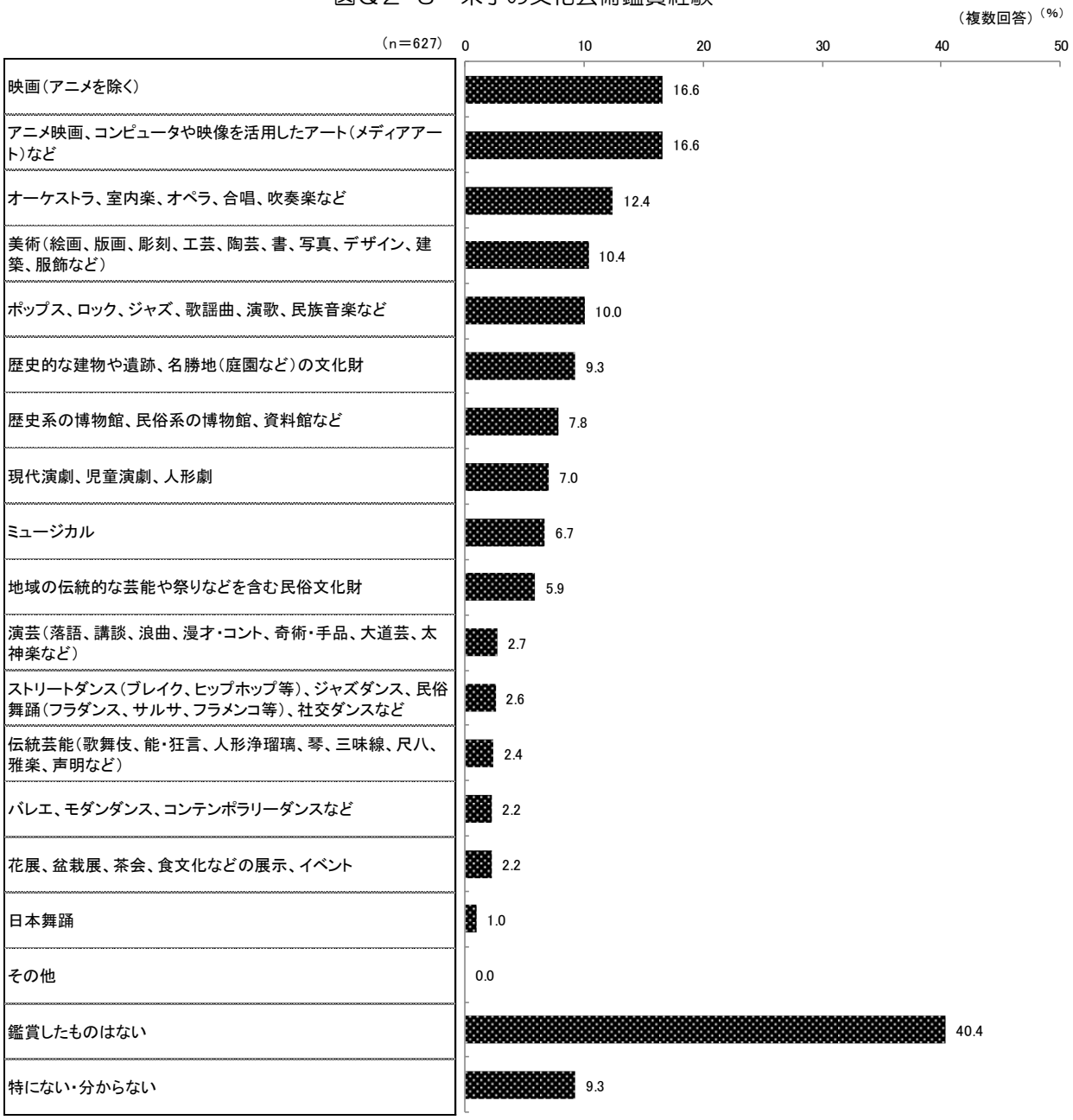
【末子の成長段階で『1.未就学児』～『4.高校生』　いずれかを選択した方】

Q2SQ3	あなたと同居しているお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで文化芸術を直接鑑賞したことはありますか。（複数回答）

同居している高校生以下の子どもの文化芸術鑑賞ジャンルで最も多いのは「映画」と「アニメ映画など」の 16.6%であり、ついで「オーケストラなど」の 12.4%、「美術」10.4%、「ポップスなど」10.0%と続く。

※この回答については、本人ではなく、あくまで親世代が回答した数値となっているため、中学生・高校生など、親と離れて行動する機会が増えている比較的年齢の高い層の行動については、回答から漏れている可能性があり、留意が必要である（全体として回答率がやや低めとなっていることが想定される）。

図Ｑ２-３　末子の文化芸術鑑賞経験



※下記データは、サンプル数が少なく、大きな差もみられないため、参考数値。

表２-３-[1]　末子の文化芸術鑑賞経験

		N＝	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
全体		627	12.4	10.0	10.4	7.0	6.7	2.2	2.6	1.0	2.4
性別	男性	303	14.5	10.9	9.9	7.6	6.9	3.0	3.0	1.3	2.6
	女性	323	10.5	9.3	10.8	6.5	6.5	1.5	2.2	0.6	2.2
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	72	12.5	9.7	5.6	4.2	4.2	2.8	4.2	2.8	1.4
	30～39歳	190	13.7	12.6	8.4	8.4	7.4	2.6	2.6	1.1	3.7
	40～49歳	265	9.1	8.3	11.3	7.5	6.4	1.5	1.5	0.4	1.5
	50～59歳	76	15.8	11.8	14.5	5.3	7.9	2.6	3.9	1.3	1.3
	60～69歳	12	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3
	70歳以上	7	42.9	0.0	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3
居住地域	北海道	19	5.3	5.3	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	5.3
	東北	44	9.1	6.8	13.6	9.1	4.5	2.3	0.0	0.0	4.5
	北関東・甲信	44	11.4	6.8	9.1	9.1	11.4	2.3	0.0	0.0	2.3
	南関東	199	12.1	12.1	11.6	6.5	8.5	2.5	2.5	1.0	3.5
	東海	82	6.1	9.8	4.9	3.7	7.3	0.0	2.4	0.0	1.2
	北陸	29	13.8	6.9	13.8	3.4	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0
	近畿	85	14.1	12.9	11.8	12.9	0.0	3.5	5.9	2.4	2.4
	中国・四国	60	21.7	13.3	10.0	3.3	6.7	1.7	0.0	1.7	0.0
	九州・沖縄	65	15.4	4.6	10.8	9.2	7.7	3.1	4.6	1.5	1.5
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	321	12.8	10.9	11.2	7.5	9.7	3.4	2.5	1.6	2.2
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	115	14.8	8.7	7.8	7.0	2.6	0.0	3.5	0.9	3.5
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	26	7.7	19.2	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事専業（主婦、主夫）	145	9.7	7.6	11.0	6.9	5.5	1.4	1.4	0.0	2.1
	リタイア、無職	8	25.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	その他	8	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	526	11.4	9.3	10.3	7.0	6.5	1.5	2.5	0.6	2.1
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	87	19.5	16.1	11.5	8.0	9.2	6.9	3.4	3.4	4.6
	その他	14	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもとの同居	同居している	627	12.4	10.0	10.4	7.0	6.7	2.2	2.6	1.0	2.4
	同居していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
末子の成長段階	未就学児	301	9.3	7.0	8.0	6.3	5.3	2.0	1.7	0.7	1.7
	小学生	155	14.8	12.9	11.0	9.7	7.1	3.2	3.2	1.3	4.5
	中学生	86	17.4	10.5	16.3	8.1	7.0	1.2	2.3	2.3	2.3
	高校生	85	14.1	15.3	11.8	3.5	10.6	2.4	4.7	0.0	1.2
	大学・短大・高専以上や社会人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康状態	健康面で特に問題はない	486	10.5	10.1	8.8	5.3	6.0	2.1	2.3	0.6	1.6
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	118	19.5	10.2	16.9	12.7	8.5	3.4	3.4	1.7	4.2
	障害、要介護その他で行動に制限がある	24	29.2	16.7	8.3	16.7	12.5	4.2	8.3	8.3	16.7
	その他	6	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	55	43.6	29.1	18.2	10.9	9.1	5.5	10.9	3.6	12.7
	いない	556	9.5	8.3	9.7	6.8	5.9	2.0	1.8	0.7	1.4
	どちらとも言えない	16	6.3	6.3	6.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
世帯年収	300万円未満	49	12.2	12.2	6.1	2.0	2.0	4.1	2.0	2.0	4.1
	300万円以上～700万円未満	279	12.9	7.9	7.5	7.9	5.0	1.8	2.9	0.4	1.8
	700万円以上～1,000万円未満	145	10.3	11.0	13.1	5.5	8.3	2.1	2.1	1.4	2.8
	1,000万円以上	63	20.6	25.4	20.6	9.5	15.9	4.8	3.2	3.2	4.8
	分からない・答えたくない	91	8.8	3.3	9.9	7.7	5.5	1.1	2.2	0.0	1.1

※未就学児については「鑑賞したものはない」という回答が多い。
※他データについては、サンプル数が少なく、大きな差もみられないため、参考数値。

表２-３-[2]　末子の文化芸術鑑賞経験

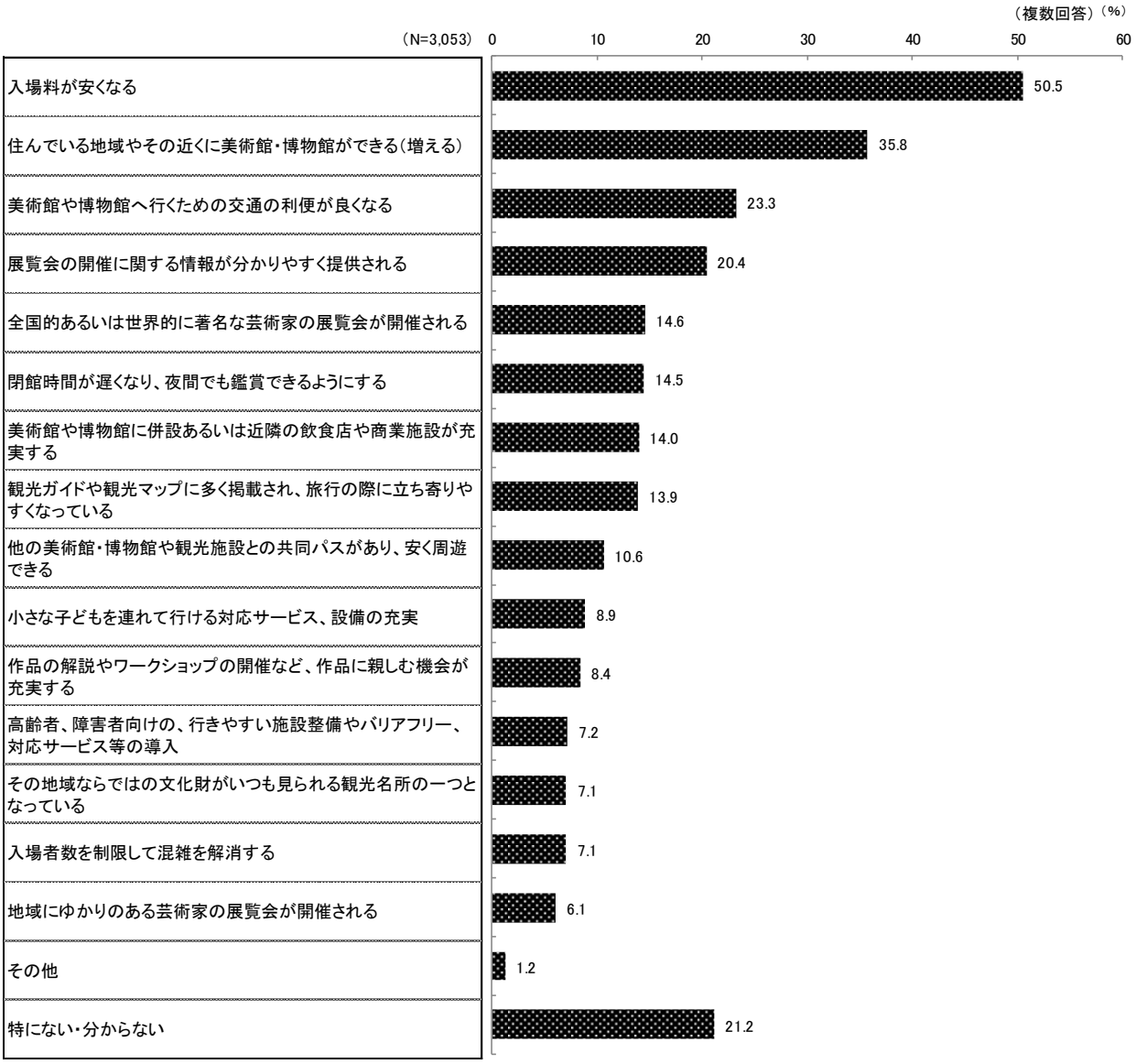
		N＝	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）	花展、盆栽展、茶会、食文化などの展示、イベント	映画（アニメを除く）	アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアートなど）	歴史的な建物や遺跡、名勝地（庭園など）の文化財	歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭りなどを含む民俗文化財	その他	鑑賞したものはない	特にない・分からない
全体		627	2.7	2.2	16.6	16.6	9.3	7.8	5.9	0.0	40.4	9.3
性別	男性	303	3.0	2.0	19.1	17.8	10.9	7.9	5.3	0.0	36.6	9.9
	女性	323	2.5	2.5	14.2	15.5	7.7	7.7	6.5	0.0	44.0	8.4
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢別	18～19歳	5	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
	20～29歳	72	1.4	2.8	4.2	6.9	4.2	6.9	2.8	0.0	68.1	2.8
	30～39歳	190	3.7	2.1	10.0	16.8	8.9	6.8	8.4	0.0	45.3	6.8
	40～49歳	265	3.0	1.5	17.7	19.2	9.1	7.2	4.9	0.0	32.8	10.9
	50～59歳	76	1.3	3.9	40.8	17.1	11.8	10.5	6.6	0.0	35.5	10.5
	60～69歳	12	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	8.3	0.0	0.0	25.0	25.0
	70歳以上	7	0.0	0.0	42.9	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6
居住地域	北海道	19	0.0	0.0	5.3	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	47.4	5.3
	東北	44	2.3	2.3	20.5	9.1	6.8	4.5	4.5	0.0	34.1	13.6
	北関東・甲信	44	4.5	0.0	20.5	11.4	9.1	9.1	11.4	0.0	34.1	9.1
	南関東	199	3.0	3.0	23.6	18.6	14.6	10.1	5.0	0.0	38.7	9.0
	東海	82	2.4	0.0	4.9	12.2	4.9	6.1	2.4	0.0	54.9	6.1
	北陸	29	0.0	6.9	13.8	20.7	3.4	6.9	10.3	0.0	37.9	13.8
	近畿	85	4.7	2.4	15.3	18.8	7.1	8.2	7.1	0.0	38.8	7.1
	中国・四国	60	1.7	1.7	11.7	16.7	8.3	8.3	5.0	0.0	36.7	6.7
	九州・沖縄	65	1.5	3.1	15.4	18.5	9.2	6.2	9.2	0.0	40.0	15.4
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	321	3.1	2.2	18.7	18.7	11.2	8.1	6.2	0.0	39.3	9.0
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	115	2.6	0.0	13.9	11.3	7.0	7.0	5.2	0.0	40.0	12.2
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	26	3.8	3.8	19.2	19.2	7.7	3.8	3.8	0.0	38.5	7.7
	学生	4	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	家事専業（主婦、主夫）	145	2.1	3.4	12.4	15.9	6.2	7.6	6.2	0.0	46.9	5.5
	リタイア、無職	8	0.0	0.0	50.0	12.5	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	37.5
	その他	8	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	526	2.5	2.1	15.2	16.5	8.9	6.8	6.3	0.0	41.3	8.7
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	87	4.6	2.3	23.0	16.1	11.5	13.8	3.4	0.0	33.3	10.3
	その他	14	0.0	7.1	28.6	21.4	7.1	7.1	7.1	0.0	50.0	21.4
子どもとの同居	同居している	627	2.7	2.2	16.6	16.6	9.3	7.8	5.9	0.0	40.4	9.3
	同居していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
末子の成長段階	未就学児	301	2.3	1.7	3.7	14.3	6.6	7.0	6.0	0.0	55.1	6.0
	小学生	155	1.9	2.6	23.2	24.5	11.0	8.4	7.7	0.0	31.6	8.4
	中学生	86	3.5	2.3	31.4	14.0	14.0	9.3	3.5	0.0	18.6	19.8
	高校生	85	4.7	3.5	35.3	12.9	10.6	8.2	4.7	0.0	25.9	11.8
	大学・短大・高専以上や社会人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康状態	健康面で特に問題はない	486	2.5	2.1	16.5	16.3	8.4	6.8	5.8	0.0	44.0	8.6
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	118	3.4	3.4	17.8	21.2	11.9	11.9	7.6	0.0	30.5	7.6
	障害、要介護その他で行動に制限がある	24	4.2	4.2	20.8	8.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7
	その他	6	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	55	5.5	3.6	30.9	18.2	14.5	12.7	3.6	0.0	10.9	7.3
	いない	556	2.5	2.2	15.6	16.7	9.0	7.6	6.3	0.0	43.9	8.6
	どちらとも言えない	16	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	37.5
世帯年収	300万円未満	49	4.1	4.1	16.3	12.2	4.1	6.1	4.1	0.0	46.9	16.3
	300万円以上～700万円未満	279	2.9	1.4	15.4	17.6	9.0	8.2	6.5	0.0	41.6	7.9
	700万円以上～1,000万円未満	145	0.7	2.8	15.9	14.5	9.0	6.9	4.8	0.0	40.7	9.0
	1,000万円以上	63	6.3	4.8	31.7	23.8	17.5	12.7	11.1	0.0	30.2	3.2
	分からない・答えたくない	91	2.2	1.1	11.0	14.3	7.7	5.5	3.3	0.0	39.6	14.3

Ｑ３　あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きやすくなると思いますか。（複数回答）

全体で最も回答率が高いのは「入場料が安くなる」の 50.5%で、ついで「住んでいる地域やその近くに美術館・博物館ができる」の 35.8%、「美術館や博物館へ行くための交通の利便が良くなる」（23.3%）となっており、経済的要因や交通の便に関わる選択肢が上位に並ぶこととなった。

一方、施設・主催者側のサービスに関わる選択肢としては「展覧会の開催に関する情報が分かりやすく提供される」が 20.4%で最も多く、ついで「閉館時間が遅くなり、夜間でも鑑賞できるようにする」（14.5%）、「美術館や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設が充実する」（14.0%）、「観光ガイドや観光マップに多く掲載され、旅行の際に立ち寄りやすくなっている」（13.9%）、「他の美術館・博物館や観光施設との共同パスがあり、安く周遊できる」（10.6%）などとなっている。

図Ｑ３-①　美術館・博物館での鑑賞の促進策



30～39 歳と未就学児と同居している人で「小さな子どもを連れて行ける対応サービス、設備の充実」を挙げる人が多い。また、障害や要介護で行動に制限がある人では「交通の便が良くなる」「高齢者、障害者向けの整備」という回答が多くなっている。

世帯収入が 300 万円未満の人では「展覧会の情報の提供」という回答が少ない。一方、世帯年収が高くなると「混雑解消」という回答が増えてくる傾向がみられる。

表Ｑ３-[1]　美術館・博物館での鑑賞の促進策

		N＝	住んでいる地域やその近くに美術館・博物館ができる（増える）	美術館や博物館へ行くための交通の利便が良くなる	入場料が安くなる	閉館時間が遅くなり、夜間でも鑑賞できるようにする	入場者数を制限して混雑を解消する	展覧会の開催に関する情報が分かりやすく提供される	高齢者、障害者向けの、行きやすい施設整備やバリアフリー、対応サービス等の導入	小さな子どもを連れて行ける対応サービス、設備の充実	全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会が開催される
全体		3053	35.8	23.3	50.5	14.5	7.1	20.4	7.2	8.9	14.6
性別	男性	1465	34.1	20.8	47.4	15.4	6.1	18.4	6.3	6.2	13.7
	女性	1577	37.3	25.6	53.6	13.6	7.9	22.4	8.1	11.4	15.5
	答えたくない	11	27.3	18.2	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳	124	44.4	25.8	49.2	12.9	4.0	17.7	8.9	11.3	15.3
	20～29歳	349	34.4	23.2	47.3	20.3	5.2	16.6	2.9	14.0	13.8
	30～39歳	440	37.5	21.6	52.0	18.2	7.7	18.0	4.8	23.2	13.0
	40～49歳	521	32.4	17.3	47.2	17.7	7.1	17.7	4.2	9.8	11.9
	50～59歳	434	36.6	21.2	51.8	17.5	6.5	18.2	3.9	4.1	12.0
	60～69歳	512	34.8	21.9	53.3	11.9	8.6	21.7	8.4	4.1	16.4
	70歳以上	673	36.6	30.9	51.0	6.8	7.4	27.0	14.3	2.4	18.3
居住地域	北海道	132	41.7	15.2	42.4	14.4	3.0	20.5	7.6	7.6	15.2
	東北	217	33.2	27.6	49.3	15.2	6.5	20.7	10.1	8.3	18.9
	北関東・甲信	235	38.7	23.8	50.2	11.5	5.5	21.7	7.7	8.5	15.3
	南関東	863	35.2	20.4	52.1	14.6	11.2	18.9	5.4	8.7	10.5
	東海	357	36.7	24.1	53.5	12.9	5.6	20.2	6.7	10.1	11.8
	北陸	130	31.5	18.5	36.2	12.3	3.8	22.3	3.1	7.7	20.8
	近畿	490	33.3	23.9	52.9	16.9	8.4	22.4	10.2	8.4	14.9
	中国・四国	283	34.3	27.9	49.5	14.8	3.2	19.8	7.8	8.1	21.6
	九州・沖縄	346	39.9	26.6	50.3	14.5	3.8	20.2	6.6	11.0	15.6
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	33.3	20.9	49.7	20.9	6.5	17.7	2.2	10.9	12.9
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	36.3	19.1	49.7	17.0	7.2	20.2	5.3	10.2	13.2
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	36.4	24.9	48.4	19.1	8.0	23.6	9.3	4.0	15.1
	学生	195	40.0	27.2	51.3	14.4	4.6	21.0	7.2	7.2	19.0
	家事専業（主婦、主夫）	669	38.0	29.7	55.5	7.5	8.2	22.6	10.5	12.1	14.9
	リタイア、無職	472	35.6	21.6	47.7	7.0	6.8	20.6	12.3	2.1	16.1
	その他	69	29.0	17.4	43.5	15.9	8.7	23.2	13.0	8.7	18.8
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	33.3	23.5	50.6	20.2	6.5	18.8	8.5	2.7	15.8
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	36.8	23.2	51.3	12.8	7.2	20.9	6.9	9.7	14.5
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	32.2	25.7	49.4	16.7	9.0	20.8	6.9	15.9	14.7
	その他	172	34.3	19.8	41.9	16.9	4.1	18.6	7.6	5.8	11.6
子どもとの同居	同居している	1159	35.7	20.6	51.7	13.4	7.9	19.6	5.5	17.9	12.7
	同居していない	1414	36.6	25.3	49.5	13.4	6.6	21.6	8.1	3.5	15.7
末子の成長段階	未就学児	301	36.5	19.9	50.5	12.3	5.3	16.9	1.3	48.8	8.6
	小学生	155	34.8	18.7	51.0	17.4	5.2	16.1	1.9	18.1	9.7
	中学生	86	39.5	14.0	57.0	23.3	10.5	22.1	3.5	5.8	17.4
	高校生	85	36.5	15.3	50.6	16.5	9.4	17.6	7.1	4.7	9.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	34.8	23.5	51.9	10.7	9.4	22.0	9.0	4.5	15.6
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	35.4	21.0	50.4	14.5	6.7	19.6	4.3	10.5	13.8
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	38.3	26.6	55.5	14.8	7.9	23.5	9.8	6.6	17.1
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	33.5	35.8	38.1	14.4	8.8	15.8	23.7	6.5	12.6
	その他	69	17.4	11.6	24.6	10.1	1.4	18.8	7.2	4.3	11.6
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	37.6	30.0	55.4	20.7	8.0	23.0	16.4	11.3	16.0
	いない	2261	36.7	22.6	51.1	12.9	7.2	20.8	5.9	10.0	14.5
	どちらとも言えない	99	23.2	22.2	26.3	9.1	5.1	13.1	11.1	9.1	7.1
世帯年収	300万円未満	584	35.4	24.1	54.5	16.8	6.3	16.6	13.0	6.3	13.9
	300万円以上～700万円未満	1186	35.8	23.6	52.3	12.2	6.5	22.0	6.7	10.2	14.7
	700万円以上～1,000万円未満	417	40.0	21.8	52.5	17.7	7.9	21.3	3.6	11.5	14.1
	1,000万円以上	245	40.8	24.1	47.3	18.8	10.2	26.1	5.3	8.6	18.8
	分からない・答えたくない	621	31.1	22.4	43.3	12.7	7.1	18.0	6.0	7.1	13.7

世帯年収が高くなると「作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会が充実する」、「その地域ならではの文化財がいつでも見られる観光名所の一つとなっている」の回答率が高まる傾向がみられる。

表Ｑ３-[2]　美術館・博物館での鑑賞の促進策

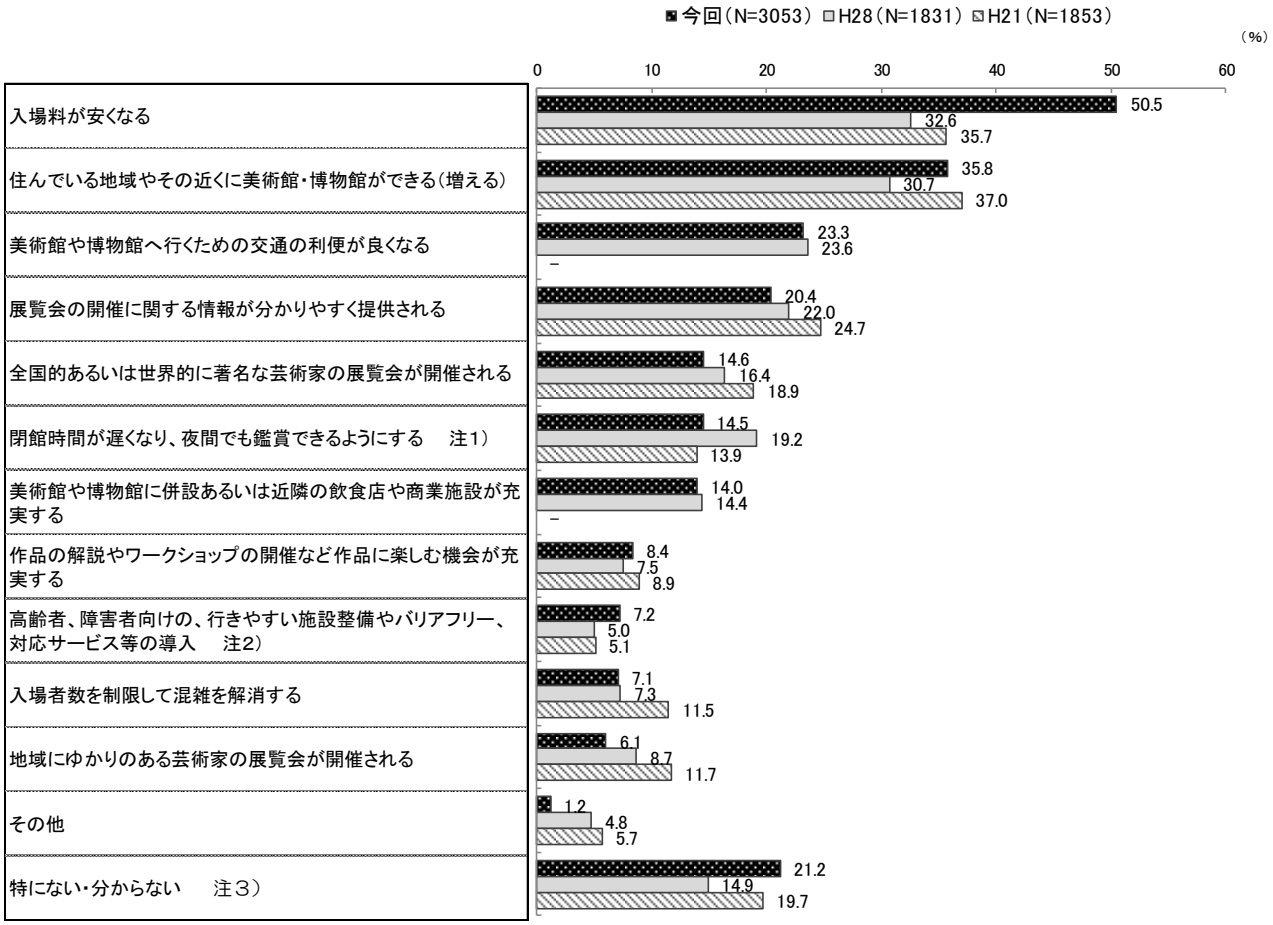
		N＝	地域にゆかりのある芸術家の展覧会が開催される	作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会が充実する	その地域ならではの文化財がいつでも見られる観光名所の一つとなっている	美術館や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設が充実する	観光ガイドや観光マップに多く掲載され、旅行の際に立ち寄りやすくなっている	他の美術館・博物館や観光施設との共同パスがあり、安く周遊できる	その他	特にない・分からない
全体		3053	6.1	8.4	7.1	14.0	13.9	10.6	1.2	21.2
性別	男性	1465	6.5	7.0	6.8	12.2	11.1	8.9	1.4	23.5
	女性	1577	5.7	9.7	7.4	15.7	16.6	12.3	1.1	18.6
	答えたくない	11	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	72.7
年齢別	18～19歳	124	4.8	12.1	4.8	16.1	12.1	10.5	4.0	16.1
	20～29歳	349	4.3	9.2	6.0	15.2	15.8	8.3	0.0	24.6
	30～39歳	440	6.1	8.6	5.0	14.5	13.0	8.9	2.0	17.7
	40～49歳	521	2.9	10.4	4.2	12.7	9.8	10.4	2.3	26.1
	50～59歳	434	4.8	8.1	6.9	15.0	12.4	7.8	0.7	25.6
	60～69歳	512	5.5	7.6	10.4	16.2	16.0	12.3	1.0	20.3
	70歳以上	673	10.8	6.4	9.4	11.3	16.5	13.8	0.6	16.5
居住地域	北海道	132	5.3	9.8	6.1	11.4	9.8	8.3	0.8	27.3
	東北	217	9.7	11.5	11.1	15.7	17.1	10.6	1.8	20.3
	北関東・甲信	235	8.1	9.4	8.5	14.5	14.0	12.8	2.6	20.9
	南関東	863	3.8	7.6	6.5	12.4	12.4	11.2	1.0	21.9
	東海	357	8.7	7.8	7.0	11.5	14.0	10.9	1.4	21.0
	北陸	130	8.5	8.5	11.5	13.8	16.9	7.7	1.5	24.6
	近畿	490	4.9	8.8	5.3	16.7	15.9	8.8	0.6	19.6
	中国・四国	283	8.1	8.1	7.4	17.7	13.8	9.5	1.4	19.1
	九州・沖縄	346	4.6	7.2	6.4	13.3	13.3	13.0	1.2	20.5
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	4.7	7.8	6.3	13.0	12.8	8.3	1.3	23.4
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	5.1	9.3	4.9	14.4	13.4	11.3	0.9	22.3
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	8.9	9.8	11.6	21.3	17.3	12.4	2.2	18.2
	学生	195	3.6	13.8	6.2	16.4	15.4	13.3	1.5	17.9
	家事専業（主婦、主夫）	669	5.5	7.9	9.3	14.2	15.5	12.3	0.9	17.3
	リタイア、無職	472	9.7	5.9	6.4	10.6	11.9	10.4	1.3	24.2
	その他	69	8.7	10.1	7.2	14.5	15.9	8.7	1.4	18.8
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	7.1	9.2	5.4	13.8	12.9	12.1	1.5	20.4
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	5.6	8.4	7.4	14.2	14.5	10.7	1.2	19.9
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	8.6	8.2	6.5	15.1	14.3	10.2	1.2	22.0
	その他	172	5.2	5.8	9.3	9.9	8.7	7.0	1.2	37.2
子どもとの同居	同居している	1159	5.4	9.6	6.0	13.5	13.5	9.6	0.9	21.1
	同居していない	1414	6.2	7.1	8.6	14.5	14.6	11.0	1.5	21.5
末子の成長段階	未就学児	301	4.3	8.3	3.7	13.0	9.0	7.3	0.7	19.6
	小学生	155	4.5	16.8	6.5	9.7	12.3	9.7	1.3	23.2
	中学生	86	1.2	11.6	4.7	14.0	9.3	5.8	0.0	19.8
	高校生	85	1.2	12.9	4.7	14.1	8.2	9.4	1.2	23.5
	大学・短大・高専以上や社会人	532	7.7	7.3	7.7	14.7	17.9	11.5	0.9	21.1
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	4.8	8.4	6.4	13.9	14.5	9.8	1.2	22.7
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	9.0	8.9	8.6	14.7	13.8	12.0	0.8	15.2
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	6.0	8.8	8.8	15.8	14.0	13.5	3.3	23.3
	その他	69	4.3	5.8	2.9	8.7	7.2	14.5	1.4	52.2
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	10.3	10.3	12.7	16.9	15.0	11.3	0.9	14.6
	いない	2261	5.7	8.2	6.9	13.8	14.2	10.4	1.3	21.1
	どちらとも言えない	99	1.0	4.0	7.1	14.1	9.1	8.1	0.0	39.4
世帯年収	300万円未満	584	6.5	6.0	7.2	13.2	14.0	12.3	0.9	22.4
	300万円以上～700万円未満	1186	6.0	8.3	7.3	14.7	14.8	10.3	1.5	16.8
	700万円以上～1,000万円未満	417	7.0	10.8	7.7	13.4	15.6	10.3	1.0	18.9
	1,000万円以上	245	9.0	12.2	9.0	15.1	13.9	9.8	1.6	17.1
	分からない・答えたくない	621	4.0	7.6	5.6	13.4	11.1	10.3	1.1	31.4

《経年比較》

平成 28 年、平成 21 年の調査結果と比較すると、「入場料が安くなる」、「高齢者、障害者向けの整備」については、過去３年の中で、最も回答が多くなっている。また「住んでいる地域やその近くに美術館・博物館ができる」、「作品の解説やワークショップ」については、平成 28 年調査より回答率が上昇している。

一方、「展覧会の情報提供」や「全国・世界的に著名な芸術家の展覧会」、「混雑の解消」、「地域にゆかりのある芸術家の展覧会」については、今回調査の回答が、最も少なくなっている。

図Ｑ３-②　美術館・博物館での鑑賞の促進策（経年比較）



注１）H21 での選択肢は「開館時間が早くなり、閉館時間も遅くなる」

注２）H28 での選択肢は「施設設備や点字などのバリアフリーを導入する」

H21 は「バリアフリーを導入する」

注３）H28 と H21 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

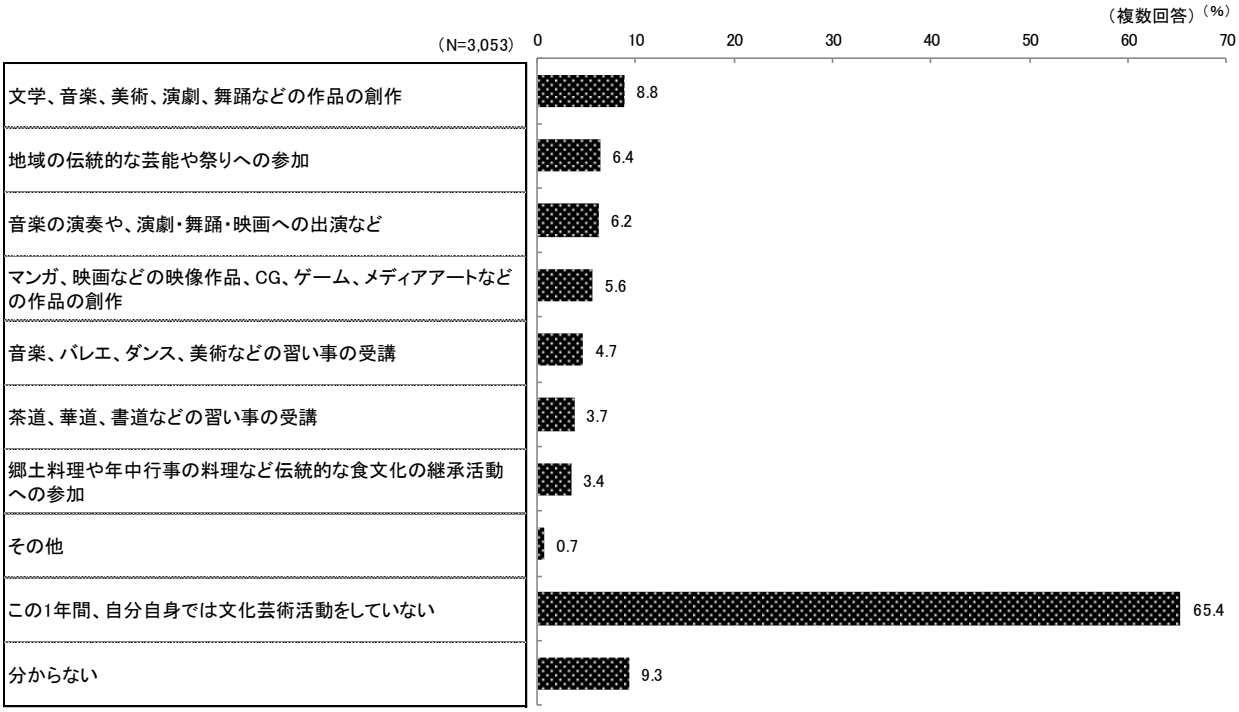
３．鑑賞以外の文化芸術活動（創作、出演、習い事、祭、体験活動など）

Ｑ４	あなたは、この１年間に、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）をしたことはありますか。（複数回答）

「この１年間、自分自身では文化芸術活動をしていない」（65.4%）、「分からない」（9.3%）の合わせて 74.7%がこの１年間に活動・参加をしていないという結果になった。活動経験があるのは 25.3%にとどまる。

活動内容として最も多いのは「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」の 8.8%で、ついで「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」の 6.4%、「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」の 6.2%と続く。

図Ｑ４-①　鑑賞を除く文化芸術活動の経験



「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」については、年齢別では 18～19 歳を中心に 30～39 歳まで、職業では学生の回答率が高い。「マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作」についても同じ傾向がみられる。

また、世帯年収が高いほど、「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」、「音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講」、「茶道、華道、書道などの習い事の受講」についての回答率がやや高くなっている。

表Ｑ４-①　鑑賞を除く文化芸術活動の経験

		Ｎ＝	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	茶道、華道、書道などの習い事の受講	郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	この１年間、自分自身では文化芸術活動をしていない	分からない
全体		3053	8.8	5.6	6.2	4.7	3.7	3.4	6.4	0.7	65.4	9.3
性別	男性	1465	10.1	7.4	6.6	3.1	2.4	3.6	6.8	0.6	65.2	9.4
	女性	1577	7.7	4.1	5.9	6.2	5.0	3.2	6.0	0.8	65.8	8.8
	答えたくない	11	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	63.6
年齢別	18～19歳	124	21.0	13.7	14.5	7.3	5.6	0.8	4.0	0.0	48.4	11.3
	20～29歳	349	16.6	14.3	8.6	6.6	5.2	4.3	4.9	0.0	49.6	15.2
	30～39歳	440	12.5	11.1	8.0	4.5	3.4	5.0	8.9	0.0	58.4	10.7
	40～49歳	521	4.2	6.1	5.0	2.5	1.3	2.5	5.4	0.4	70.2	10.2
	50～59歳	434	5.8	2.3	3.9	3.2	3.0	3.5	6.0	0.9	67.7	12.7
	60～69歳	512	6.4	2.1	5.1	4.3	2.5	3.5	5.3	0.8	74.2	6.8
	70歳以上	673	7.6	0.4	5.6	6.2	6.1	3.0	7.9	1.8	69.2	4.0
居住地域	北海道	132	8.3	3.8	6.1	3.8	1.5	2.3	3.0	0.0	76.5	4.5
	東北	217	6.9	8.3	4.1	4.1	2.3	4.1	6.0	1.8	61.3	13.4
	北関東・甲信	235	9.8	4.3	3.4	2.1	1.7	4.3	6.4	0.9	68.5	8.5
	南関東	863	8.9	5.9	6.3	5.1	3.4	3.8	5.8	0.6	65.7	9.6
	東海	357	7.8	5.0	5.6	5.3	4.5	3.4	6.2	0.3	64.1	10.1
	北陸	130	7.7	3.8	6.2	6.2	6.2	2.3	11.5	0.8	58.5	14.6
	近畿	490	9.2	5.1	8.4	4.9	5.5	2.0	7.1	0.6	63.9	8.0
	中国・四国	283	11.0	6.7	7.4	5.3	4.2	4.9	7.1	1.4	64.0	6.7
	九州・沖縄	346	8.7	6.1	6.1	4.0	3.2	2.9	6.1	0.6	67.9	9.5
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	9.7	8.8	7.6	4.4	3.7	4.7	8.2	0.2	61.9	9.6
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	7.4	4.9	4.3	3.4	2.6	3.0	4.3	0.9	67.3	11.9
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	11.1	6.7	7.1	4.9	2.7	1.8	8.9	0.9	60.0	8.0
	学生	195	22.1	14.4	12.8	8.2	6.2	3.1	5.1	0.0	45.6	12.8
	家事専業（主婦、主夫）	669	5.4	1.5	4.8	6.4	4.0	3.3	6.0	0.9	72.3	6.9
	リタイア、無職	472	6.1	1.7	3.4	2.3	3.4	1.7	4.7	1.5	73.9	7.8
	その他	69	15.9	8.7	14.5	7.2	8.7	8.7	10.1	0.0	43.5	13.0
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	12.1	6.7	7.3	5.4	3.8	3.3	5.0	0.4	61.3	9.0
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	8.1	4.9	5.9	4.6	3.5	3.3	6.6	0.8	67.4	8.4
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	11.8	10.2	8.2	5.7	6.9	4.9	8.6	0.8	59.2	8.6
	その他	172	5.2	5.2	4.7	1.7	2.3	2.3	4.7	0.0	60.5	22.1
子どもとの同居	同居している	1159	8.6	5.4	6.5	4.2	3.0	4.6	8.8	0.4	65.7	9.3
	同居していない	1414	7.9	5.4	5.7	4.8	4.3	2.5	4.9	1.1	66.5	9.4
末子の成長段階	未就学児	301	10.3	6.6	7.6	4.7	1.7	5.0	10.0	0.0	61.5	10.3
	小学生	155	10.3	13.5	9.7	5.2	5.2	5.8	11.0	0.6	63.2	6.5
	中学生	86	4.7	7.0	9.3	3.5	2.3	4.7	4.7	0.0	64.0	12.8
	高校生	85	5.9	5.9	7.1	0.0	3.5	7.1	10.6	0.0	67.1	9.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	8.3	2.1	4.3	4.5	3.2	3.6	7.9	0.8	69.0	9.0
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	8.6	5.9	6.4	5.0	3.8	3.3	6.7	0.6	64.0	10.5
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	9.3	4.4	6.1	4.1	3.8	3.6	6.1	0.8	70.4	5.3
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	10.7	10.7	7.9	5.1	2.8	4.2	7.0	1.4	61.4	7.4
	その他	69	5.8	1.4	1.4	2.9	8.7	0.0	5.8	0.0	44.9	34.8
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	16.4	16.0	14.1	7.0	9.4	11.3	10.3	0.9	51.2	7.5
	いない	2261	7.3	4.6	5.3	4.3	3.1	2.7	6.3	0.8	68.5	8.7
	どちらとも言えない	99	11.1	3.0	5.1	5.1	6.1	2.0	6.1	1.0	45.5	28.3
世帯年収	300万円未満	584	9.8	3.9	6.3	4.3	3.1	2.2	4.5	0.7	67.6	9.1
	300万円以上～700万円未満	1186	8.8	5.8	6.3	4.3	3.2	4.0	7.8	1.0	67.5	5.9
	700万円以上～1,000万円未満	417	11.0	8.2	7.7	7.2	4.8	3.8	8.9	0.2	63.5	5.5
	1,000万円以上	245	10.2	6.9	8.2	7.3	7.8	6.5	7.3	0.4	61.6	7.3
	分からない・答えたくない	621	6.1	4.7	4.2	3.1	3.1	1.8	3.5	0.6	62.0	19.3

文化芸術振興のために寄付をしたことがある人は、そうでない人に比して、各ジャンルとも回答率が２倍から３倍程度高くなっている。

表Ｑ４-②　鑑賞を除く文化芸術活動の経験

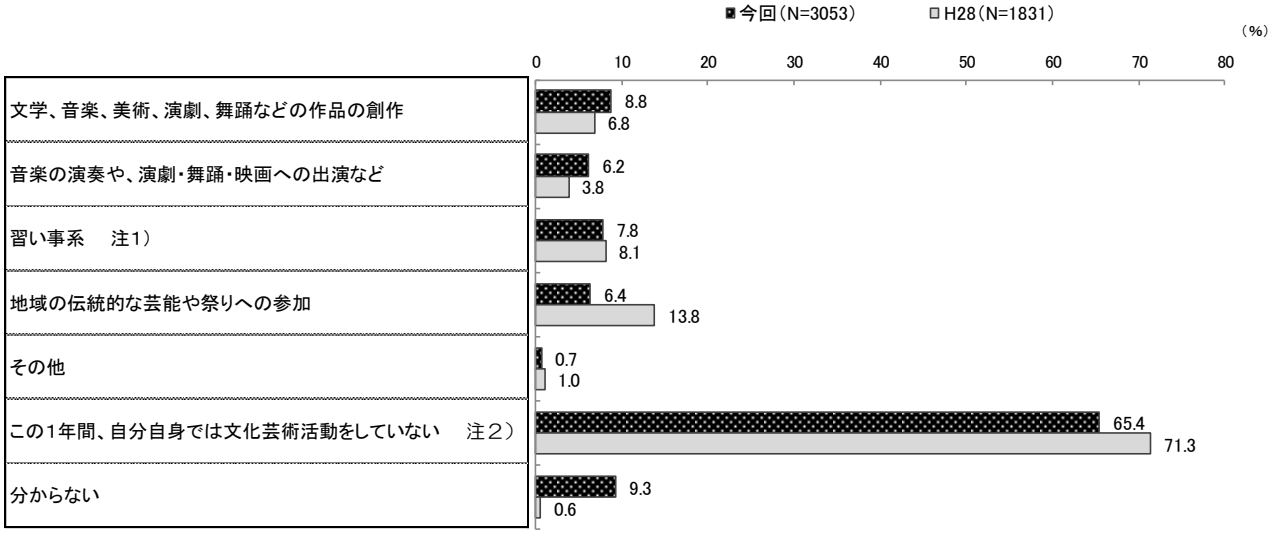
		Ｎ＝	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	茶道、華道、書道などの習い事の受講	郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	この１年間、自分自身では文化芸術活動をしていない	分からない
全体		3053	8.8	5.6	6.2	4.7	3.7	3.4	6.4	0.7	65.4	9.3
文化芸術振興のための寄付	したことがある	171	34.5	18.1	16.4	13.5	17.0	13.5	21.1	1.2	30.4	0.6
	したことはないが、今後はしてみたい	947	12.4	8.0	9.3	7.3	6.1	6.0	10.3	1.2	60.3	2.6
	したことはなく、今後もしたいとは思わない	1343	4.7	3.4	3.3	1.9	1.1	1.1	3.5	0.5	77.3	7.5
	分からない	592	5.2	3.2	5.1	4.2	2.0	1.5	2.4	0.3	56.6	26.5

《経年比較》

「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」や「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」については、前回の平成 28 年の調査結果に比べ、大きく回答率が伸張している。一方「習い事系」については若干の減少、「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」については大幅な減少となっている。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Ｑ４-②　鑑賞を除く文化芸術活動の経験（経年比較）



注１）今回の習い事に関する選択肢を「習い事系」にまとめた
　　H28 での選択肢は「音楽、舞踊、茶道、華道、書道などの習い事の受講」
注２）H28 での選択肢は「特に行ったことはない」

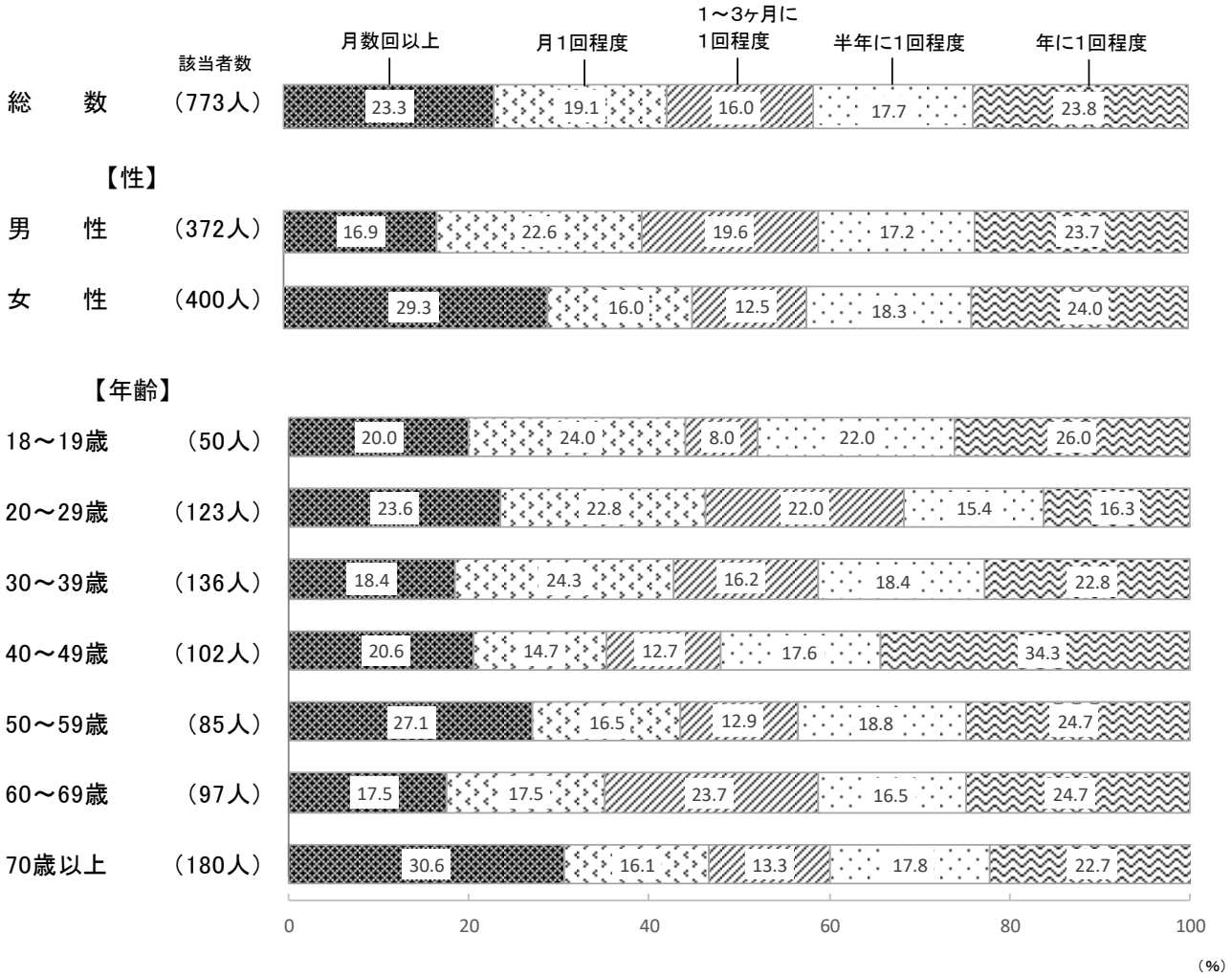
【Q4 で『1.文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作』～『8.その他』　いずれかを選択した方】

Ｑ５	あなたは、Ｑ４で提示したような、創作や出演、習い事、地域の芸能や祭りへの参加などの活動を、この１年間で、どの程度しましたか。

文化芸術活動の頻度をみると「月数回以上」が 23.3%、「月１回程度」が 19.1%となっており、全体の 42.4%が毎月活動している。一方、「年に１回程度」という回答も 23.8%あった。

男女では、女性の方が毎月活動している割合が高い。また、年齢別では、40～49 歳と 60～69 歳で毎月活動する割合が低くなっている。

図Ｑ５　鑑賞を除く文化芸術活動の経験頻度



パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託などでは、「年に１回程度」という回答が多い。

表Ｑ５　鑑賞を除く文化芸術活動の経験頻度

		Ｎ＝	月数回以上	月1回程度	1～3ケ月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度
全体		773	23.3	19.1	16.0	17.7	23.8
性別	男性	372	16.9	22.6	19.6	17.2	23.7
	女性	400	29.3	16.0	12.5	18.3	24.0
	答えたくない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳	50	20.0	24.0	8.0	22.0	26.0
	20～29歳	123	23.6	22.8	22.0	15.4	16.3
	30～39歳	136	18.4	24.3	16.2	18.4	22.8
	40～49歳	102	20.6	14.7	12.7	17.6	34.3
	50～59歳	85	27.1	16.5	12.9	18.8	24.7
	60～69歳	97	17.5	17.5	23.7	16.5	24.7
	70歳以上	180	30.6	16.1	13.3	17.8	22.2
居住地域	北海道	25	20.0	12.0	24.0	16.0	28.0
	東北	55	21.8	18.2	20.0	23.6	16.4
	北関東・甲信	54	18.5	13.0	16.7	33.3	18.5
	南関東	213	25.4	18.8	15.5	16.4	23.9
	東海	92	20.7	20.7	14.1	21.7	22.8
	北陸	35	25.7	17.1	11.4	14.3	31.4
	近畿	138	23.2	19.6	21.0	11.6	24.6
	中国・四国	83	20.5	26.5	12.0	14.5	26.5
	九州・沖縄	78	28.2	17.9	11.5	17.9	24.4
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	255	20.4	24.3	16.9	16.5	22.0
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	110	17.3	14.5	13.6	20.0	34.5
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	72	29.2	19.4	19.4	15.3	16.7
	学生	81	23.5	22.2	17.3	19.8	17.3
	家事専業（主婦、主夫）	139	29.5	17.3	13.7	18.7	20.9
	リタイア、無職	86	26.7	12.8	17.4	14.0	29.1
	その他	30	16.7	10.0	13.3	26.7	33.3
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	143	28.7	23.8	14.7	15.4	17.5
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	521	22.6	17.5	15.4	19.0	25.5
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	79	17.7	22.8	22.8	13.9	22.8
	その他	30	23.3	16.7	16.7	16.7	26.7
子どもとの同居	同居している	289	19.0	20.4	14.9	19.0	26.6
	同居していない	341	24.6	16.1	17.6	17.6	24.0
末子の成長段階	未就学児	85	17.6	22.4	17.6	17.6	24.7
	小学生	47	23.4	27.7	12.8	14.9	21.3
	中学生	20	20.0	5.0	10.0	35.0	30.0
	高校生	20	10.0	25.0	15.0	15.0	35.0
	大学・短大・高専以上や社会人	117	19.7	17.9	14.5	19.7	28.2
健康状態	健康面で特に問題はない	473	22.2	18.6	17.3	19.9	22.0
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	231	26.8	20.3	13.0	14.7	25.1
	障害、要介護その他で行動に制限がある	67	17.9	22.4	11.9	16.4	31.3
	その他	14	35.7	7.1	28.6	0.0	28.6
介護・介助が必要な家族の有無	いる	88	20.5	30.7	20.5	11.4	17.0
	いない	516	22.3	16.1	15.3	20.2	26.2
	どちらとも言えない	26	23.1	15.4	23.1	3.8	34.6
世帯年収	300万円未満	136	27.2	14.7	11.0	19.9	27.2
	300万円以上～700万円未満	316	20.3	23.4	15.8	16.8	23.7
	700万円以上～1,000万円未満	129	24.0	19.4	20.2	17.8	18.6
	1,000万円以上	76	30.3	15.8	19.7	11.8	22.4
	分からない・答えたくない	116	21.6	14.7	15.5	21.6	26.7

【末子の成長段階で『1.未就学児』～『4.高校生』　いずれかを選択した方】

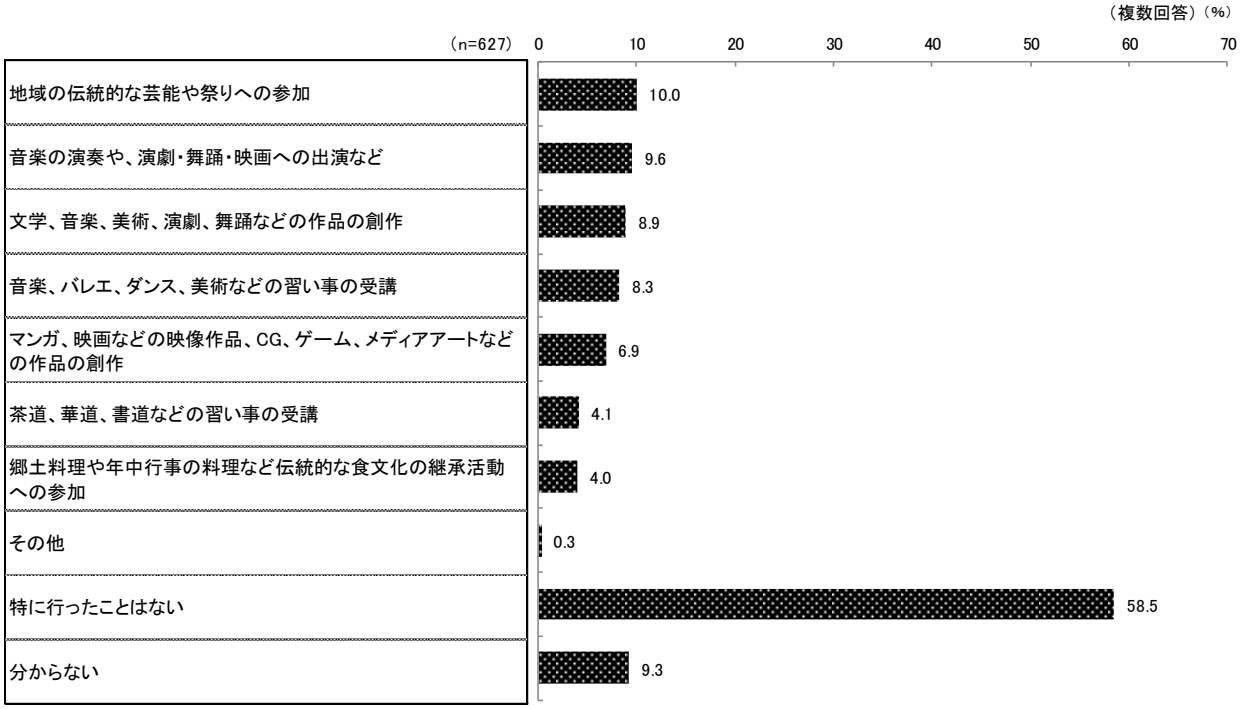
Q5SQ1	あなたの同居されているお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、学校以外で、この１年間に、この中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。（複数回答）

「特に行ったことはない」（58.5%）、「分からない」（9.3%）の合わせて 67.8%がこの１年間に活動・参加をしていないという結果になった。一方、活動経験があるのは 32.2%となり、回答者自体の活動率である 25.3%を上回る。この理由としては、子どもの方が、習い事や文化施設の事業などで文化芸術活動に触れる機会が多いことが考えられる。

活動内容として最も多いのは「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」の 10.0%で、ついで「音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など」の 9.6%、「文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作」の 8.9%と続く。

※この回答については、本人ではなく、あくまで親世代が回答した数値となっているため、中学生・高校生など、親と離れて行動する機会が増えている比較的年齢の高い層の行動については、回答から漏れている可能性があり、留意が必要である（全体として回答率がやや低めとなっていることが想定される）。

図Ｑ５-１　子どもの文化芸術体験（学校以外）



職業で家事専業、また未就学児と同居している人の場合「特に行ったことはない」という回答が多い。

表Ｑ５-１　子どもの文化芸術体験（学校以外）

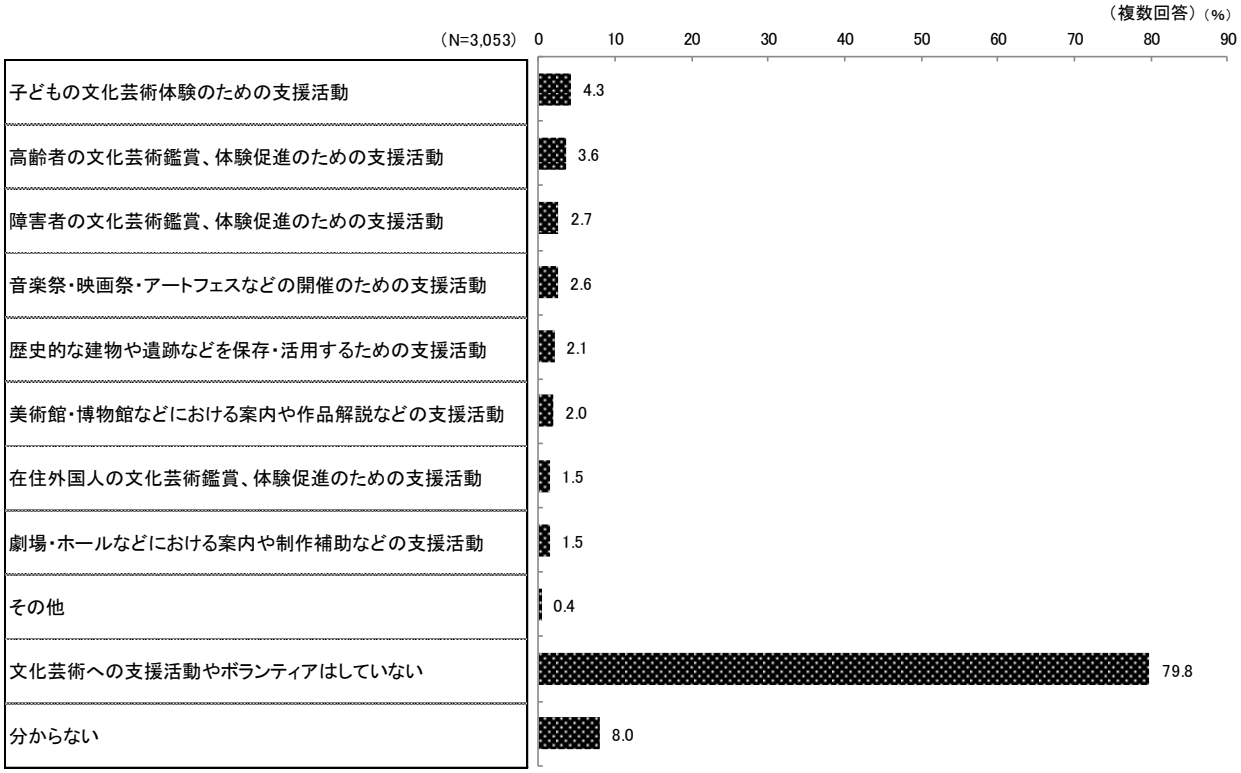
		Ｎ＝	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	茶道、華道、書道などの習い事の受講	郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	特に行ったことはない	分からない
全体		627	8.9	6.9	9.6	8.3	4.1	4.0	10.0	0.3	58.5	9.3
性別	男性	303	11.6	9.2	12.9	11.2	4.6	6.3	10.9	0.7	52.5	8.6
	女性	323	6.5	4.6	6.5	5.6	3.7	1.9	9.3	0.0	64.1	9.9
	答えたくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	18～19歳	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0
	20～29歳	72	9.7	5.6	6.9	6.9	5.6	4.2	6.9	0.0	73.6	5.6
	30～39歳	190	8.4	9.5	8.9	7.9	3.2	7.4	10.5	0.0	62.6	6.3
	40～49歳	265	7.2	6.4	9.1	8.7	3.4	1.5	9.8	0.4	56.2	10.2
	50～59歳	76	14.5	2.6	9.2	10.5	5.3	2.6	5.3	0.0	51.3	15.8
	60～69歳	12	0.0	0.0	25.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	41.7	16.7
	70歳以上	7	14.3	14.3	57.1	0.0	42.9	14.3	85.7	14.3	0.0	0.0
居住地域	北海道	19	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	84.2	5.3
	東北	44	11.4	4.5	13.6	4.5	4.5	6.8	20.5	0.0	40.9	13.6
	北関東・甲信	44	4.5	6.8	13.6	2.3	0.0	4.5	11.4	0.0	61.4	11.4
	南関東	199	9.0	6.0	7.0	8.0	3.5	3.0	6.5	0.0	60.3	10.6
	東海	82	4.9	6.1	6.1	8.5	4.9	4.9	7.3	1.2	63.4	8.5
	北陸	29	6.9	10.3	13.8	17.2	6.9	3.4	20.7	3.4	44.8	6.9
	近畿	85	12.9	8.2	11.8	11.8	5.9	3.5	10.6	0.0	52.9	9.4
	中国・四国	60	13.3	8.3	15.0	13.3	3.3	3.3	10.0	0.0	58.3	5.0
	九州・沖縄	65	7.7	9.2	7.7	4.6	6.2	6.2	12.3	0.0	63.1	7.7
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	321	10.6	9.0	10.9	10.9	4.4	6.2	8.7	0.3	58.3	7.2
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	115	7.8	5.2	9.6	6.1	4.3	3.5	9.6	0.0	51.3	13.9
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	26	7.7	7.7	11.5	7.7	0.0	0.0	11.5	0.0	57.7	7.7
	学生	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	家事専業（主婦、主夫）	145	4.8	2.1	5.5	5.5	3.4	0.0	9.7	0.0	71.7	7.6
	リタイア、無職	8	12.5	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	62.5	12.5	0.0	37.5
	その他	8	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	25.0
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	526	8.9	6.7	8.6	7.6	3.6	4.4	9.3	0.2	59.9	9.5
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	87	9.2	9.2	14.9	12.6	6.9	2.3	16.1	1.1	51.7	5.7
	その他	14	7.1	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	50.0	21.4
子どもとの同居	同居している	627	8.9	6.9	9.6	8.3	4.1	4.0	10.0	0.3	58.5	9.3
	同居していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
末子の成長段階	未就学児	301	6.0	6.0	6.0	6.6	2.0	4.0	9.0	0.3	69.8	6.3
	小学生	155	13.5	11.0	18.7	14.2	6.5	5.2	14.8	0.6	44.5	7.1
	中学生	86	9.3	4.7	14.0	8.1	8.1	3.5	9.3	0.0	53.5	8.1
	高校生	85	10.6	4.7	1.2	3.5	3.5	2.4	5.9	0.0	49.4	24.7
	大学・短大・高専以上や社会人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康状態	健康面で特に問題はない	486	7.6	6.2	7.4	7.6	2.9	3.5	8.6	0.2	63.2	8.2
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	118	12.7	8.5	16.9	11.9	8.5	5.9	15.3	0.8	46.6	8.5
	障害、要介護その他で行動に制限がある	24	29.2	20.8	20.8	8.3	12.5	12.5	20.8	0.0	29.2	20.8
	その他	6	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	55	30.9	23.6	21.8	14.5	16.4	16.4	21.8	0.0	27.3	5.5
	いない	556	7.0	5.2	8.5	7.9	2.9	2.9	9.2	0.4	61.5	9.0
	どちらとも言えない	16	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	62.5	31.3
世帯年収	300万円未満	49	8.2	6.1	6.1	2.0	2.0	4.1	12.2	0.0	61.2	16.3
	300万円以上～700万円未満	279	10.4	6.5	7.9	9.3	3.9	6.1	12.2	0.0	58.8	5.7
	700万円以上～1,000万円未満	145	7.6	6.2	13.8	11.7	5.5	1.4	6.2	1.4	58.6	9.0
	1,000万円以上	63	9.5	11.1	17.5	7.9	6.3	3.2	9.5	0.0	58.7	3.2
	分からない・答えたくない	91	6.6	6.6	4.4	3.3	2.2	2.2	8.8	0.0	56.0	20.9

Ｑ６	あなたは、この１年間に、文化芸術への支援の活動やボランティアをしたことはありますか。（複数回答）

「文化芸術への支援活動やボランティアはしていない」（79.8%）、「分からない」（8.0%）の合わせて87.8%がこの１年間に支援活動をしていないという結果になった。支援活動経験があるのは 12.2%にとどまる。

活動内容として最も多いのは「子どもの文化芸術体験のための支援活動」の 4.3%で、ついで「高齢者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動」の 3.6%、「障害者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動」2.7%となっており、文化芸術そのものよりも、文化芸術を鑑賞・体験しにくい層への支援が多いことがわかる。

図Ｑ６　文化芸術でのボランティア活動の経験



年齢別では 18～19 歳、20～29 歳で、職業別では家事専業で、また家族に介護・介助が必要な人がいる世帯で、「文化芸術への支援活動やボランティアはしていない」という回答が少なく、やや活発に支援活動に携わっていることがわかる。

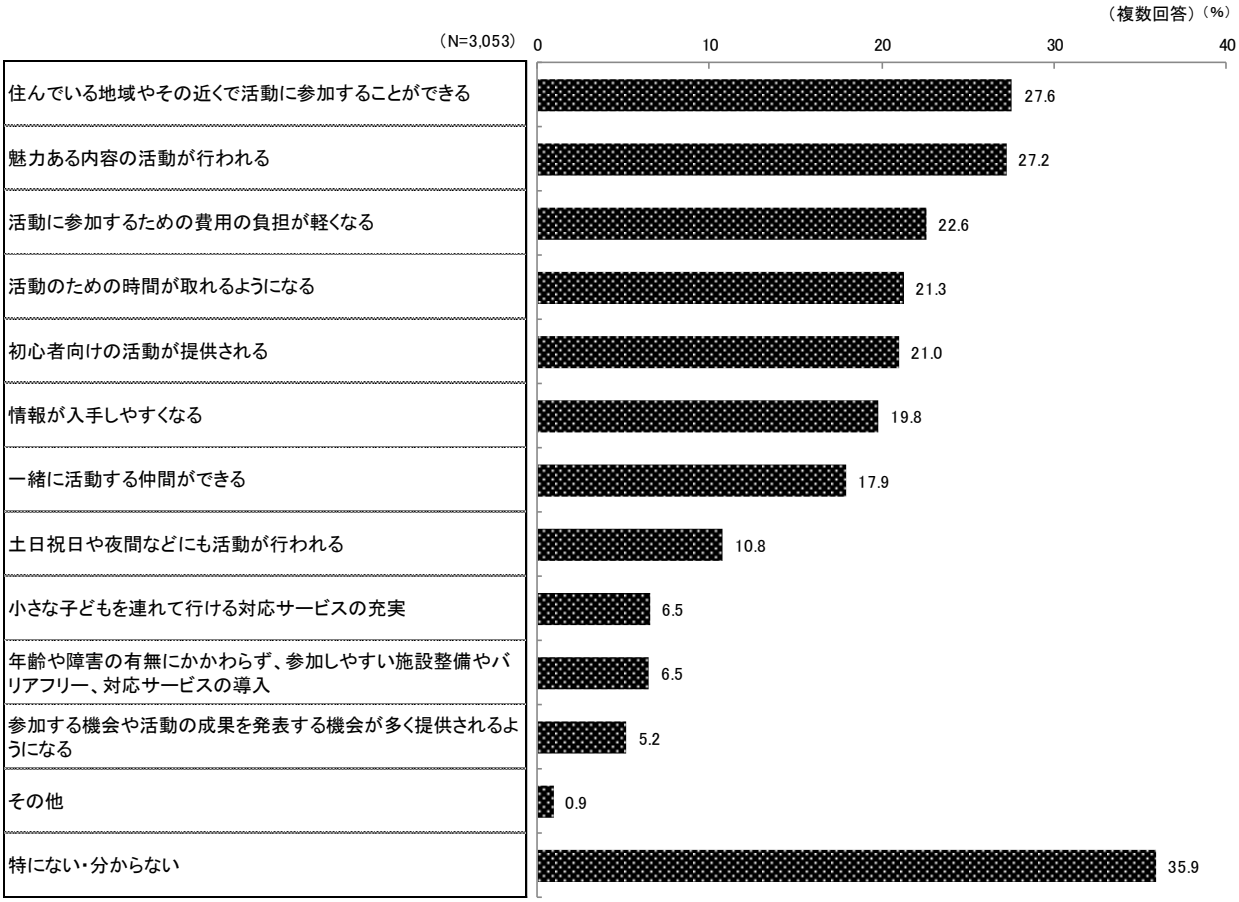
表Q６　文化芸術でのボランティア活動の経験

		N＝	子どもの文化芸術体験のための支援活動	高齢者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動	障害者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動	在住外国人の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動	美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動	劇場・ホールなどにおける案内や制作補助などの支援活動	音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催のための支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	文化芸術へのボランティアの支援活動やはしていない	分からない
全体		3053	4.3	3.6	2.7	1.5	2.0	1.5	2.6	2.1	0.4	79.8	8.0
性別	男性	1465	5.3	4.3	3.3	2.2	2.5	1.4	3.0	2.5	0.4	77.7	7.5
	女性	1577	3.4	2.9	2.0	0.9	1.5	1.5	2.2	1.8	0.4	82.0	8.2
	答えたくない	11	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	45.5
年齢別	18～19歳	124	7.3	4.8	2.4	1.6	4.0	0.8	9.7	4.0	0.8	63.7	12.9
	20～29歳	349	7.4	7.2	7.2	4.9	4.0	4.3	4.3	4.0	0.3	65.9	12.9
	30～39歳	440	6.8	5.7	2.7	2.7	3.6	2.3	3.9	1.4	0.5	75.2	9.1
	40～49歳	521	4.0	1.2	1.7	1.2	0.8	0.4	1.7	0.8	0.4	81.2	9.4
	50～59歳	434	3.7	1.8	1.4	0.5	0.9	1.2	1.8	2.1	0.0	81.3	9.7
	60～69歳	512	1.4	2.3	2.5	0.4	1.8	1.0	1.6	2.7	1.0	87.3	4.1
	70歳以上	673	3.1	4.0	1.9	0.7	1.2	1.0	1.5	1.8	0.1	85.3	4.8
居住地域	北海道	132	2.3	4.5	1.5	2.3	0.8	1.5	1.5	2.3	0.0	85.6	6.8
	東北	217	4.1	6.0	2.3	2.8	2.3	2.3	3.2	4.6	0.0	75.6	9.2
	北関東・甲信	235	3.4	5.1	1.7	1.3	1.3	0.4	1.3	1.7	0.9	81.3	6.4
	南関東	863	4.6	3.4	1.6	1.2	1.9	1.7	3.6	1.7	0.5	78.8	8.8
	東海	357	3.1	3.6	3.4	2.0	2.0	1.4	2.0	0.6	0.3	81.2	8.1
	北陸	130	4.6	2.3	2.3	0.8	3.1	1.5	1.5	3.8	0.0	80.0	10.0
	近畿	490	4.9	3.1	4.3	1.4	2.0	1.6	2.9	2.2	0.8	79.4	7.6
	中国・四国	283	5.7	3.5	2.8	2.1	2.5	1.1	2.5	1.4	0.4	79.9	6.4
	九州・沖縄	346	3.8	2.3	3.5	0.9	2.0	1.2	1.7	2.9	0.0	80.9	8.1
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	6.7	4.9	3.4	2.3	3.6	2.5	4.4	2.5	0.3	75.4	8.5
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	3.0	2.8	2.5	0.6	0.8	1.1	0.9	1.7	0.6	83.0	7.4
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	3.6	3.6	3.6	1.3	2.7	1.3	2.2	2.2	0.4	78.7	8.4
	学生	195	7.2	5.1	6.2	5.1	3.6	2.1	7.2	3.6	1.0	60.5	12.8
	家事専業（主婦、主夫）	669	2.7	2.4	1.8	0.7	1.3	1.2	1.6	1.8	0.3	85.5	6.4
	リタイア、無職	472	1.3	2.1	0.8	0.4	0.2	0.2	0.6	1.7	0.2	87.3	7.0
	その他	69	11.6	8.7	2.9	2.9	1.4	1.4	2.9	1.4	0.0	65.2	14.5
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	5.4	3.5	3.3	2.3	2.1	1.9	2.7	3.5	1.5	75.4	8.1
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	3.9	3.4	2.0	1.3	1.8	1.0	2.5	1.5	0.2	82.1	7.2
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	6.9	6.9	7.3	3.3	4.1	4.9	4.9	4.5	0.0	72.2	7.3
	その他	172	1.7	1.2	1.7	0.0	1.2	1.7	0.6	1.7	0.0	74.4	19.2
子どもとの同居	同居している	1159	5.4	4.1	3.4	1.6	2.2	1.7	2.6	2.2	0.3	79.5	7.9
	同居していない	1414	2.9	3.1	1.8	1.2	1.7	1.1	2.5	1.5	0.1	81.6	8.1
末子の成長段階	未就学児	301	7.0	5.0	3.3	2.3	3.0	2.3	2.7	1.7	0.3	77.7	8.6
	小学生	155	9.0	6.5	5.2	1.9	3.2	2.6	6.5	2.6	0.0	72.3	8.4
	中学生	86	9.3	2.3	4.7	4.7	2.3	1.2	3.5	2.3	0.0	80.2	5.8
	高校生	85	7.1	2.4	1.2	0.0	3.5	0.0	2.4	3.5	1.2	77.6	7.1
	大学・短大・高専以上や社会人	532	2.6	3.6	3.0	0.8	1.3	1.5	1.3	2.3	0.4	82.7	7.7
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	4.6	3.3	2.3	1.5	2.0	1.3	3.0	2.4	0.3	78.6	9.1
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	3.8	4.1	2.3	1.2	2.1	1.7	2.0	1.4	0.5	84.7	4.4
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	4.2	5.1	8.4	4.2	1.9	2.3	2.3	2.8	0.5	75.8	7.0
	その他	69	4.3	2.9	1.4	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	59.4	31.9
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	11.7	12.7	12.2	5.6	8.5	6.1	7.0	5.2	0.0	63.8	7.5
	いない	2261	3.4	2.6	1.5	1.0	1.4	1.0	2.1	1.6	0.2	83.2	7.1
	どちらとも言えない	99	3.0	6.1	4.0	0.0	0.0	1.0	3.0	0.0	0.0	58.6	29.3
世帯年収	300万円未満	584	3.1	3.4	2.1	1.0	0.7	1.0	1.2	2.1	0.7	83.0	7.2
	300万円以上～700万円未満	1186	5.3	4.6	2.4	1.8	2.3	1.5	2.6	2.4	0.3	80.9	5.2
	700万円以上～1,000万円未満	417	4.8	2.9	2.9	1.9	3.6	2.2	4.8	2.4	0.2	80.3	4.3
	1,000万円以上	245	6.9	5.7	7.8	2.0	2.9	2.4	3.7	3.3	0.8	75.9	6.1
	分からない・答えたくない	621	1.9	1.3	1.4	1.0	1.1	1.0	1.9	1.0	0.2	75.8	17.4

Ｑ７	あなたは、どうすれば鑑賞以外の創作、出演、習い事といった活動や支援・ボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。（複数回答）

最も回答が多かったのは「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」の 27.6%で、ついで「魅力ある内容の活動が行われる」の 27.2%、「活動に参加するための費用の負担が軽くなる」22.6%などと続いている。

図Ｑ７-①　鑑賞を除く文化芸術活動への参加の促進策



年齢別にみると、10～19 歳では、「活動に参加するための費用の負担が軽くなる」、「活動のための時間が取れるようになる」、「魅力ある内容の活動が行われる」、「初心者向けの活動が提供される」など多くの項目で回答率が高く、積極的に検討している様子が見受けられる。また、「特にない・分からない」という回答も少ない。同様の傾向は学生でもみられる。一方、30～39 歳や未就学児童と同居している人では「活動のための時間が取れるようになる」、「小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実」が多く、障害・要介護などで行動に制限がある人では「年齢や障害の有無にかかわらず参加しやすい設備など」を臨んでいる。

また、世帯年収が高いほど「時間が取れる」「土日や夜間でも活動ができる」という回答が多くなっている。

表Q７　鑑賞を除く文化芸術活動への参加の促進策

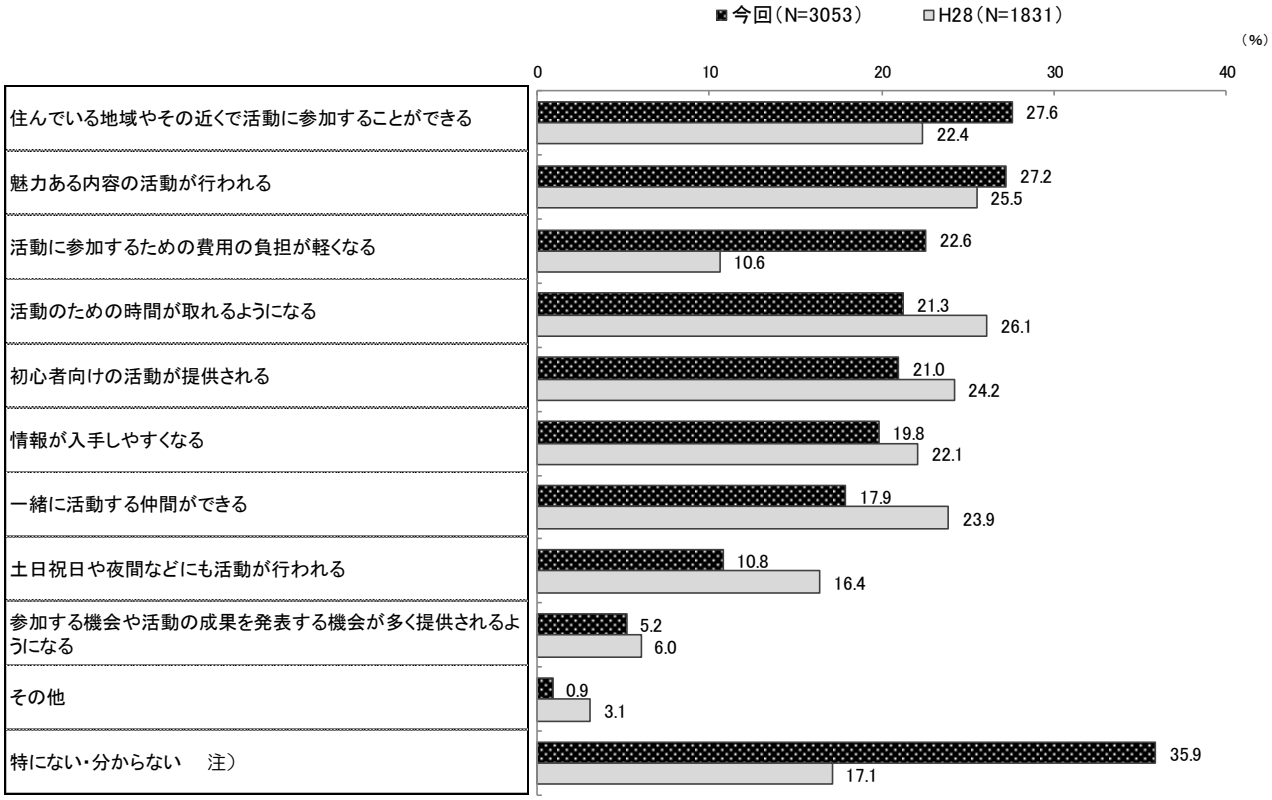
		N＝	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる	活動に参加するための費用の負担が軽くなる	活動のための時間が取れるようになる	土日祝日や夜間などにも活動が行われる	魅力ある内容の活動が行われる	初心者向けの活動が提供される	参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供されるようになる	情報が入手しやすくなる	一緒に活動する仲間ができる	年齢や障害の有無にかかわらず、参加しやすい設備やバリアフリー、施設整備や対応サービスの導入	小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実	その他	特にない・分からない
全体		3053	27.6	22.6	21.3	10.8	27.2	21.0	5.2	19.8	17.9	6.5	6.5	0.9	35.9
性別	男性	1465	23.7	21.0	21.3	12.2	24.1	18.1	4.8	17.3	16.4	5.4	4.2	0.8	39.5
	女性	1577	31.3	24.0	21.2	9.5	30.2	23.8	5.6	22.3	19.4	7.5	8.7	1.0	32.3
	答えたくない	11	9.1	18.2	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	72.7
年齢別	18～19歳	124	36.3	33.9	34.7	17.7	38.7	31.5	3.2	23.4	27.4	8.1	5.6	1.6	21.0
	20～29歳	349	22.9	28.1	28.9	15.2	28.4	24.6	4.9	24.4	20.1	3.7	10.3	1.4	29.8
	30～39歳	440	30.9	28.9	30.7	16.4	27.7	27.7	5.2	23.9	20.7	4.3	16.6	1.1	25.7
	40～49歳	521	23.4	22.6	25.0	11.5	25.1	21.1	3.1	16.9	15.9	3.5	9.0	1.2	37.4
	50～59歳	434	25.1	18.2	17.7	12.2	24.2	15.9	4.4	16.1	14.7	4.6	2.3	0.2	43.3
	60～69歳	512	24.2	19.3	18.4	7.8	27.3	17.6	7.2	17.8	16.0	9.0	2.9	1.0	42.2
	70歳以上	673	33.6	18.7	10.3	4.3	27.6	18.6	6.2	20.4	18.3	10.7	1.6	0.6	37.7
居住地域	北海道	132	27.3	23.5	14.4	9.8	29.5	16.7	2.3	21.2	14.4	7.6	3.0	2.3	38.6
	東北	217	32.7	26.3	18.9	12.0	27.6	21.2	4.1	24.4	19.4	7.8	4.6	0.0	35.5
	北関東・甲信	235	26.0	25.1	25.1	6.4	30.2	22.6	6.4	20.9	17.9	8.1	7.2	0.9	35.7
	南関東	863	25.4	20.5	20.0	10.8	24.0	19.2	4.2	17.8	16.1	4.9	7.1	0.8	39.2
	東海	357	25.2	23.0	23.8	12.3	26.3	22.4	3.6	20.4	19.9	4.2	7.3	0.6	34.7
	北陸	130	26.9	20.0	20.0	11.5	26.9	21.5	8.5	20.0	18.5	10.8	5.4	0.8	36.9
	近畿	490	29.0	24.1	21.8	12.9	27.6	20.8	6.1	18.0	18.8	6.9	7.3	1.0	35.5
	中国・四国	283	30.0	23.0	20.1	11.3	27.9	21.9	5.7	21.2	18.7	8.1	4.6	0.7	29.7
	九州・沖縄	346	29.8	21.4	23.7	8.1	32.1	23.7	7.2	21.4	18.8	6.9	7.2	1.7	33.5
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	26.1	23.6	27.0	16.8	27.6	20.4	5.0	18.0	17.3	2.7	8.5	0.7	33.4
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	24.2	22.5	23.4	11.9	25.7	22.9	4.0	20.4	15.9	5.9	6.6	0.6	35.9
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	26.2	26.2	26.2	11.1	28.9	18.7	4.4	24.9	18.2	8.0	4.0	2.7	35.1
	学生	195	32.3	33.3	35.9	18.5	34.4	29.7	5.6	27.2	27.7	7.2	3.6	1.5	21.0
	家事専業（主婦、主夫）	669	34.2	22.4	16.7	5.2	29.1	22.6	6.6	20.5	18.7	9.4	9.1	0.4	34.7
	リタイア、無職	472	24.2	15.7	6.8	3.0	22.0	15.9	4.9	15.9	15.5	8.5	1.7	1.1	49.4
	その他	69	23.2	15.9	15.9	8.7	24.6	17.4	5.8	21.7	21.7	11.6	4.3	2.9	31.9
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	27.1	22.1	18.8	11.7	28.5	22.3	5.6	20.8	16.7	6.5	2.5	2.3	33.8
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	27.7	22.5	21.1	10.3	27.3	21.3	5.0	19.7	18.0	6.6	7.5	0.7	35.9
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	29.4	26.1	29.8	14.7	26.5	20.4	5.3	20.4	22.0	5.7	8.2	0.0	31.8
	その他	172	24.4	19.8	18.6	8.7	23.3	14.5	6.4	18.0	14.0	5.8	2.9	0.6	48.3
子どもとの同居	同居している	1159	29.3	22.6	23.0	13.0	25.5	19.7	4.7	19.0	17.0	5.1	13.5	0.5	36.2
	同居していない	1414	26.3	22.7	20.7	8.6	28.1	21.6	5.4	20.2	19.1	7.6	2.2	0.8	36.4
末子の成長段階	未就学児	301	33.9	27.6	32.9	14.0	29.2	25.2	4.0	21.9	18.6	3.3	38.9	0.7	24.3
	小学生	155	32.3	28.4	29.0	19.4	29.7	23.9	5.2	18.1	14.8	4.5	15.5	0.6	28.4
	中学生	86	29.1	19.8	25.6	17.4	25.6	22.1	2.3	11.6	14.0	2.3	4.7	0.0	31.4
	高校生	85	23.5	20.0	15.3	18.8	21.2	9.4	4.7	15.3	15.3	2.4	0.0	0.0	42.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	26.9	19.0	16.5	9.0	22.9	16.5	5.5	19.4	17.5	7.1	2.1	0.6	44.9
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	27.4	23.1	22.6	11.4	27.8	21.1	4.6	20.8	17.5	4.9	7.8	0.8	35.9
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	29.0	21.7	20.3	10.0	29.0	21.9	6.1	20.0	19.5	6.5	5.0	0.6	34.3
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	26.5	24.2	16.3	11.6	18.1	19.5	7.4	13.5	18.1	22.3	3.7	3.3	37.2
	その他	69	17.4	13.0	13.0	2.9	10.1	8.7	2.9	8.7	10.1	4.3	2.9	1.4	58.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	33.8	31.9	27.7	19.7	28.2	22.5	9.4	18.3	16.4	11.7	4.2	0.0	28.6
	いない	2261	27.4	21.8	21.2	9.9	27.0	20.7	4.8	20.2	18.4	5.9	7.5	0.7	36.4
	どちらとも言えない	99	20.2	22.2	21.2	7.1	23.2	17.2	3.0	10.1	15.2	9.1	8.1	1.0	50.5
世帯年収	300万円未満	584	26.7	21.9	16.3	7.2	25.5	22.4	5.3	17.8	18.7	9.6	5.0	1.9	40.4
	300万円以上～700万円未満	1186	29.0	24.5	21.5	11.2	29.9	22.2	5.3	21.8	19.0	6.9	7.8	0.8	30.1
	700万円以上～1,000万円未満	417	31.2	22.8	26.6	17.5	30.9	20.9	4.8	20.4	20.1	4.3	8.2	0.0	31.2
	1,000万円以上	245	29.0	22.4	28.2	14.3	29.4	20.0	6.5	20.0	18.0	3.7	4.5	1.2	33.5
	分からない・答えたくない	621	22.7	19.5	19.2	7.4	20.3	17.9	4.5	17.4	13.7	5.3	5.2	0.6	46.9

《経年比較》

平成 28 年の前回調査と比較すると、「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」、「魅力ある内容の活動が行われる」、「活動に参加するための費用の負担が軽くなる」の項目については回答率が高くなっており、他の項目については下がっている。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Ｑ７-②　鑑賞を除く文化芸術活動への参加の促進策（経年比較）



注）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

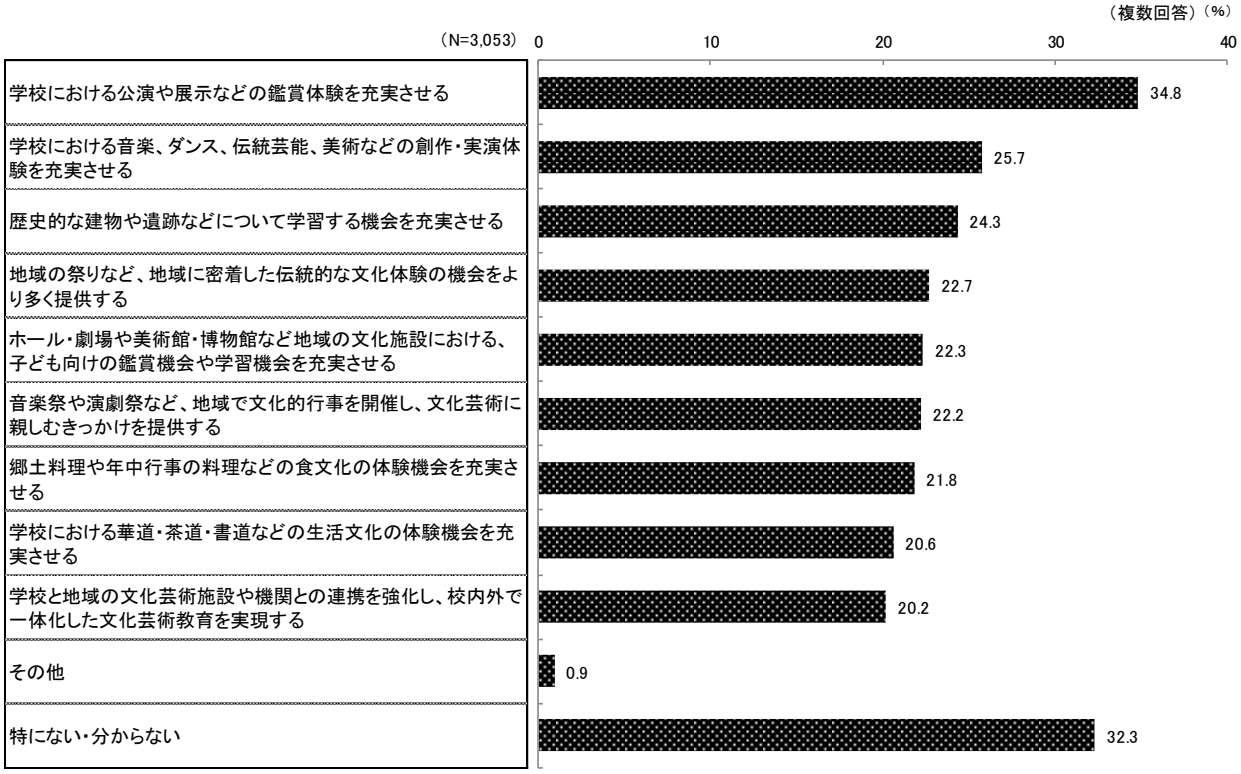
４．子どもの文化芸術体験

Ｑ８	あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（複数回答）

最も回答率が高いのは「学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる」の 34.8%で、ついで「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる」の 25.7%、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる」の 24.3%、「地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する」の 22.7%と続く。

また、その他の項目も、20.0%以上の回答率となっており、多くの事柄について同じように重視していることがわかる結果となった。

図Ｑ８-①　子どもの文化芸術体験で重要なこと



年齢では、18～19 歳で「郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会を充実させる」という回答が多い。また、「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる」については、世帯年収が高いほど回答率が上昇する傾向がみられる。

表Q８　子どもの文化芸術体験で重要なこと

		N＝	学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる	学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる	学校における華道・茶道・書道などの生活文化の体験機会を充実させる	郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会を充実させる	歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる	学校と地域の文化芸術施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を実現する	ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる	音楽祭や演劇祭など、地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する	地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する	その他	特にない・分からない
全体		3053	34.8	25.7	20.6	21.8	24.3	20.2	22.3	22.2	22.7	0.9	32.3
性別	男性	1465	33.1	24.1	19.0	18.3	23.5	18.3	17.5	19.4	21.5	1.2	33.7
	女性	1577	36.5	27.4	22.1	25.2	25.2	22.0	26.9	24.9	24.0	0.7	30.7
	答えたくない	11	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	72.7
年齢別	18～19歳	124	40.3	35.5	27.4	32.3	18.5	19.4	25.8	25.0	25.0	0.8	18.5
	20～29歳	349	34.1	26.4	23.8	23.2	19.8	16.3	20.3	23.2	24.4	0.6	33.0
	30～39歳	440	34.1	25.7	17.7	21.1	21.8	16.6	22.0	20.9	20.9	1.8	30.2
	40～49歳	521	33.2	25.7	17.3	19.2	21.5	17.5	21.9	19.6	22.6	1.3	35.9
	50～59歳	434	33.4	19.1	18.0	15.0	18.4	18.9	18.4	17.7	18.7	0.7	40.1
	60～69歳	512	31.6	26.6	20.7	23.6	29.1	21.7	24.0	23.2	20.1	0.6	33.2
	70歳以上	673	39.2	27.3	23.8	24.7	31.8	26.4	24.5	26.2	27.2	0.6	27.3
居住地域	北海道	132	31.1	20.5	13.6	22.0	25.0	18.9	25.8	21.2	21.2	0.8	35.6
	東北	217	35.5	22.6	18.0	25.3	24.4	24.0	20.7	21.7	19.8	1.8	32.7
	北関東・甲信	235	34.9	31.5	23.8	22.6	26.8	21.3	21.3	26.4	26.0	1.3	31.5
	南関東	863	34.0	25.5	17.6	19.4	22.6	19.7	23.6	21.1	20.0	1.0	35.2
	東海	357	33.9	23.8	22.1	22.7	24.1	18.5	23.0	21.8	23.2	0.0	33.1
	北陸	130	37.7	27.7	20.8	27.7	24.6	23.1	20.8	20.0	24.6	1.5	27.7
	近畿	490	35.7	28.0	23.7	21.0	24.3	18.8	20.4	23.9	23.9	0.6	31.6
	中国・四国	283	35.3	26.9	24.0	26.1	26.1	19.4	21.6	19.1	26.5	1.4	25.4
	九州・沖縄	346	36.1	23.7	21.4	19.7	25.4	22.0	22.8	24.3	23.4	0.6	31.5
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	32.8	26.0	19.7	18.9	24.6	18.0	18.7	20.2	22.1	0.7	31.8
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	33.6	24.6	17.2	21.2	19.8	18.3	23.1	21.6	18.9	0.9	36.1
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	37.3	23.6	20.0	24.9	24.0	21.3	22.2	23.6	24.0	2.2	29.8
	学生	195	39.0	32.3	29.7	29.2	22.6	19.0	24.1	25.1	25.6	1.0	21.0
	家事専業（主婦、主夫）	669	37.5	26.5	21.8	23.8	26.3	22.3	28.8	24.2	23.8	0.6	29.6
	リタイア、無職	472	33.3	25.0	21.4	21.0	27.3	22.5	17.2	22.2	24.8	1.3	38.6
	その他	69	34.8	18.8	17.4	20.3	21.7	26.1	31.9	20.3	21.7	0.0	33.3
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	30.0	26.7	18.3	21.3	23.5	18.8	19.4	21.9	19.8	1.5	36.7
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	35.9	25.9	21.0	22.1	25.2	20.9	23.9	22.8	24.3	0.8	30.8
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	36.7	27.3	23.3	23.7	21.2	21.6	20.8	23.7	19.2	0.4	27.3
	その他	172	31.4	18.6	18.0	16.9	20.3	13.4	12.8	14.0	15.7	1.2	45.3
子どもとの同居	同居している	1159	36.4	25.9	20.5	20.9	24.0	20.0	23.4	21.1	21.9	0.4	30.0
	同居していない	1414	35.1	25.3	21.4	22.8	24.9	20.8	22.5	23.3	24.3	1.1	32.7
末子の成長段階	未就学児	301	35.5	28.2	19.6	23.9	22.3	15.6	30.2	24.3	28.2	0.0	26.9
	小学生	155	41.3	33.5	24.5	21.3	22.6	21.3	21.3	21.9	20.6	1.9	23.2
	中学生	86	44.2	26.7	25.6	22.1	18.6	19.8	24.4	22.1	20.9	0.0	23.3
	高校生	85	32.9	15.3	12.9	9.4	12.9	15.3	14.1	11.8	15.3	1.2	42.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	34.8	23.9	20.3	20.7	28.0	22.9	21.4	20.3	19.9	0.2	32.9
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	33.2	24.7	19.5	21.1	23.7	18.8	22.5	21.4	22.7	0.9	33.8
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	40.2	28.2	23.0	24.3	27.1	24.4	24.1	25.3	23.9	0.8	27.1
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	31.6	27.9	25.6	22.3	23.3	17.2	19.1	18.1	20.9	1.9	35.3
	その他	69	18.8	13.0	8.7	10.1	10.1	10.1	11.6	11.6	10.1	0.0	59.4
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	42.3	33.8	28.2	25.4	27.7	25.4	21.1	24.4	24.9	0.0	22.5
	いない	2261	35.6	25.3	20.4	21.7	24.3	20.1	23.1	22.1	23.4	0.9	31.6
	どちらとも言えない	99	25.3	15.2	20.2	20.2	21.2	18.2	21.2	21.2	15.2	0.0	47.5
世帯年収	300万円未満	584	32.7	22.9	18.2	21.4	25.2	18.8	19.2	21.7	22.1	1.9	37.2
	300万円以上～700万円未満	1186	36.3	28.5	21.4	23.9	26.1	22.5	23.9	23.8	25.5	0.3	26.2
	700万円以上～1,000万円未満	417	42.2	28.1	23.0	23.5	28.3	23.0	26.4	24.9	24.9	0.7	22.5
	1,000万円以上	245	36.7	29.0	24.9	20.4	26.9	18.4	25.3	20.4	20.8	1.2	30.2
	分からない・答えたくない	621	28.2	20.3	18.0	17.6	16.6	15.8	18.5	18.5	17.1	1.1	46.7

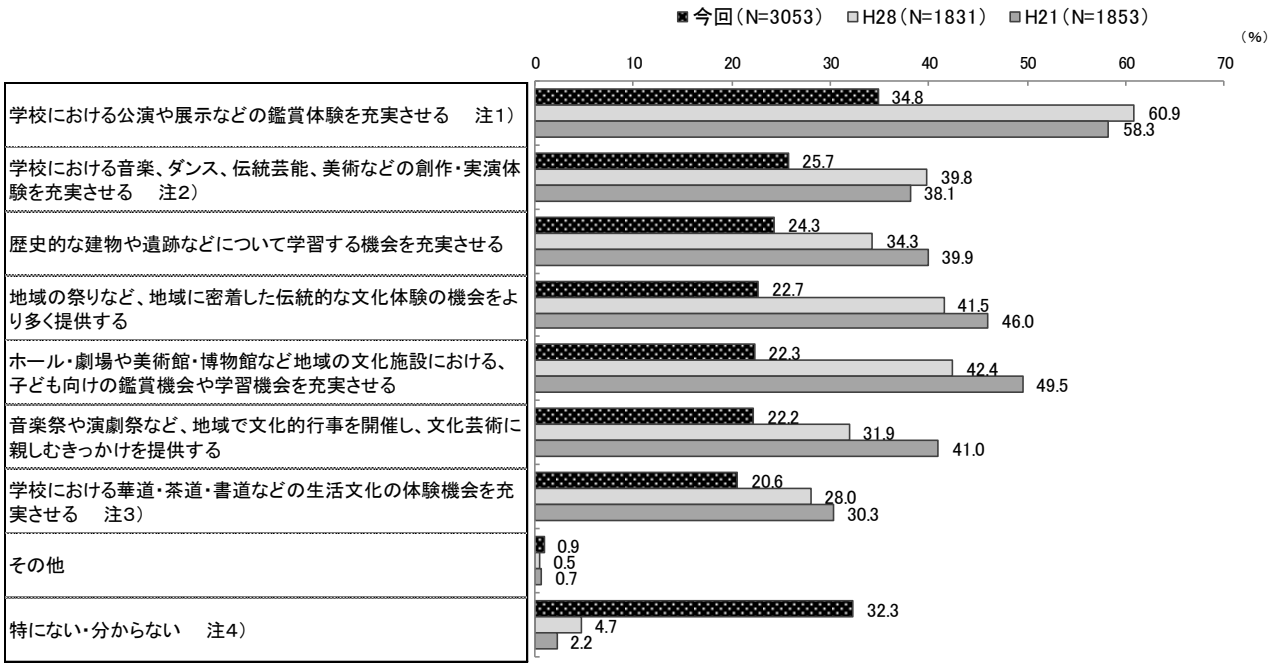
《経年比較》

平成 28 年調査と 21 年調査との比較では、今回調査で「特にない・分からない」という回答が多かった結果として、他の項目での回答率が下がる傾向がみられた。

回答率の順位の変動でみると、全ての調査で「学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる」が１位となっていることは変わりないが、平成 28 年調査と 21 年調査では、２位が「ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる」、３位が「地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する」となっており、今回調査とかなり異なっている（今回調査では、「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる」、「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる」の２項目の順位が上昇している）。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Ｑ８-②　子どもの文化芸術体験で重要なこと（経年比較）



注１）H28 と H21 での選択肢は「学校における公演などの鑑賞体験を充実させる」

注２）H28 と H21 での選択肢は「学校における演劇などの創作体験を充実させる」

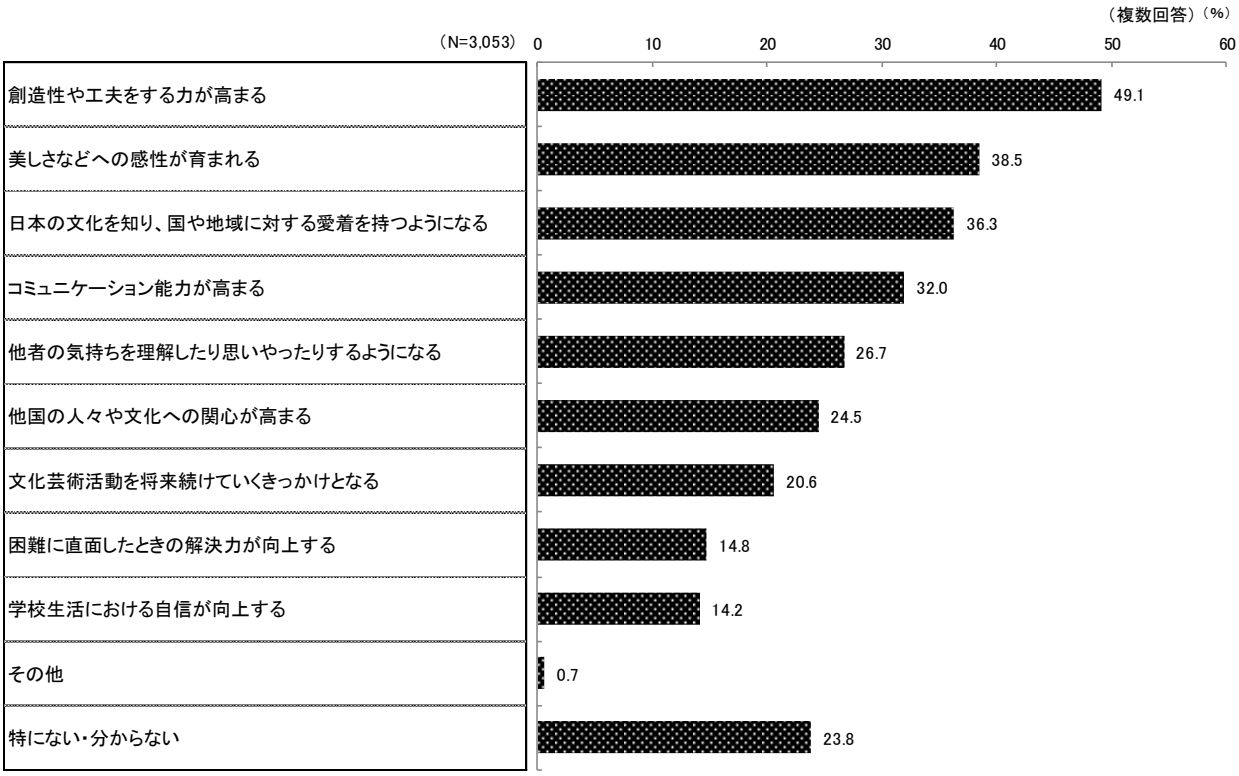
注３）H28 と H21 での選択肢は「音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事の機会を充実させる」

注４）H28 と H21 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

Ｑ９	子どもの文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。（複数回答）

最も多いのは「創造性や工夫をする力が高まる」の 49.1％で、ついで「美しさなどへの感性が育まれる」の 38.5％、「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」36.3％、「コミュニケーション能力が高まる」32.0％などと続いている。

図Ｑ９-①　子どもの文化芸術体験の効果



年齢別では、70 歳以上で、「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」の回答率が高い。また、介護・介助が必要な同居家族がいる人では、「他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる」という回答が多くなっている。

また、世帯年収が高いほど「美しさなどへの感性が育まれる」という回答が多くなり、「困難に直面したときの解決力が向上する」、「文化芸術活動を将来続けていくきっかけとなる」という回答がやや減少する傾向がみられる。

表Q９　子どもの文化芸術体験の効果

		N＝	美しさなどへの感性が育まれる	コミュニケーション能力が高まる	創造性や工夫をする力が高まる	他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる	学校生活における自信が向上する	困難に直面したときの解決力が向上する	日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる	他国の人々や文化への関心が高まる	文化芸術活動を将来続けていくきっかけとなる	その他	特にない・分からない
全体		3053	38.5	32.0	49.1	26.7	14.2	14.8	36.3	24.5	20.6	0.7	23.8
性別	男性	1465	34.4	33.3	45.3	24.6	13.0	14.4	31.7	19.2	17.4	0.7	26.3
	女性	1577	42.5	30.8	52.9	28.7	15.3	15.2	40.9	29.5	23.7	0.6	21.2
	答えたくない	11	9.1	18.2	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	72.7
年齢別	18～19歳	124	41.1	32.3	50.8	25.8	20.2	15.3	33.1	25.0	23.4	1.6	17.7
	20～29歳	349	35.2	37.2	48.1	25.8	18.9	15.2	28.9	25.5	17.2	0.6	22.1
	30～39歳	440	41.8	39.8	50.7	30.2	13.6	14.5	30.9	25.2	17.0	0.9	20.2
	40～49歳	521	35.5	30.3	46.8	23.0	11.1	14.4	31.1	23.8	15.5	0.6	29.4
	50～59歳	434	33.4	27.6	40.8	21.7	8.1	9.2	30.2	20.3	18.2	0.2	30.4
	60～69歳	512	36.3	29.1	53.5	29.7	12.7	14.8	40.2	23.0	24.2	1.0	24.2
	70歳以上	673	44.7	30.3	52.2	28.8	18.3	18.4	49.3	27.8	27.0	0.4	19.5
居住地域	北海道	132	33.3	28.8	50.8	26.5	11.4	16.7	29.5	27.3	18.2	0.0	28.8
	東北	217	39.6	33.2	48.8	27.6	12.0	15.7	40.6	28.6	23.0	0.5	24.9
	北関東・甲信	235	43.0	32.8	51.5	26.4	13.6	13.2	37.0	25.1	27.7	0.9	22.6
	南関東	863	39.2	29.5	46.2	24.7	13.8	13.4	31.7	24.1	20.4	0.3	26.7
	東海	357	40.9	32.5	48.2	25.5	12.6	15.1	40.6	25.8	17.6	0.3	21.6
	北陸	130	36.9	39.2	52.3	26.2	13.8	11.5	42.3	25.4	26.2	3.8	23.1
	近畿	490	34.5	30.8	50.0	27.1	13.3	15.1	38.2	22.4	16.9	0.4	21.4
	中国・四国	283	39.9	34.6	52.7	28.6	17.7	14.5	37.5	20.5	22.3	0.7	19.8
	九州・沖縄	346	37.6	34.1	50.0	30.6	17.9	18.5	37.0	26.0	20.8	1.2	24.6
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	38.4	37.5	47.5	26.3	14.0	12.8	30.9	20.4	14.8	0.1	24.3
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	36.9	29.1	49.3	24.6	12.5	14.4	33.5	27.0	21.2	0.8	24.2
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	41.3	32.4	52.4	32.0	12.9	16.4	34.7	28.0	25.3	2.2	24.0
	学生	195	39.0	37.4	48.7	24.1	21.5	16.4	34.9	27.2	21.0	1.5	15.9
	家事専業（主婦、主夫）	669	42.6	29.4	54.1	29.4	15.1	15.7	43.6	27.8	25.0	0.3	19.9
	リタイア、無職	472	33.5	26.1	43.4	24.2	13.3	16.3	40.0	22.2	21.8	1.1	31.4
	その他	69	36.2	30.4	49.3	29.0	8.7	14.5	42.0	23.2	26.1	0.0	24.6
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	37.1	27.7	43.5	24.2	11.7	15.0	32.5	23.8	22.7	1.3	27.5
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	39.1	33.2	51.0	27.2	14.9	15.0	38.2	24.8	20.8	0.5	22.4
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	38.0	33.9	50.6	28.6	15.9	15.1	33.1	25.3	20.8	0.4	20.0
	その他	172	36.0	26.2	39.0	25.0	9.3	11.0	27.9	22.1	12.8	1.2	37.2
子どもとの同居	同居している	1159	38.4	32.4	49.9	26.7	14.8	14.2	34.9	24.8	19.2	0.4	21.7
	同居していない	1414	39.0	33.0	50.4	27.5	14.4	15.1	38.8	24.5	21.1	0.6	24.4
末子の成長段階	未就学児	301	43.5	38.9	52.2	29.6	19.3	14.0	32.2	28.2	15.3	0.0	18.9
	小学生	155	39.4	37.4	53.5	29.0	16.8	18.1	35.5	26.5	14.8	0.0	15.5
	中学生	86	34.9	32.6	51.2	18.6	11.6	12.8	36.0	32.6	23.3	1.2	18.6
	高校生	85	29.4	25.9	38.8	18.8	12.9	10.6	30.6	18.8	16.5	0.0	30.6
	大学・短大・高専以上や社会人	532	37.2	28.4	49.1	27.1	12.6	14.1	36.8	22.2	22.4	0.8	24.1
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	38.3	33.0	48.5	24.7	13.5	13.4	34.3	23.7	19.6	0.6	23.9
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	41.0	31.5	52.4	30.7	15.2	16.8	43.5	27.6	23.4	0.5	21.0
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	34.9	29.3	46.0	28.8	17.7	19.1	31.2	23.7	21.9	0.9	27.4
	その他	69	20.3	17.4	29.0	18.8	5.8	11.6	18.8	13.0	11.6	1.4	53.6
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	43.7	39.4	49.3	40.4	18.8	18.8	38.5	26.3	20.7	0.5	17.8
	いない	2261	39.0	32.4	50.8	26.3	14.3	14.6	37.4	24.7	20.3	0.6	23.0
	どちらとも言えない	99	23.2	27.3	38.4	19.2	13.1	10.1	25.3	20.2	18.2	0.0	38.4
世帯年収	300万円未満	584	34.4	29.6	49.3	27.4	15.2	18.0	35.4	23.1	21.7	1.0	27.2
	300万円以上～700万円未満	1186	39.6	35.8	52.2	29.3	15.4	14.8	39.5	25.5	21.5	0.4	18.8
	700万円以上～1,000万円未満	417	44.8	35.5	53.7	27.3	15.3	14.4	39.6	27.8	21.3	0.0	17.5
	1,000万円以上	245	45.3	31.8	50.2	26.1	12.7	13.9	38.0	24.5	15.1	0.8	20.8
	分からない・答えたくない	621	33.2	24.5	39.6	20.8	10.5	12.4	28.2	21.6	19.6	1.1	35.7

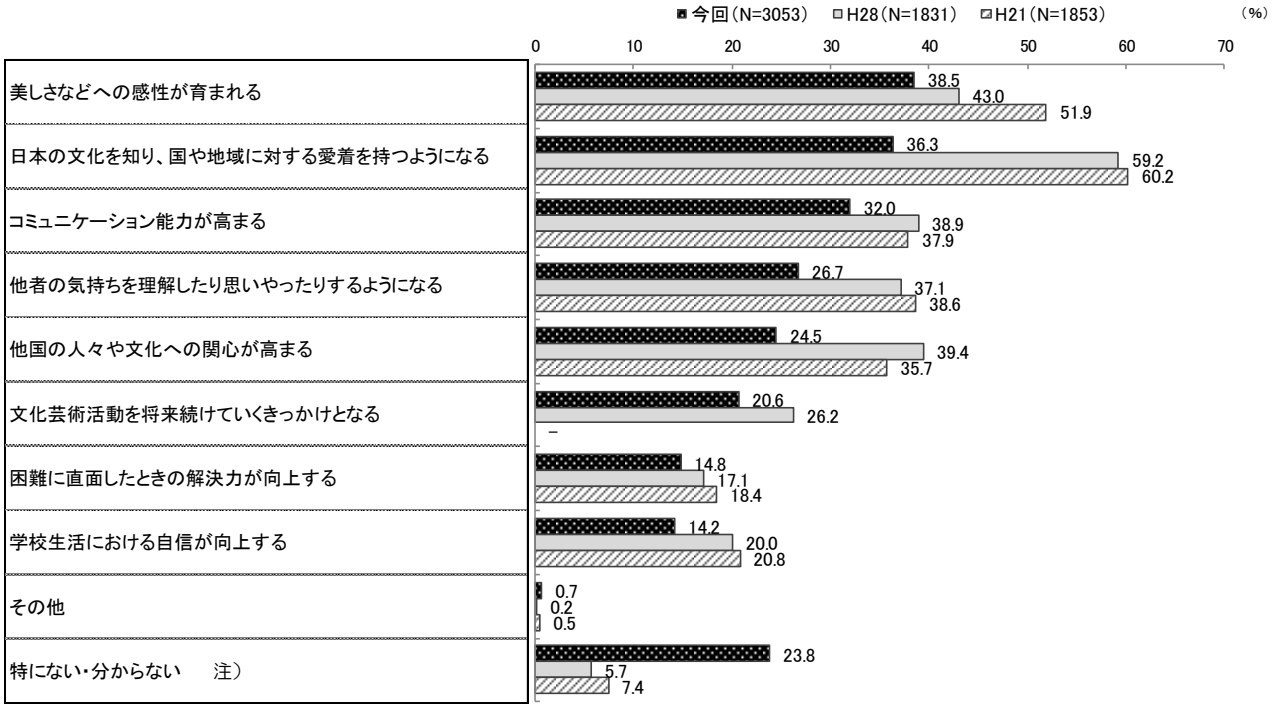
《経年比較》

平成 28 年調査、21 年調査との比較では、今回、「特にない・分からない」の回答が多くなっているため、全体として各項目の回答率が下がっている。

これを踏まえ、順位の変動をみると、平成 28 年調査、21 年調査では「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」が 1 位であったのが、今回は２位に下がったことが目立つ。なお、今回代わって１位となった「創造性や工夫をする力が高まる」は、今回新たに追加された選択肢となっている。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Ｑ９-②　子どもの文化芸術体験の効果（経年比較）



注）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた
　　H21 での選択肢は「特に期待することはない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

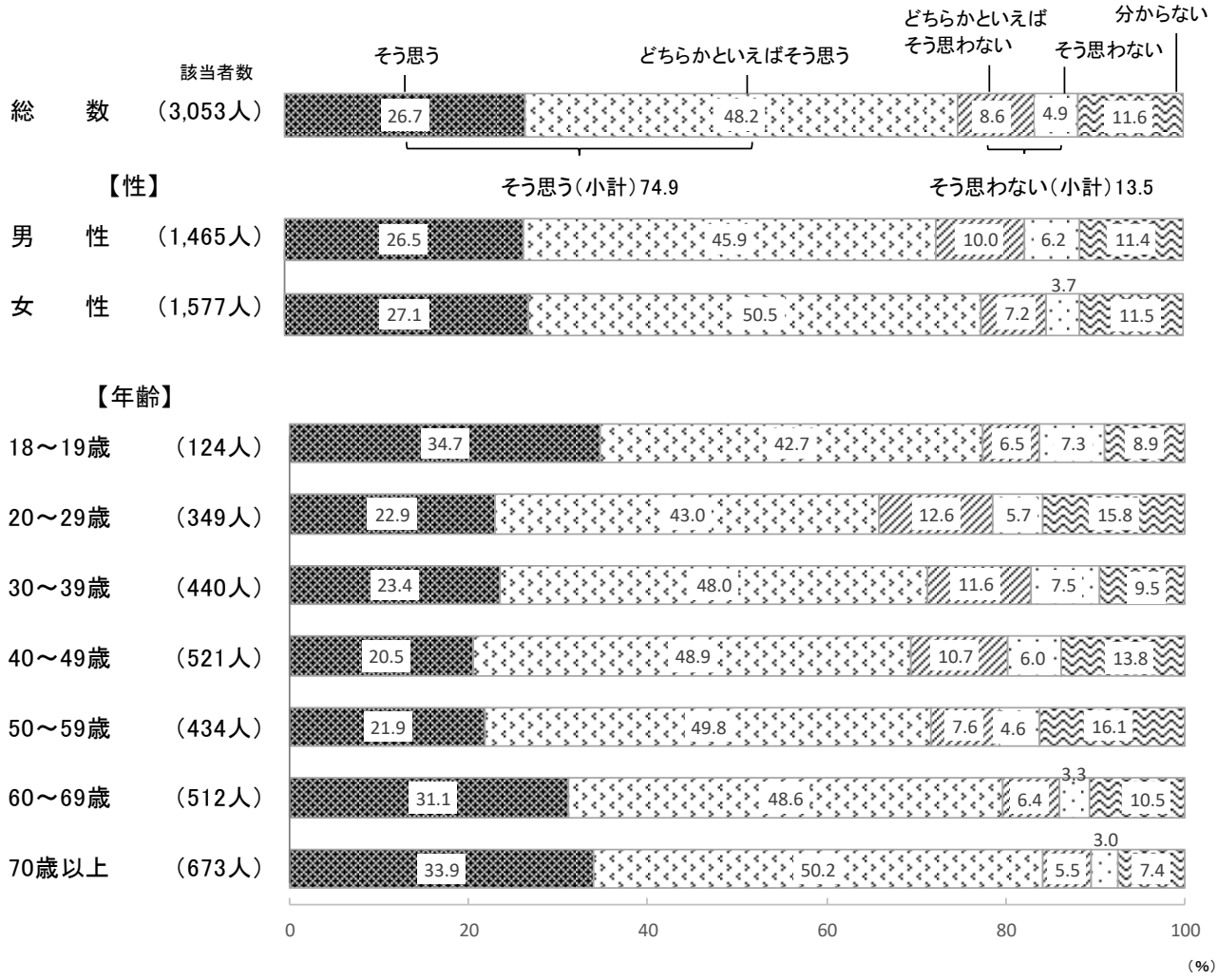
5．地域の文化的環境

Q10	「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」との考え方について、あなたはどのように思いますか。

全体傾向では、「そう思う」が 26.7%、「どちらかといえばそう思う」が 48.2%となっており、両者の小計で 74.9%、「思わない」、「そう思わない」（小計）の 13.5%を大幅に上回る結果となった。

性別では、女性で「どちらかといえばそう思う」の回答が若干高く、そう思う（小計）も高めとなっている。また、年齢別では、18～19 歳、60～69 歳、70 歳以上で、そう思う（小計）が高くなっている。

図Q10-①　地域の文化芸術資源に対する意識



性年齢以外の属性では大きな差はみられない。

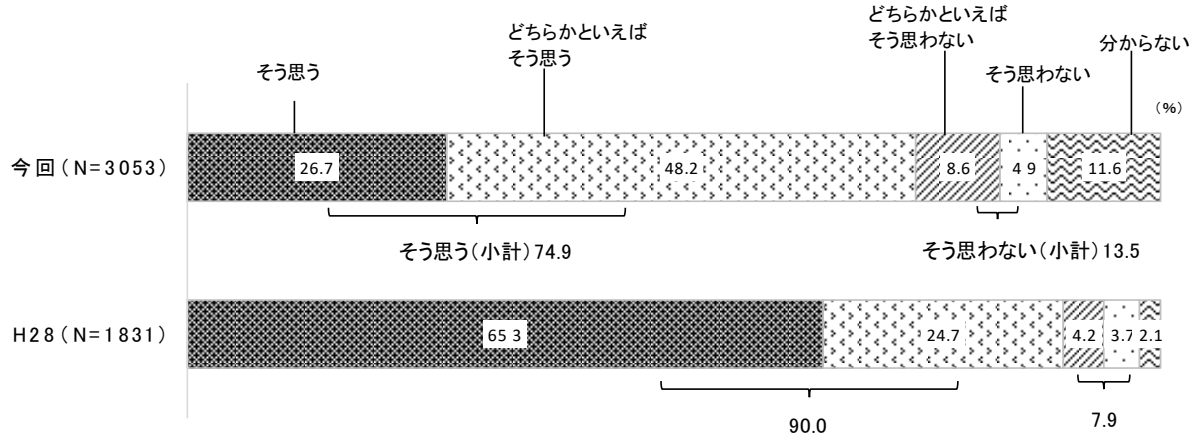
表Q10　地域の文化芸術資源に対する意識

		N＝	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	分からない
全体		3053	26.7	48.2	8.6	4.9	11.6
性別	男性	1465	26.5	45.9	10.0	6.2	11.4
	女性	1577	27.1	50.5	7.2	3.7	11.5
	答えたくない	11	0.0	18.2	27.3	0.0	54.5
年齢別	18～19歳	124	34.7	42.7	6.5	7.3	8.9
	20～29歳	349	22.9	43.0	12.6	5.7	15.8
	30～39歳	440	23.4	48.0	11.6	7.5	9.5
	40～49歳	521	20.5	48.9	10.7	6.0	13.8
	50～59歳	434	21.9	49.8	7.6	4.6	16.1
	60～69歳	512	31.1	48.6	6.4	3.3	10.5
	70歳以上	673	33.9	50.2	5.5	3.0	7.4
居住地域	北海道	132	26.5	47.0	9.8	8.3	8.3
	東北	217	27.6	46.5	7.4	4.6	13.8
	北関東・甲信	235	26.4	49.8	9.8	4.3	9.8
	南関東	863	22.9	49.7	9.0	4.9	13.4
	東海	357	26.9	49.3	7.3	6.4	10.1
	北陸	130	27.7	46.2	8.5	4.6	13.1
	近畿	490	28.6	47.8	8.8	4.1	10.8
	中国・四国	283	28.3	50.5	8.1	4.9	8.1
	九州・沖縄	346	31.2	43.4	8.4	4.0	13.0
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	25.8	46.4	10.3	5.6	11.9
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	23.8	49.5	10.4	5.7	10.6
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	25.8	51.1	8.4	5.3	9.3
	学生	195	32.8	40.0	8.7	6.7	11.8
	家事専業（主婦、主夫）	669	26.6	54.0	5.4	2.5	11.5
	リタイア、無職	472	28.4	45.3	8.1	5.3	12.9
	その他	69	34.8	39.1	7.2	4.3	14.5
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	26.5	44.4	9.0	6.9	13.3
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	27.0	49.7	8.3	4.8	10.2
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	26.9	47.8	10.6	2.4	12.2
	その他	172	23.3	40.7	8.1	4.7	23.3
子どもとの同居	同居している	1159	24.1	50.0	9.9	4.9	11.0
	同居していない	1414	28.9	48.0	7.4	4.2	11.5
末子の成長段階	未就学児	301	22.3	50.5	12.0	6.3	9.0
	小学生	155	26.5	49.7	9.0	5.2	9.7
	中学生	86	17.4	48.8	18.6	5.8	9.3
	高校生	85	30.6	40.0	11.8	4.7	12.9
	大学・短大・高専以上や社会人	532	24.4	51.7	7.3	3.9	12.6
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	24.9	48.5	9.6	5.0	12.0
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	31.2	50.2	5.8	3.8	9.0
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	29.3	41.4	12.6	5.6	11.2
	その他	69	11.6	27.5	1.4	17.4	42.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	35.7	47.9	6.6	1.9	8.0
	いない	2261	26.4	49.4	8.4	4.8	11.0
	どちらとも言えない	99	15.2	40.4	14.1	5.1	25.3
世帯年収	300万円未満	584	26.7	45.2	11.0	6.5	10.6
	300万円以上～700万円未満	1186	29.4	51.6	6.8	4.4	7.8
	700万円以上～1,000万円未満	417	26.6	51.3	8.9	4.1	9.1
	1,000万円以上	245	32.7	48.2	7.3	3.3	8.6
	分からない・答えたくない	621	19.2	42.5	10.0	5.6	22.7

《経年比較》

平成 28 年の前回調査と比較すると、「そう思う」という回答が 65.3%から 26.7%へと大幅に下落している。この結果、そう思う（小計）も、90.0%から 74.9%に下落している。

図Q10-②　地域の文化芸術資源に対する意識（経年比較）

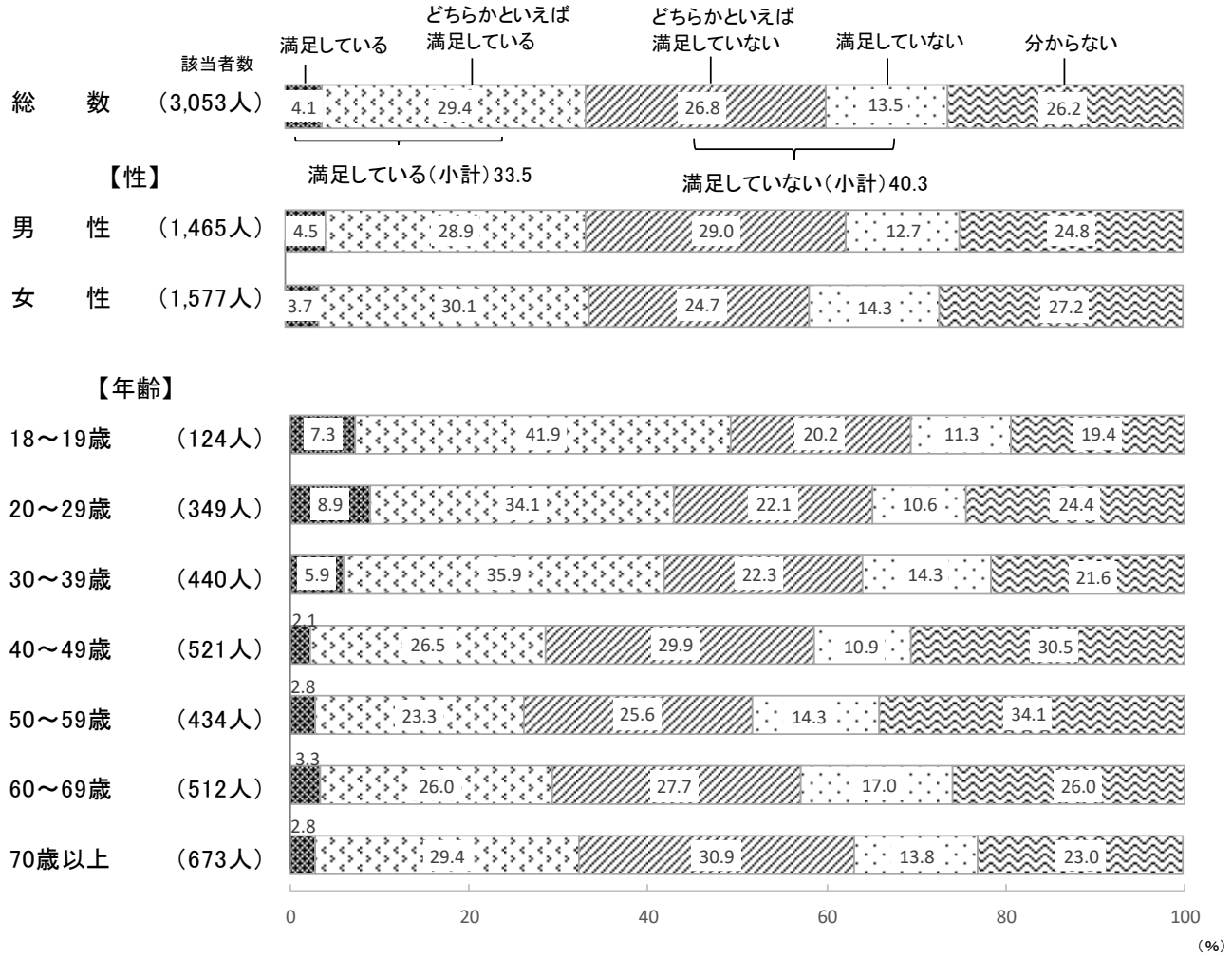


Q11	あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。

住んでいる地域の満足度については、「満足している」（4.1％）、「どちらかといえば満足している」（29.4％）の合わせて 33.5％に対し、「どちらかといえば」を含めた満足していないの小計は 40.3％となっており、満足していない人の方が多いという結果になった。

年齢別では、18～19 歳と 20～29 歳で満足している（小計）が満足していない（小計）を上回っている。

図Q11-①　住んでいる地域の文化的環境の満足度



世帯年収が高い人ほど、「満足している」「どちらかといえば満足している」の小計が多い（地域の文化的環境に満足している）傾向がある。

表Q11-①　住んでいる地域の文化的環境の満足度

		N＝	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	分からない
全体		3053	4.1	29.4	26.8	13.5	26.2
性別	男性	1465	4.5	28.9	29.0	12.7	24.8
	女性	1577	3.7	30.1	24.7	14.3	27.2
	答えたくない	11	0.0	9.1	27.3	9.1	54.5
年齢別	18～19歳	124	7.3	41.9	20.2	11.3	19.4
	20～29歳	349	8.9	34.1	22.1	10.6	24.4
	30～39歳	440	5.9	35.9	22.3	14.3	21.6
	40～49歳	521	2.1	26.5	29.9	10.9	30.5
	50～59歳	434	2.8	23.3	25.6	14.3	34.1
	60～69歳	512	3.3	26.0	27.7	17.0	26.0
	70歳以上	673	2.8	29.4	30.9	13.8	23.0
居住地域	北海道	132	0.8	31.1	29.5	11.4	27.3
	東北	217	5.5	29.5	31.8	14.3	18.9
	北関東・甲信	235	2.6	34.0	28.1	13.6	21.7
	南関東	863	3.1	27.3	27.6	13.2	28.7
	東海	357	4.8	27.2	25.5	12.6	30.0
	北陸	130	4.6	32.3	24.6	15.4	23.1
	近畿	490	5.9	30.8	24.9	11.2	27.1
	中国・四国	283	4.9	34.6	26.1	15.5	18.7
	九州・沖縄	346	3.8	26.0	24.9	16.5	28.9
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	5.3	31.2	25.1	14.5	23.9
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	3.6	28.4	29.5	12.1	26.5
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	3.6	31.6	29.3	12.9	22.7
	学生	195	9.2	36.4	22.1	13.8	18.5
	家事専業（主婦、主夫）	669	2.8	29.4	25.7	13.9	28.1
	リタイア、無職	472	2.1	23.3	29.7	13.6	31.4
	その他	69	5.8	30.4	23.2	8.7	31.9
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	6.3	27.5	23.8	14.2	28.3
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	3.5	29.9	27.4	13.5	25.6
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	6.1	33.9	27.8	11.0	21.2
	その他	172	2.3	22.7	26.2	15.1	33.7
子どもとの同居	同居している	1159	4.1	30.0	27.8	13.3	24.8
	同居していない	1414	3.3	29.6	26.9	13.5	26.6
末子の成長段階	未就学児	301	4.7	37.2	27.9	10.6	19.6
	小学生	155	3.9	35.5	25.8	9.7	25.2
	中学生	86	9.3	19.8	36.0	18.6	16.3
	高校生	85	1.2	22.4	30.6	16.5	29.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	3.6	27.3	26.5	14.5	28.2
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	4.2	30.5	26.6	12.1	26.7
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	3.4	29.6	27.0	15.4	24.6
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	7.0	25.1	29.8	17.7	20.5
	その他	69	1.4	14.5	18.8	11.6	53.6
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	7.5	36.6	31.5	13.6	10.8
	いない	2261	3.2	29.3	27.1	13.7	26.7
	どちらとも言えない	99	6.1	26.3	23.2	7.1	37.4
世帯年収	300万円未満	584	4.8	29.1	25.2	13.9	27.1
	300万円以上～700万円未満	1186	3.9	31.5	29.7	14.0	21.0
	700万円以上～1,000万円未満	417	4.1	33.3	28.1	11.3	23.3
	1,000万円以上	245	6.9	35.9	25.3	11.8	20.0
	分からない・答えたくない	621	2.7	20.8	22.4	14.5	39.6

地域の文化芸術意識と地域の文化的環境の満足度の関係性をみると、「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」と考えている人の方が、地域の文化的環境についての満足度が高い（もしくは、満足度が高い人ほど、そういった意識が高くなる）傾向がみられる。

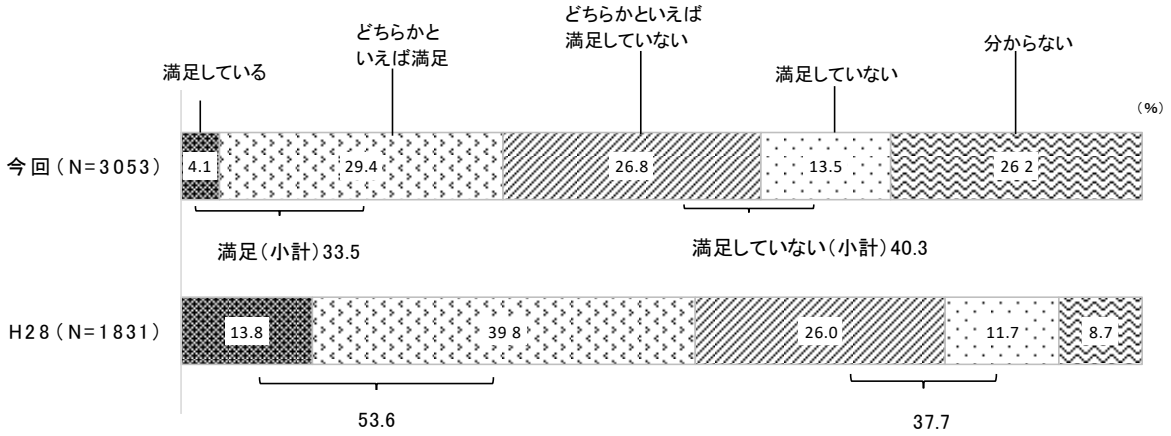
表Q11-②　住んでいる地域の文化的環境の満足度

		N＝	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	分からない
全体		3053	4.1	29.4	26.8	13.5	26.2
地域の文化芸術資源に対する意識	そう思う	815	10.2	38.0	25.4	15.3	11.0
	どちらかといえばそう思う	1472	1.9	34.8	31.7	10.4	21.2
	どちらかといえばそう思わない	262	2.3	18.7	37.8	16.8	24.4
	そう思わない	150	3.3	9.3	14.0	38.7	34.7
	分からない	354	0.8	4.0	6.5	9.3	79.4

《経年比較》

平成 28 年の前回調査と比較すると、「満足している」「どちらかといえば満足している」の小計が 53.6%から 33.5%に大きく減少している。

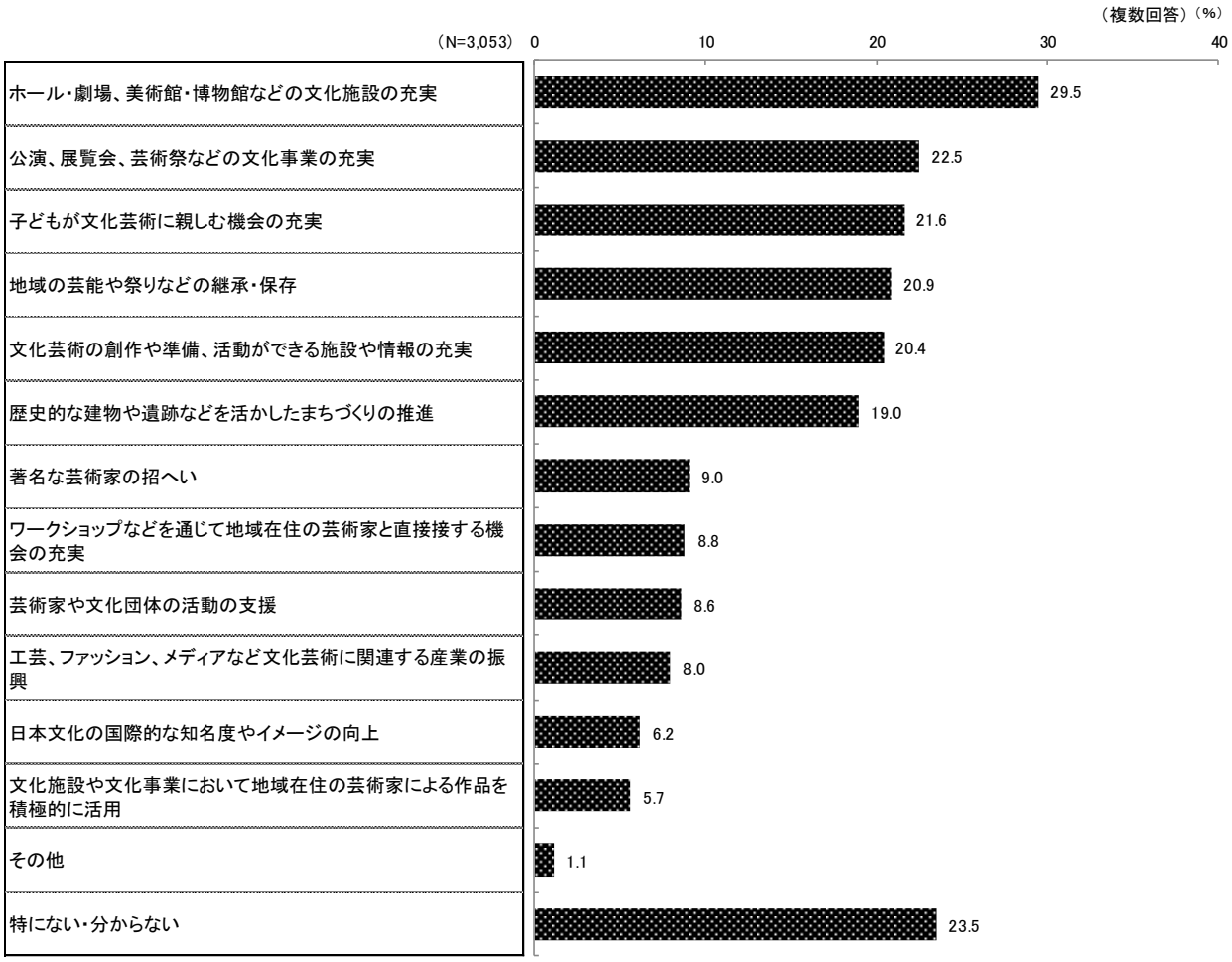
図Q11-②　住んでいる地域の文化的環境の満足度（経年比較）



Q12	あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。（回答は３つ以内）

全体としては「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」が 29.5%で最も多く、ついで「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」の 22.5%、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」の 21.6%、「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」の 20.9%、「文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実」の 20.4%、「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進」の 19.0%などと続く。

図Q12-①　地域の文化的環境の充実策



「地域の芸能や祭りなどの継承・保存」、「歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進」については、70 歳以上の回答率が若干高い。また、未就学児と同居している人では、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」の回答が多くなっている。

「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」、「文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用」については、世帯年収が高くなるほど回答率が高くなる傾向がみられる。

表Q12-①　地域の文化的環境の充実策

		N＝	ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	芸術家や文化団体の活動の支援	著名な芸術家の招へい	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用	ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	エ芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興	日本文化の国際的な知名度やイメージの向上	その他	特にない・分からない
全体		3053	29.5	20.4	22.5	8.6	9.0	20.9	19.0	5.7	8.8	21.6	8.0	6.2	1.1	23.5
性別	男性	1465	27.9	20.8	21.8	8.9	9.2	19.9	20.8	5.6	6.1	18.6	6.8	6.6	1.3	25.6
	女性	1577	30.9	20.1	23.3	8.3	8.9	21.9	17.4	5.7	11.4	24.5	9.1	6.0	1.0	21.3
	答えたくない	11	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	63.6
年齢別	18～19歳	124	35.5	27.4	21.0	12.1	8.9	17.7	12.9	3.2	7.3	16.9	12.1	10.5	1.6	20.2
	20～29歳	349	29.8	20.3	17.8	11.5	8.9	14.6	13.5	3.7	6.9	18.6	11.5	8.9	1.4	27.5
	30～39歳	440	28.0	24.1	19.5	8.6	10.2	19.3	16.6	6.6	10.2	21.6	8.4	6.4	1.6	20.9
	40～49歳	521	24.8	16.7	16.9	6.5	6.9	16.7	14.0	3.5	10.7	21.1	6.5	4.6	1.5	30.1
	50～59歳	434	30.2	22.4	21.9	7.8	7.8	18.9	18.9	4.8	7.4	17.7	6.2	5.8	0.0	28.8
	60～69歳	512	30.9	19.3	29.1	8.8	10.2	21.5	22.9	5.1	8.2	20.7	8.2	5.3	1.6	21.9
	70歳以上	673	31.4	19.2	27.0	8.3	10.0	29.9	25.4	9.2	9.1	27.6	7.3	6.2	0.7	16.5
居住地域	北海道	132	34.8	26.5	18.2	6.8	13.6	17.4	16.7	6.8	6.8	22.0	10.6	4.5	0.0	25.8
	東北	217	29.5	23.0	26.3	12.0	11.5	19.8	18.0	6.5	10.6	15.2	11.1	5.5	1.4	21.2
	北関東・甲信	235	26.8	21.3	24.7	6.4	10.2	21.3	16.6	6.8	9.4	18.7	11.9	6.8	2.1	23.4
	南関東	863	31.1	19.0	20.2	8.6	7.3	20.0	17.8	5.4	9.3	21.9	6.8	6.1	1.6	26.1
	東海	357	28.3	21.3	24.4	8.4	9.0	19.6	20.7	4.5	9.0	19.9	5.3	7.6	0.0	24.1
	北陸	130	29.2	20.0	23.1	11.5	10.8	20.0	21.5	6.2	9.2	23.8	9.2	6.2	0.8	23.1
	近畿	490	29.2	19.8	23.3	6.3	8.6	21.8	19.4	4.9	8.0	22.4	7.1	5.9	1.0	21.2
	中国・四国	283	28.3	18.7	23.7	10.6	9.5	26.5	19.8	7.4	8.1	24.7	8.1	4.9	1.4	18.0
	九州・沖縄	346	28.0	20.8	22.3	9.2	9.0	20.5	20.8	5.2	8.4	24.0	8.7	7.2	0.9	25.1
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	28.9	22.3	20.4	10.2	9.7	18.6	18.5	4.4	8.2	19.8	6.8	6.3	0.9	24.3
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	29.9	18.7	20.6	7.8	7.8	17.6	17.0	6.8	9.3	19.1	8.5	5.3	1.1	25.1
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	25.8	16.9	21.8	7.6	9.8	23.6	17.8	8.9	8.0	18.7	8.4	6.2	2.7	24.0
	学生	195	31.8	25.1	22.1	12.3	10.3	15.9	15.9	2.6	6.2	16.9	12.8	9.7	2.1	20.0
	家事専業（主婦、主夫）	669	32.6	20.5	26.2	6.9	9.0	24.8	20.8	7.2	10.6	28.8	7.3	5.8	0.7	18.5
	リタイア、無職	472	27.3	17.2	23.9	7.6	8.9	23.9	21.8	4.9	8.5	21.4	7.6	6.1	1.3	28.4
	その他	69	24.6	29.0	24.6	10.1	5.8	23.2	15.9	2.9	8.7	18.8	13.0	7.2	0.0	24.6
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	26.7	19.4	19.8	10.2	8.8	17.7	17.7	5.4	7.7	17.5	10.8	10.2	1.9	26.3
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	30.3	20.6	23.2	8.3	9.4	22.2	19.4	5.8	9.2	23.3	7.3	5.7	1.1	22.2
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	26.1	21.6	25.3	9.4	9.8	21.2	14.7	6.5	9.4	21.2	9.0	5.3	0.0	21.6
	その他	172	31.4	19.2	17.4	5.8	4.7	12.8	23.3	2.9	6.4	12.8	7.0	2.9	1.7	35.5
子どもとの同居	同居している	1159	28.9	18.9	23.2	8.1	9.0	21.5	18.5	5.3	10.4	26.1	7.0	5.4	0.9	21.5
	同居していない	1414	30.9	22.0	22.9	8.4	9.2	21.5	19.8	6.1	7.9	19.4	7.9	5.5	1.1	24.3
末子の成長段階	未就学児	301	24.9	21.3	18.3	9.0	7.6	21.6	14.3	4.3	11.6	36.9	4.0	5.3	1.3	20.6
	小学生	155	29.7	18.7	22.6	9.7	7.1	21.3	15.5	5.2	16.8	29.0	3.9	3.2	0.6	19.4
	中学生	86	30.2	22.1	22.1	7.0	5.8	15.1	14.0	3.5	11.6	29.1	11.6	3.5	0.0	22.1
	高校生	85	31.8	18.8	18.8	7.1	10.6	16.5	14.1	0.0	3.5	25.9	7.1	5.9	2.4	24.7
	大学・短大・高専以上や社会人	532	30.3	17.1	27.1	7.5	10.5	23.3	23.1	7.0	8.8	18.6	8.8	6.4	0.8	22.0
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	31.0	19.8	21.3	8.9	8.2	20.1	17.9	5.4	8.1	21.8	7.5	6.5	1.0	24.3
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	28.8	21.4	26.3	8.5	10.9	23.1	21.4	6.5	9.8	22.8	9.2	6.1	1.3	19.4
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	24.2	23.7	19.5	7.0	10.2	21.9	19.1	5.6	13.0	20.0	9.3	7.0	1.9	23.3
	その他	69	14.5	15.9	15.9	1.4	7.2	10.1	11.6	1.4	2.9	8.7	1.4	0.0	0.0	59.4
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	32.9	30.0	29.1	8.9	10.8	23.0	22.1	6.6	6.6	15.0	8.9	7.5	0.0	15.0
	いない	2261	30.0	19.5	22.3	8.4	9.0	21.4	19.1	5.8	9.2	23.3	7.1	5.2	1.1	23.4
	どちらとも言えない	99	24.2	24.2	27.3	5.1	8.1	21.2	15.2	2.0	11.1	17.2	13.1	8.1	0.0	31.3
世帯年収	300万円未満	584	23.5	17.5	21.2	8.2	6.8	21.9	18.0	5.3	8.7	23.3	9.8	7.5	2.1	26.5
	300万円以上～700万円未満	1186	33.5	24.3	21.6	10.3	9.6	22.9	20.9	6.2	9.4	24.2	7.8	6.5	0.4	17.9
	700万円以上～1,000万円未満	417	31.4	19.2	27.8	7.7	11.3	21.1	17.5	6.7	11.3	22.5	8.9	5.3	1.0	18.2
	1,000万円以上	245	31.0	24.5	29.0	9.4	8.6	21.6	22.0	7.3	6.5	16.7	4.9	7.3	2.9	19.2
	分からない・答えたくない	621	25.6	15.0	19.5	6.0	8.7	15.6	15.9	3.7	6.9	16.4	7.4	4.7	1.1	36.7

地域の文化芸術資源に対する意識が高い層（「そう思う」と回答している層）では、「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」や「地域の芸能や祭りなどの継承・保全」を中心に、多くの項目で回答率が最も高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」層では、全体的に回答率が低い。

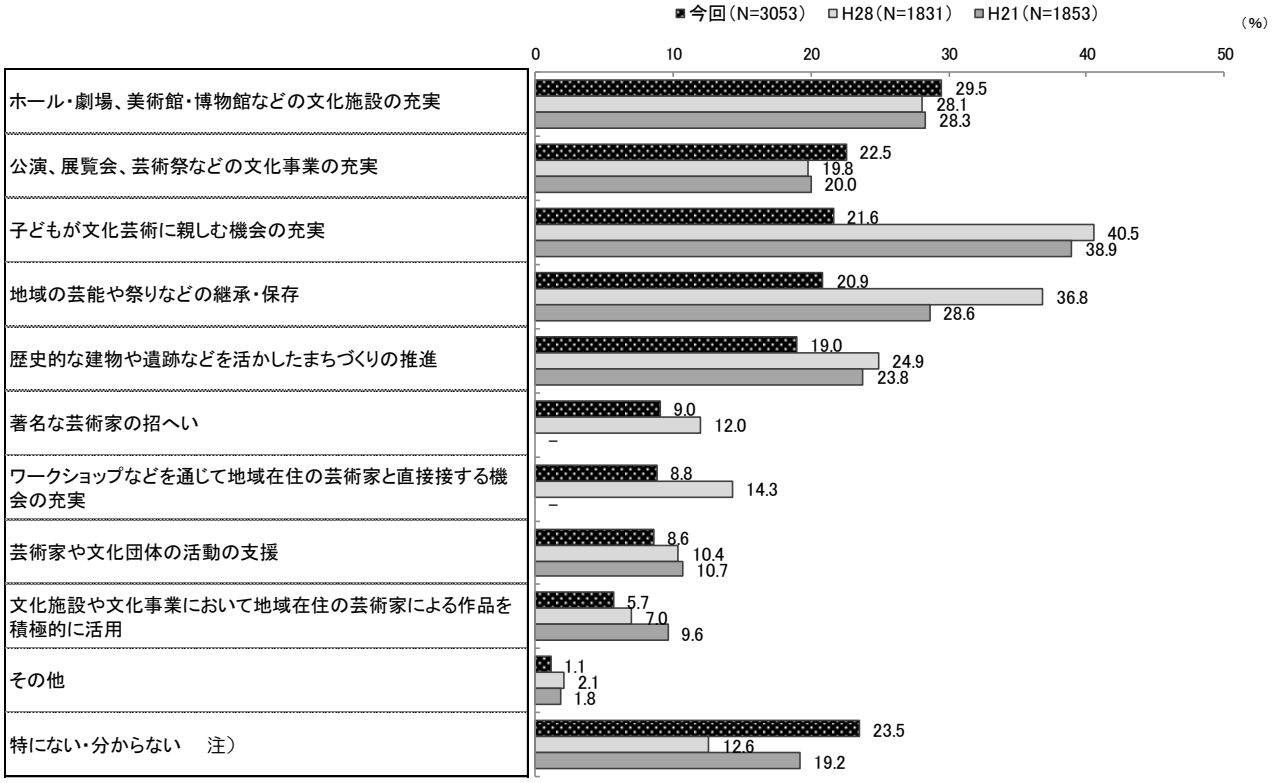
表Q12-②　地域の文化的環境の充実策

		N＝	ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	芸術家や文化団体の活動の支援	著名な芸術家の招へい	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用	ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	工芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興	日本文化の国際的な知名度やイメージの向上	その他	特にない・分からない
全体		3053	29.5	20.4	22.5	8.6	9.0	20.9	19.0	5.7	8.8	21.6	8.0	6.2	1.1	23.5
地域の文化芸術資源に対する意識	そう思う	815	42.8	26.4	29.7	9.6	11.8	32.9	25.6	7.2	10.3	26.7	8.6	7.1	1.3	5.4
	どちらかといえばそう思う	1472	30.8	23.5	24.9	10.1	9.3	22.8	21.9	6.6	10.5	26.0	8.6	7.1	1.0	14.1
	どちらかといえばそう思わない	262	9.9	9.5	13.7	5.7	7.3	6.1	6.9	3.1	5.0	10.3	6.9	4.6	1.5	50.0
	そう思わない	150	17.3	7.3	10.0	8.0	5.3	3.3	6.7	2.0	4.7	8.0	6.7	5.3	3.3	56.0
	分からない	354	12.7	7.3	7.9	2.5	4.5	4.0	5.6	1.7	2.8	5.6	5.6	2.0	0.0	70.9

《経年比較》

平成 28 年調査、21 年調査との比較では、まず、今回は選べる回答について「３つまで」という制限を加えたため、全体の項目の回答率が下がっていることが指摘される。また、順番でみると、平成 28 年・21 年調査で１位であった「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が今回３位に、２位であった「地域の芸能や祭りなどの継承・保全」が４位に低下し、代わりに「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」（1 位）や「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」（２位）の順位が上がっている。

図Q12-②　地域の文化的環境の充実策（経年比較）



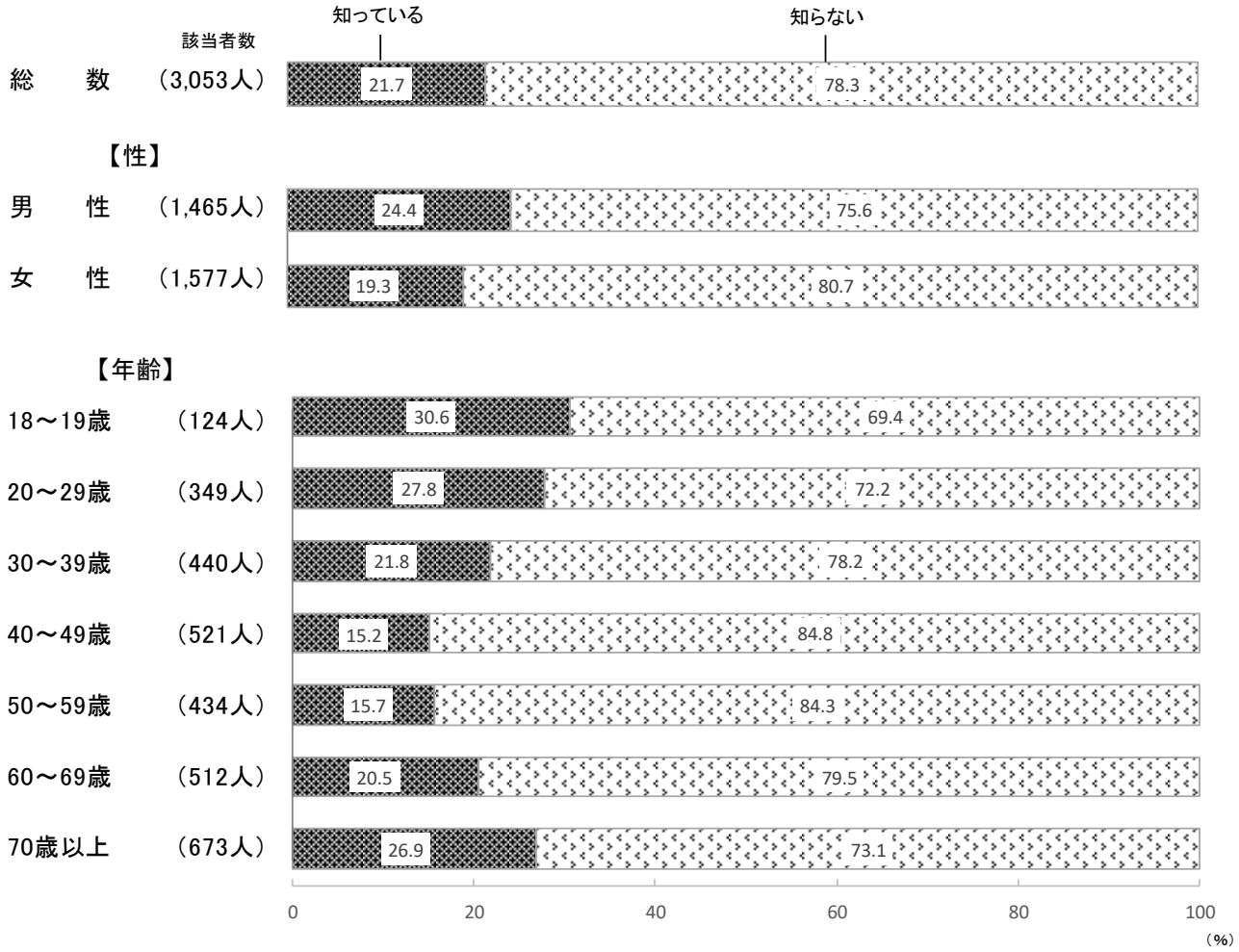
注）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた
　　H21 での選択肢は「特に必要はない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

Q13	近年、文化芸術活動を共に行うことを通じて、障害者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考え方があることを知っていますか。

全体としては「知っている」が 21.7%、「知らない」が 78.3%となっており、まだ社会包摂、もしくは共生社会的な考え方の認知度は高くない。また、性別では、いまのところ、男性の方が若干認知度が高い。

年齢別では、18～19 歳で認知率が 30.6%となっており、唯一３割を越えている。

図Q13　文化芸術活動を通じた共生社会づくりの認知



職業では、学生で「知っている」という回答が33.8%と多い。また、家族に介護・介助が必要な人がいる人でも「知っている」が40.8%と多くなっている。

表Q13　文化芸術活動を通じた共生社会づくりの認知

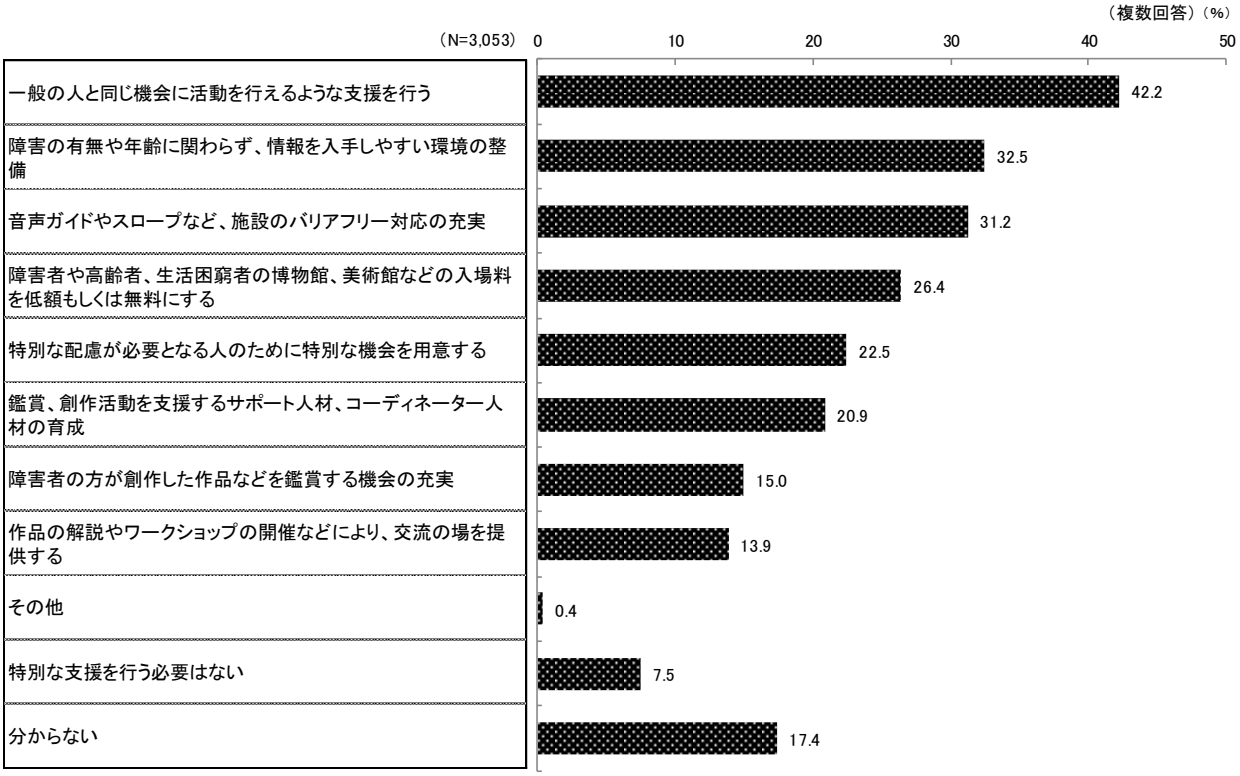
		N＝	知っている	知らない
全体		3053	21.7	78.3
性別	男性	1465	24.4	75.6
	女性	1577	19.3	80.7
	答えたくない	11	9.1	90.9
年齢別	18～19歳	124	30.6	69.4
	20～29歳	349	27.8	72.2
	30～39歳	440	21.8	78.2
	40～49歳	521	15.2	84.8
	50～59歳	434	15.7	84.3
	60～69歳	512	20.5	79.5
	70歳以上	673	26.9	73.1
居住地域	北海道	132	17.4	82.6
	東北	217	23.0	77.0
	北関東・甲信	235	23.0	77.0
	南関東	863	20.2	79.8
	東海	357	20.2	79.8
	北陸	130	20.0	80.0
	近畿	490	24.1	75.9
	中国・四国	283	25.8	74.2
	九州・沖縄	346	21.4	78.6
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	23.3	76.7
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	17.8	82.2
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	25.8	74.2
	学生	195	33.8	66.2
	家事専業（主婦、主夫）	669	19.9	80.1
	リタイア、無職	472	17.8	82.2
	その他	69	30.4	69.6
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	21.3	78.8
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	21.5	78.5
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	29.4	70.6
	その他	172	15.7	84.3
子どもとの同居	同居している	1159	21.7	78.3
	同居していない	1414	21.9	78.1
末子の成長段階	未就学児	301	20.9	79.1
	小学生	155	21.3	78.7
	中学生	86	26.7	73.3
	高校生	85	17.6	82.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	22.2	77.8
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	19.8	80.2
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	24.5	75.5
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	30.7	69.3
	その他	69	15.9	84.1
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	40.8	59.2
	いない	2261	20.1	79.9
	どちらとも言えない	99	21.2	78.8
世帯年収	300万円未満	584	21.1	78.9
	300万円以上～700万円未満	1186	23.6	76.4
	700万円以上～1,000万円未満	417	24.2	75.8
	1,000万円以上	245	28.6	71.4
	分からない・答えたくない	621	14.5	85.5

Q14	文化芸術活動を通じて、障害者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考えを実現するためにはどのような取組が必要だと思いますか。（複数回答）

全体としては「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う」という回答が 42.2%と最も多くなっている。ついで「障害の有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の整備」32.5%、「音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対策の充実」31.2%と続く。４位の「障害者や高齢者、生活困窮者の博物館、美術館などの入場料を低額もしくは無料にする」（26.4%）を含め、上位は全て一般の人と同じように行動できるための支援となっている。

一方、社会的に孤立しがちな人の困っている部分を支援するのではなく、逆に個性として評価し、活躍の場づくりを目指す方向である「特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意する」（22.5%）や「障害者の方が創作した作品などを鑑賞する機会の充実」（15.0%）については、それぞれ５位と７位となり、中下位に位置することとなった。また、一般の人との交流を目的とした「作品の解説やワークショップの開催などにより、交流の場を提供する」という回答は 13.9%にとどまった。

図Q14　文化芸術活動を通じた共生社会づくりに必要な取組



18～19 歳及び学生では、「音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実」に加え、「特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意する」という回答も多くなっており、障害その他も魅力的な個性として捉える考え方が浸透している傾向がみられる。一方、当事者でもある障害、要介護その他で行動に制限がある人や家族に介護・介助が必要な人がいる人では、「特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意する」に加え、「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う」、「障害者や高齢者、生活困窮者の博物館、美術館などの入場料を低額もしくは無料にする」という回答も多い。

表Q14　文化芸術活動を通じた共生社会づくりに必要な取組

		N＝	特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意する	一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う	障害者や高齢者、生活困窮者の博物館、美術館などの入場料を低額もしくは無料にする	音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実	作品の解説やワークショップの開催などにより、交流の場を提供する	鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材の育成	障害の有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の整備	障害者の方が創作した作品などを鑑賞する機会の充実	その他	特別な支援を行う必要はない	分からない
全体		3053	22.5	42.2	26.4	31.2	13.9	20.9	32.5	15.0	0.4	7.5	17.4
性別	男性	1465	24.5	40.8	24.6	24.8	13.7	18.1	27.8	12.8	0.4	9.3	18.1
	女性	1577	20.5	43.8	28.3	37.3	14.1	23.6	36.9	17.1	0.4	5.9	16.4
	答えたくない	11	27.3	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	63.6
年齢別	18～19歳	124	29.8	50.0	24.2	42.7	12.1	18.5	41.1	20.2	1.6	4.8	12.9
	20～29歳	349	25.5	44.7	20.6	30.1	12.9	18.3	24.6	12.3	0.0	8.3	20.3
	30～39歳	440	27.7	38.4	23.0	30.5	13.9	17.5	35.0	15.9	0.5	9.3	13.0
	40～49歳	521	18.0	35.7	20.5	27.6	11.9	16.9	27.8	11.9	0.8	9.4	22.1
	50～59歳	434	21.4	36.4	24.0	27.6	13.4	18.0	28.6	12.0	0.2	6.0	24.2
	60～69歳	512	20.3	43.9	30.9	31.8	15.8	22.3	36.1	16.0	0.4	7.8	15.8
	70歳以上	673	21.8	49.5	34.9	34.9	15.0	28.7	36.6	18.4	0.3	5.6	12.8
居住地域	北海道	132	24.2	44.7	29.5	31.8	16.7	19.7	32.6	20.5	0.0	12.1	13.6
	東北	217	23.0	43.3	29.0	33.2	15.7	20.7	34.1	14.3	0.0	7.8	18.4
	北関東・甲信	235	24.7	46.4	27.7	32.8	13.2	22.1	37.0	17.9	0.4	6.4	16.2
	南関東	863	21.7	41.3	23.9	30.2	13.3	20.0	28.5	13.7	0.6	8.1	19.0
	東海	357	21.0	38.1	25.5	30.8	12.9	20.4	33.3	12.6	0.3	9.2	17.4
	北陸	130	26.9	37.7	20.8	29.2	14.6	18.5	34.6	16.9	1.5	10.8	16.9
	近畿	490	23.1	44.3	26.9	30.8	12.4	20.6	30.0	13.3	0.2	5.5	16.1
	中国・四国	283	21.9	45.9	27.9	33.6	12.7	22.6	35.0	13.1	0.4	5.7	15.2
	九州・沖縄	346	21.4	40.2	30.3	31.2	17.1	22.8	37.9	20.5	0.6	6.1	18.8
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	25.4	41.2	22.4	25.1	14.4	17.2	26.3	11.3	0.2	9.2	16.7
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	21.2	35.2	26.5	30.1	11.9	21.6	32.3	15.1	0.6	6.4	20.6
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	20.4	44.4	23.1	31.1	16.9	23.1	32.9	15.6	0.0	9.3	16.9
	学生	195	28.7	55.4	21.0	41.0	12.8	17.9	36.4	17.9	1.0	5.1	14.4
	家事専業（主婦、主夫）	669	19.7	45.1	30.5	38.6	14.8	23.6	39.3	18.4	0.4	6.7	14.1
	リタイア、無職	472	20.1	41.9	31.4	30.9	13.1	22.9	31.8	15.3	0.6	7.6	20.1
	その他	69	26.1	39.1	31.9	24.6	10.1	23.2	39.1	17.4	0.0	1.4	26.1
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	19.4	42.3	24.2	30.2	11.9	19.8	29.8	14.0	0.8	7.3	20.8
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	23.3	42.0	26.7	32.1	14.1	21.9	33.8	15.2	0.3	7.2	16.2
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	23.3	46.5	28.2	28.6	18.0	18.0	29.8	16.3	0.0	10.2	13.9
	その他	172	19.8	38.4	26.7	27.9	9.9	15.1	27.3	14.0	1.7	8.1	27.3
子どもとの同居	同居している	1159	23.3	40.3	26.7	28.2	14.3	20.1	30.7	14.5	0.1	9.1	16.8
	同居していない	1414	22.8	43.8	26.9	34.1	14.1	21.9	34.8	15.8	0.6	6.3	16.7
末子の成長段階	未就学児	301	25.9	38.9	21.6	26.6	13.6	17.6	30.9	12.0	0.0	12.6	14.0
	小学生	155	24.5	40.6	23.9	22.6	13.5	16.1	23.9	14.2	0.6	5.8	16.1
	中学生	86	20.9	40.7	30.2	34.9	17.4	24.4	26.7	11.6	0.0	4.7	18.6
	高校生	85	23.5	31.8	21.2	23.5	10.6	11.8	25.9	8.2	0.0	9.4	23.5
	大学・短大・高専以上や社会人	532	21.8	42.3	30.8	30.5	15.0	23.3	34.0	17.5	0.0	8.6	17.3
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	20.6	40.4	23.8	30.5	12.8	19.4	30.5	14.2	0.2	8.7	18.8
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	25.5	47.2	30.4	34.1	15.8	24.7	35.7	16.0	0.5	4.9	14.0
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	28.4	44.7	39.5	30.2	16.7	20.0	41.9	17.7	1.9	5.6	13.5
	その他	69	14.5	23.2	10.1	17.4	10.1	11.6	14.5	11.6	0.0	17.4	40.6
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	35.7	52.6	40.4	37.1	18.3	23.5	39.0	18.3	0.5	3.3	8.9
	いない	2261	21.8	41.6	25.6	30.9	14.1	21.1	32.4	15.1	0.4	8.0	17.0
	どちらとも言えない	99	25.3	34.3	26.3	31.3	9.1	16.2	32.3	11.1	0.0	7.1	28.3
世帯年収	300万円未満	584	18.8	41.4	30.8	31.3	11.6	20.4	33.4	17.3	0.9	9.2	18.3
	300万円以上～700万円未満	1186	24.3	44.9	26.6	32.5	14.6	22.4	34.0	14.2	0.3	6.1	13.2
	700万円以上～1,000万円未満	417	25.9	43.9	25.7	30.5	17.5	24.5	33.6	16.8	0.0	8.9	11.8
	1,000万円以上	245	24.9	45.7	26.9	30.2	16.7	22.9	31.8	13.1	0.4	7.3	14.3
	分からない・答えたくない	621	19.2	35.4	22.2	29.6	11.0	15.1	28.2	14.0	0.6	7.7	29.5

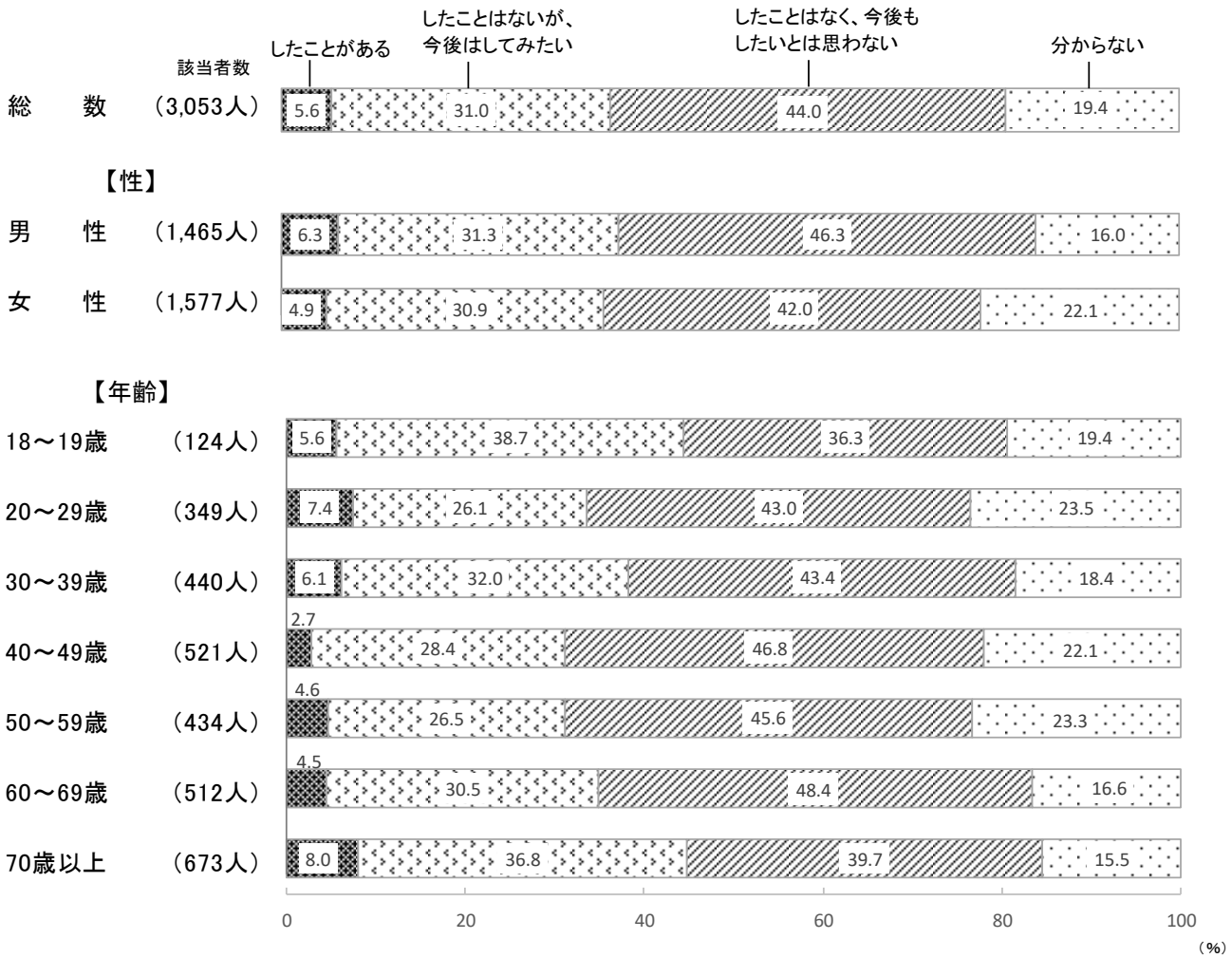
6．文化芸術振興に対する寄付に関する意識

Q15	あなたは、この 1 年間に、チケット代金以外の文化芸術振興に関わる寄付をしたことがありますか。

全体では「したことがある」という回答は 5.6%にとどまった。一方、「したことはないが、今後はしてみたい」は 31.0%となっている（両者の小計は 36.6%）。

年齢別では、18～19 歳と 70 歳以上で「したことがある」、「したことはないが、今後はしてみたい」を合わせた値（18～19 歳で 44.3%、70 歳以上で 44.8%）という比率がやや高くなっている。

図Q15-①　文化芸術振興のための寄付



世帯年収が 1,000 万円以上の人では「したことがある」という回答が 12.7%と多い。

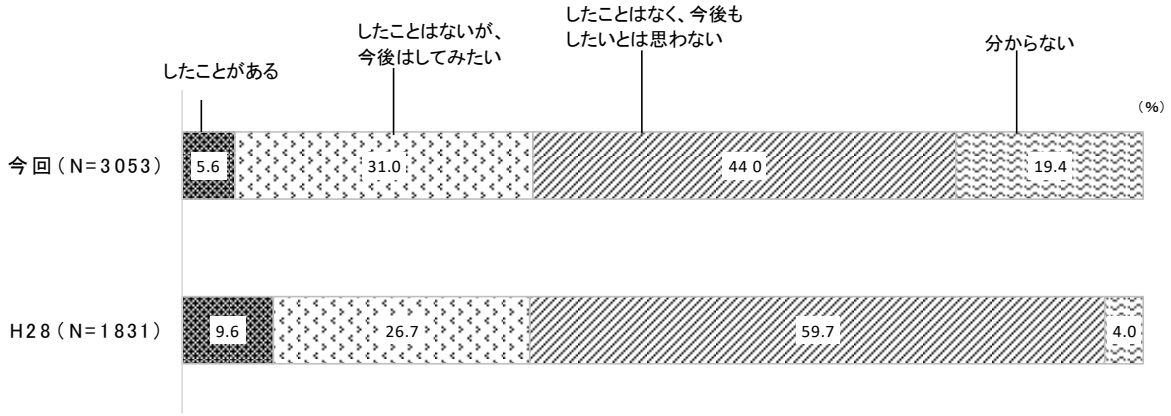
表Q15　文化芸術振興のための寄付

		N＝	したことがある	したことはないが、今後はしてみたい	したことはなく、今後もしたいとは思わない	分からない
全体		3053	5.6	31.0	44.0	19.4
性別	男性	1465	6.3	31.3	46.3	16.0
	女性	1577	4.9	30.9	42.0	22.1
	答えたくない	11	0.0	9.1	18.2	72.7
年齢別	18～19歳	124	5.6	38.7	36.3	19.4
	20～29歳	349	7.4	26.1	43.0	23.5
	30～39歳	440	6.1	32.0	43.4	18.4
	40～49歳	521	2.7	28.4	46.8	22.1
	50～59歳	434	4.6	26.5	45.6	23.3
	60～69歳	512	4.5	30.5	48.4	16.6
	70歳以上	673	8.0	36.8	39.7	15.5
居住地域	北海道	132	6.8	31.1	52.3	9.8
	東北	217	7.4	30.4	42.4	19.8
	北関東・甲信	235	5.5	34.0	43.0	17.4
	南関東	863	5.3	28.7	44.3	21.7
	東海	357	7.3	31.7	41.5	19.6
	北陸	130	5.4	32.3	44.6	17.7
	近畿	490	4.3	29.0	47.3	19.4
	中国・四国	283	6.0	32.2	44.9	17.0
	九州・沖縄	346	4.6	35.8	38.7	20.8
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	6.2	33.2	43.5	17.1
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	3.8	28.2	46.1	21.9
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	8.0	28.9	42.2	20.9
	学生	195	6.2	36.4	37.4	20.0
	家事専業（主婦、主夫）	669	5.5	32.4	41.6	20.5
	リタイア、無職	472	4.9	27.8	50.6	16.7
	その他	69	8.7	24.6	36.2	30.4
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	9.0	27.1	45.4	18.5
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	4.9	32.4	43.7	18.9
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	6.9	30.6	43.3	19.2
	その他	172	2.9	25.0	44.2	27.9
子どもとの同居	同居している	1159	5.3	32.4	43.6	18.7
	同居していない	1414	4.7	31.3	43.8	20.2
末子の成長段階	未就学児	301	4.7	32.6	41.9	20.9
	小学生	155	7.1	29.0	44.5	19.4
	中学生	86	8.1	34.9	43.0	14.0
	高校生	85	4.7	29.4	43.5	22.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	4.9	33.3	44.4	17.5
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	5.1	30.6	43.5	20.8
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	6.3	33.8	44.2	15.7
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	7.4	30.7	47.9	14.0
	その他	69	5.8	13.0	39.1	42.0
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	11.3	39.9	35.7	13.1
	いない	2261	4.4	31.4	44.9	19.3
	どちらとも言えない	99	5.1	22.2	34.3	38.4
世帯年収	300万円未満	584	6.0	28.4	47.8	17.8
	300万円以上～700万円未満	1186	5.3	35.7	45.0	14.0
	700万円以上～1,000万円未満	417	7.0	35.5	42.9	14.6
	1,000万円以上	245	12.7	33.5	38.0	15.9
	分からない・答えたくない	621	2.1	20.6	41.5	35.7

《経年比較》

平成 28 年の前回調査との比較では、「したことがある」については 9.6%から 5.6%へと減少している一方、「したことはないが、今後はしてみたい」については、26.7%から 31.0%に上昇しており、両者の小計は 36.3%から 36.6%への微増となっている。

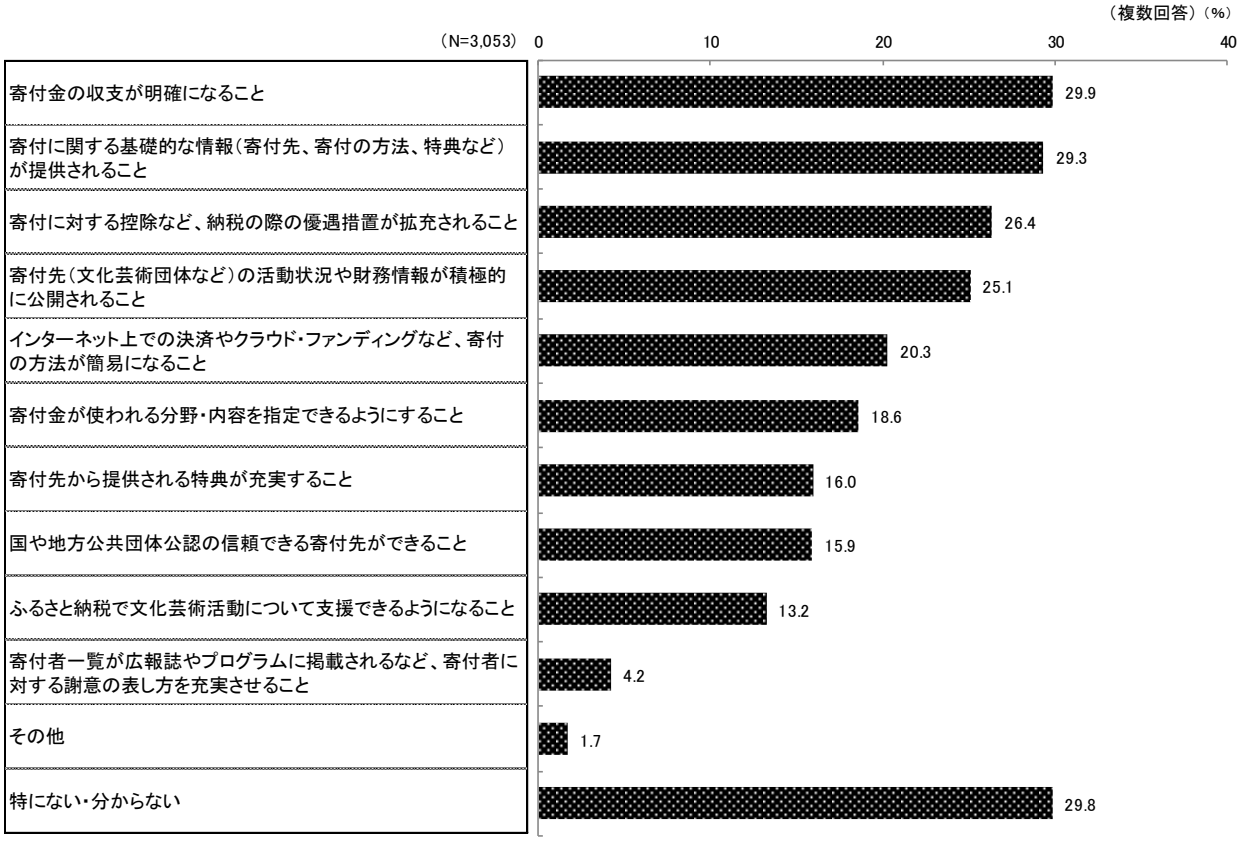
図Q15-②　文化芸術振興のための寄付（経年比較）



Q16	あなたは、どうすればもっと寄付しやすくなる、もしくは寄付してもいいと思えるようになると思いますか。（複数回答）

全体で最も多いのは「寄付金の収支が明確になること」の 29.9%で、ついで「寄付に関する基礎的な情報が提供されること」の 29.3%、「寄付に対する控除など、納税の際の優遇措置が拡充されること」の 26.4%、「寄付先の活動状況や財務情報が積極的に公開されること」の 25.1%と続く。

図Q16-①　文化芸術振興のための寄付の促進策



18～19 歳と学生で、「寄付に関する基礎的な情報が提供されること」、「寄付先から提供される特典が充実すること」が多い。また、介護・介助が必要な家族がいる人と世帯収入が多い層では、「寄付に対する控除など、納税の際の優遇措置が拡充されること」という回答が多くなっている。

一方、世帯年収が低い層では、「国や地方公共団体公認の信頼できる寄付先ができること」という回答が比較的多い。

表Q16　文化芸術振興のための寄付の促進策

		N＝	寄付に関する基礎的な情報（寄付先、寄付の方法、特典など）が提供されること	寄付に対する控除など、納税の際の優遇措置が拡充されること	寄付先（文化芸術団体など）の活動状況や財務情報が積極的に公開されること	インターネット上での決済やクラウド・ファンディングなど、寄付の方法が簡易になること	寄付先から提供される特典が充実すること	寄付者一覧が広報誌やプログラムに掲載されるなど、寄付者に対する謝意の表し方を充実させること	寄付金の収支が明確になること	寄付金が使われる分野・内容を指定できるようにすること	ふるさと納税で文化芸術活動について支援できるようになること	国や地方公共団体公認の信頼できる寄付先ができること	その他	特にない・分からない
全体		3053	29.3	26.4	25.1	20.3	16.0	4.2	29.9	18.6	13.2	15.9	1.7	29.8
性別	男性	1465	28.5	29.1	23.5	20.5	15.0	4.1	25.3	15.7	11.5	13.7	1.7	31.3
	女性	1577	30.2	23.9	26.6	20.2	16.9	4.4	34.3	21.4	15.0	18.1	1.7	28.1
	答えたくない	11	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	81.8
年齢別	18～19歳	124	46.0	28.2	26.6	25.8	34.7	4.0	31.5	16.1	18.5	20.2	1.6	13.7
	20～29歳	349	32.7	27.5	25.5	24.6	17.5	5.7	21.5	16.6	12.6	13.8	1.1	29.8
	30～39歳	440	32.3	33.4	24.8	23.0	19.8	5.0	29.1	19.8	16.1	14.8	2.3	23.9
	40～49歳	521	26.3	25.9	18.6	20.3	13.8	3.5	22.5	16.7	11.9	11.9	1.3	36.9
	50～59歳	434	25.6	24.9	21.2	18.0	11.5	2.5	23.0	14.3	12.2	9.9	1.8	36.2
	60～69歳	512	25.8	23.8	26.8	19.1	12.5	3.7	37.7	18.9	14.6	18.6	2.7	30.1
	70歳以上	673	30.2	24.1	31.1	17.7	16.3	5.1	38.6	23.3	11.3	22.0	1.0	27.0
居住地域	北海道	132	24.2	25.0	19.7	22.7	11.4	3.8	26.5	18.2	16.7	16.7	1.5	32.6
	東北	217	36.4	28.6	27.2	22.1	17.5	6.5	33.6	18.0	15.2	15.7	1.4	27.2
	北関東・甲信	235	34.5	28.1	27.2	19.6	14.9	3.4	33.2	17.0	11.9	17.4	1.7	28.5
	南関東	863	28.2	26.5	23.2	19.9	14.1	4.8	27.8	17.0	10.9	14.5	1.7	32.3
	東海	357	26.9	26.1	24.9	19.6	18.5	2.8	27.5	18.2	14.6	12.6	2.0	29.1
	北陸	130	30.8	25.4	23.8	14.6	14.6	2.3	29.2	16.9	17.7	17.7	1.5	29.2
	近畿	490	26.5	25.1	26.5	20.6	17.1	2.9	28.6	19.6	13.5	17.3	1.6	29.6
	中国・四国	283	32.9	25.1	25.1	19.8	16.6	5.3	32.5	19.1	13.4	14.1	2.5	24.7
	九州・沖縄	346	29.5	27.5	27.7	22.5	17.6	5.5	34.1	23.4	13.9	20.5	1.2	30.6
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	30.6	32.8	23.0	22.1	15.9	3.4	21.4	15.7	12.9	12.6	1.0	30.1
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	27.2	24.6	23.4	21.9	16.1	4.2	28.5	20.6	15.5	15.3	1.9	29.3
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	28.0	29.8	27.6	21.8	14.2	6.2	36.4	21.8	17.3	17.3	4.0	23.6
	学生	195	41.0	30.3	29.7	26.7	26.2	5.1	26.7	15.4	15.4	21.0	1.0	17.9
	家事専業（主婦、主夫）	669	29.7	22.1	27.7	16.1	14.9	5.5	39.3	21.7	13.8	18.7	1.0	29.9
	リタイア、無職	472	23.9	19.5	23.7	17.2	14.0	3.0	32.6	16.5	8.3	16.1	2.5	37.5
	その他	69	33.3	23.2	27.5	23.2	15.9	2.9	27.5	24.6	10.1	15.9	4.3	31.9
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	29.2	22.3	24.6	20.4	16.0	4.0	29.4	18.3	10.6	16.7	2.9	30.2
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	29.6	27.1	25.5	20.1	15.6	4.5	30.9	19.2	13.8	15.8	1.3	29.5
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	29.4	29.8	24.1	25.3	20.4	3.3	25.7	17.1	12.7	17.6	2.9	23.7
	その他	172	26.7	23.8	23.3	15.7	13.4	3.5	24.4	13.4	14.0	13.4	1.7	41.3
子どもとの同居	同居している	1159	27.8	28.1	24.8	19.9	16.3	4.2	27.8	19.2	14.2	14.9	1.6	29.8
	同居していない	1414	30.7	26.3	25.5	20.6	15.6	4.3	31.8	18.2	13.4	16.5	1.4	29.8
末子の成長段階	未就学児	301	29.2	31.9	23.6	19.6	20.3	3.3	25.9	19.3	14.6	12.3	1.3	28.2
	小学生	155	25.8	32.3	22.6	19.4	18.7	3.9	15.5	16.8	16.8	10.3	0.6	30.3
	中学生	86	27.9	27.9	25.6	20.9	10.5	8.1	25.6	17.4	11.6	11.6	2.3	27.9
	高校生	85	31.8	22.4	18.8	16.5	11.8	0.0	30.6	15.3	11.8	12.9	0.0	31.8
	大学・短大・高専以上や社会人	532	26.9	25.8	26.9	20.7	15.0	4.9	32.3	20.7	13.9	18.6	2.1	30.5
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	29.3	26.0	24.6	20.0	16.1	4.2	27.5	16.8	13.4	14.8	1.3	30.4
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	30.2	27.8	26.9	20.7	16.5	4.5	33.8	22.2	13.3	18.4	2.0	27.7
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	32.1	26.5	26.5	24.2	15.3	4.7	39.5	21.4	12.6	18.1	2.8	29.3
	その他	69	14.5	11.6	14.5	10.1	10.1	0.0	17.4	13.0	11.6	11.6	2.9	52.2
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	35.2	37.1	27.7	25.4	21.1	7.5	31.0	19.7	16.9	15.0	1.9	20.2
	いない	2261	29.2	26.5	25.2	20.1	15.6	4.0	30.1	18.7	13.6	15.8	1.4	30.3
	どちらとも言えない	99	20.2	20.2	19.2	14.1	12.1	3.0	25.3	15.2	9.1	16.2	3.0	37.4
世帯年収	300万円未満	584	27.9	18.2	21.7	18.0	14.7	4.3	31.8	20.7	11.8	18.7	3.6	34.6
	300万円以上～700万円未満	1186	31.4	30.4	27.6	21.8	17.9	4.6	33.4	20.2	14.5	16.7	1.3	23.8
	700万円以上～1,000万円未満	417	34.1	32.9	27.1	24.5	15.8	3.8	27.1	15.6	14.9	14.1	0.5	26.1
	1,000万円以上	245	31.0	36.7	27.8	24.5	13.9	4.9	26.9	18.0	12.7	10.6	1.2	25.7
	分からない・答えたくない	621	23.0	18.0	21.1	15.1	14.3	3.5	24.3	15.8	11.3	15.1	1.6	41.1

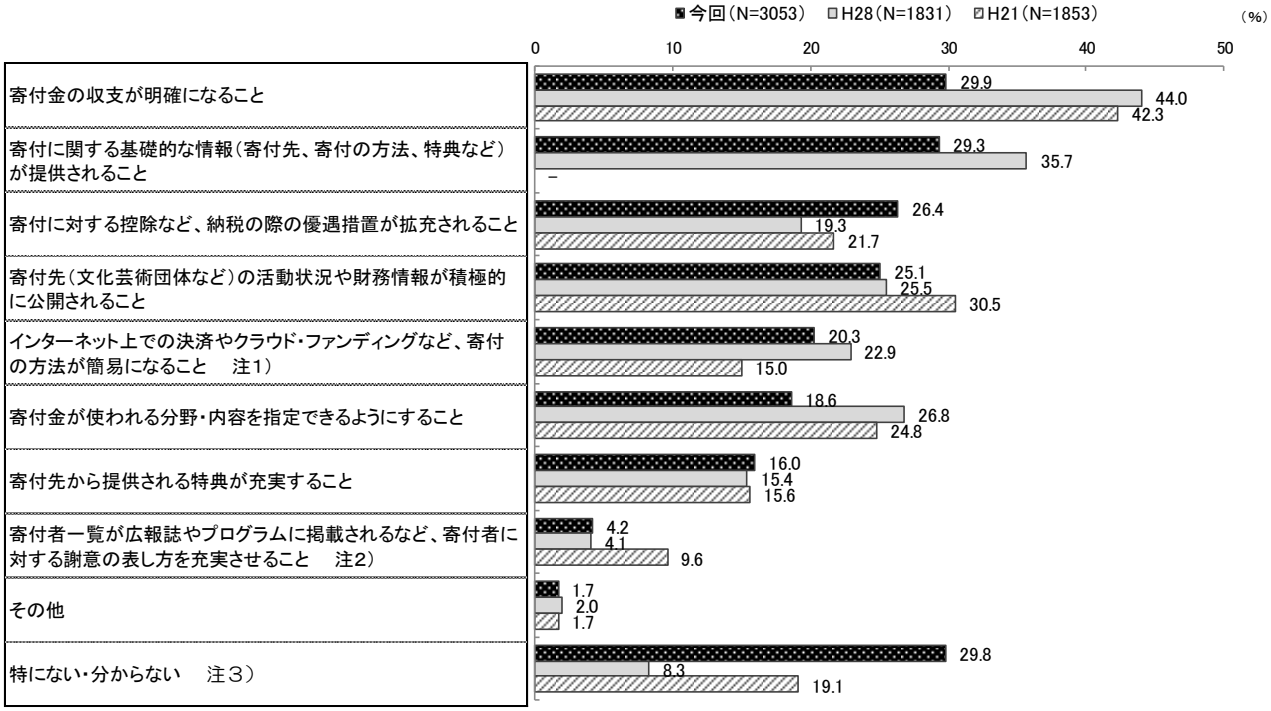
《経年比較》

平成 28 年調査、21 年調査との比較では、まず、「特にない・分からない」という回答が今回多くなっているため、他の項目の回答率が下がっていることが指摘される。回答項目の順位の差でみると、平成 28 年、21 年とも１位は今回と同じ「寄付金の収支が明確になること」、また平成 28 年調査の２位も今回と同じ「寄付に関する基礎的な情報が提供されること」となっている（平成 21 年調査では当該の項目なし）。

一方、「寄付金が使われる分野・内容を指定できるようにすること」については、今回６位だが、平成 28 年、21 年は 3 位、「寄付先の活動状況や財務情報が積極的に公開されること」については、今回と 28 年は４位で、21 年は２位となっている。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Q16-②　文化芸術振興のための寄付の促進策（経年比較）



注１）H28 と H21 での選択肢は「インターネット上での決済など、寄付の方法が簡易になること」

注２）H28 での選択肢は「寄付者一覧が広報誌やプログラムに掲載されるなど、寄付者に対する謝意の表し方を充実させること」
H21 での選択肢は「寄付者一覧が広報誌に掲載されるなど、寄付者に対する謝意の表し方を充実させること」

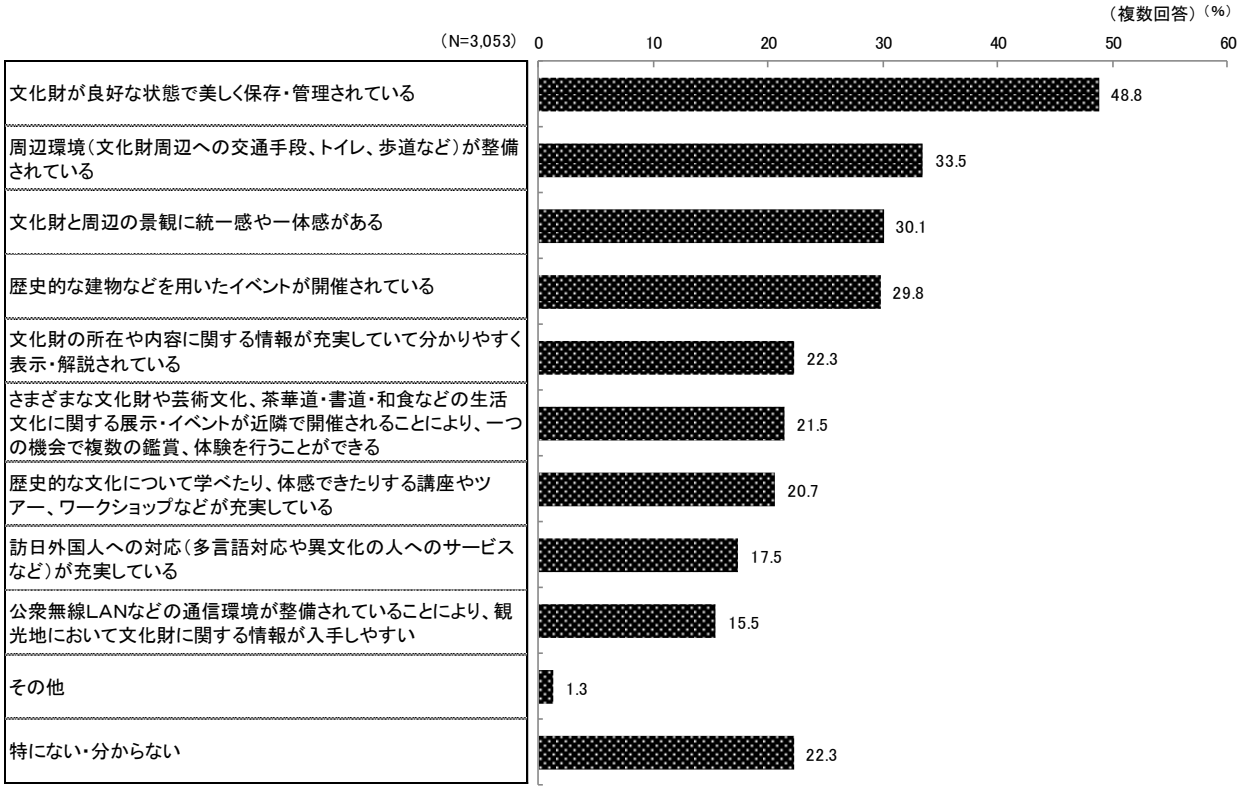
注３）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた
H21 での選択肢は「特にない」はないので、「分からない」のみの数値

７．文化芸術の振興と効果

Q17	あなたは、日本の文化財を観光の資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。（複数回答）

全体で１位なのは「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」の 48.8%で、ついで若干離れて「周辺環境が整備されている」(33.5%)、「文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある」(30.1%)、「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」（29.8%）が 30%内外で並んでいる。

図Q17-①　観光資源としての文化財の活用策



18～19 歳と学生では「公衆無線ＬＡＮなどの通信環境が整備されていることにより、観光地において文化財に関する情報が入手しやすい」という回答が多い。一方、70 歳以上では、「文化財の所在や内容に関する情報が充実していて分かりやすく表示・解説されている」が多くなっている。

また、世帯年収が高いほど「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」、「訪日外国人への対応が充実している」という回答が多い。

表Q17　観光資源としての文化財の活用策

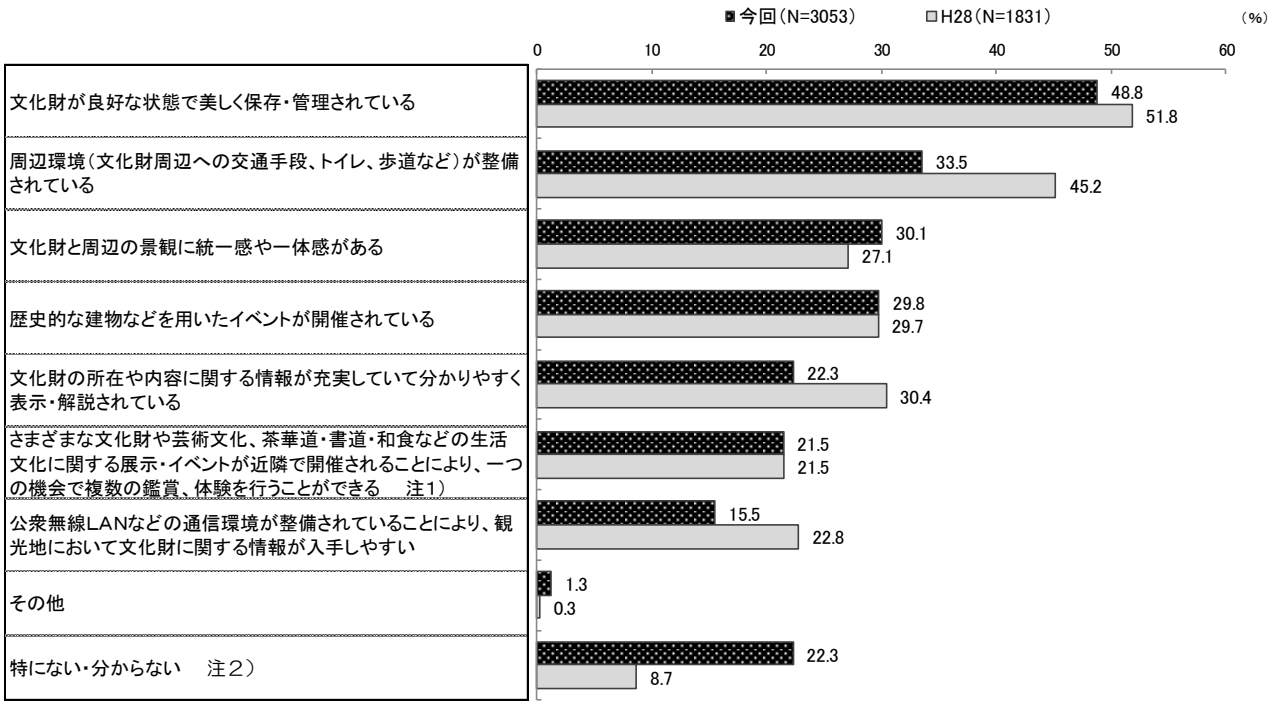
		N＝	文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている	歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている	文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある	さまざまな文化財や芸術文化・茶華道・書道・和食などの生活文化に関するベントが近隣で開催される展示・ベントにより、一つの機会で複数のことができる鑑賞、体験を行うこと	文化財の所在や内容に関する情報が充実していて分かりやすく表示・解説されている	歴史的な文化について学べたり、体感できたりするワークショップなどが充実している	公衆無線ＬＡＮなどの通信環境が整備されていることにより、観光地において文化財に関する情報が入手しやすい	訪日外国人への対応（多言語対応や異文化の人へのサービスなど）が充実している	周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道など）が整備されている	その他	特にない・分からない
全体		3053	48.8	29.8	30.1	21.5	22.3	20.7	15.5	17.5	33.5	1.3	22.3
性別	男性	1465	47.2	30.3	30.7	16.9	20.5	17.5	14.7	15.8	27.3	1.7	24.8
	女性	1577	50.5	29.4	29.6	25.9	24.1	23.7	16.2	19.0	39.4	1.0	19.6
	答えたくない	11	18.2	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	63.6
年齢別	18～19歳	124	54.8	30.6	33.9	19.4	18.5	22.6	25.8	26.6	38.7	1.6	15.3
	20～29歳	349	45.8	29.2	24.9	22.1	17.5	17.5	18.9	19.8	27.5	0.0	27.2
	30～39歳	440	49.5	34.1	29.1	20.7	19.8	20.5	15.9	20.2	29.8	2.5	18.9
	40～49歳	521	45.7	30.3	24.8	20.3	18.2	18.0	13.4	15.4	29.9	1.0	27.6
	50～59歳	434	44.7	27.4	27.6	19.4	18.2	17.3	12.7	13.8	27.9	1.2	27.4
	60～69歳	512	48.6	27.7	33.0	21.3	25.4	19.9	18.8	16.0	37.9	2.1	21.3
	70歳以上	673	53.9	29.9	36.1	24.5	30.8	26.9	12.5	17.8	41.3	1.0	16.5
居住地域	北海道	132	53.0	26.5	30.3	18.9	25.0	23.5	19.7	14.4	36.4	0.8	24.2
	東北	217	52.1	33.6	30.4	19.8	26.7	20.3	17.5	20.3	32.7	0.5	21.7
	北関東・甲信	235	48.9	29.4	30.6	21.3	26.8	23.4	17.4	19.1	33.2	1.7	21.7
	南関東	863	47.6	30.5	27.3	20.7	21.8	20.9	14.4	15.8	30.8	0.9	24.6
	東海	357	45.9	27.7	28.6	24.1	20.2	19.6	13.4	16.5	30.8	2.0	24.9
	北陸	130	56.2	23.1	32.3	20.8	20.8	20.8	11.5	15.4	40.8	2.3	21.5
	近畿	490	49.8	32.2	32.7	21.8	22.7	18.8	15.7	17.1	35.7	1.4	18.8
	中国・四国	283	49.8	29.0	33.2	21.6	18.4	17.7	11.3	19.4	36.4	1.8	18.0
	九州・沖縄	346	46.0	29.2	30.6	22.5	22.5	23.7	20.8	20.5	34.7	1.4	22.5
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	48.1	32.2	29.2	19.8	17.8	16.3	12.4	16.1	24.8	0.8	23.5
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	48.8	31.8	27.2	22.5	22.1	19.7	16.8	19.1	34.8	1.1	20.6
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	48.4	28.4	28.9	21.3	26.2	19.1	18.7	14.2	31.6	3.1	22.7
	学生	195	53.8	33.3	34.4	21.5	21.0	20.5	26.7	24.1	37.4	1.0	17.4
	家事専業（主婦、主夫）	669	49.9	27.8	30.8	24.8	25.4	25.7	14.5	18.7	42.9	0.7	19.4
	リタイア、無職	472	46.8	25.6	32.2	19.7	25.2	24.2	15.5	15.9	34.1	2.5	27.1
	その他	69	47.8	26.1	33.3	15.9	24.6	17.4	13.0	13.0	37.7	2.9	26.1
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	48.3	27.1	28.5	21.0	21.7	19.6	15.4	17.5	32.9	2.3	22.7
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	49.1	30.5	30.8	21.7	23.1	21.7	15.4	17.5	34.8	1.0	21.7
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	54.3	26.5	29.8	24.1	20.4	16.3	18.8	18.0	30.2	2.0	18.4
	その他	172	38.4	33.1	25.6	16.3	18.0	17.4	11.6	16.3	24.4	2.3	33.7
子どもとの同居	同居している	1159	48.7	31.5	27.9	22.1	21.0	20.0	13.8	15.2	30.9	0.7	22.5
	同居していない	1414	49.1	29.3	32.4	21.1	23.7	21.6	16.9	19.3	35.9	1.6	21.9
末子の成長段階	未就学児	301	45.5	34.6	23.3	20.3	18.6	24.6	14.3	17.3	26.9	0.3	24.3
	小学生	155	47.7	33.5	28.4	21.9	17.4	14.2	14.2	18.1	26.5	0.0	20.6
	中学生	86	48.8	32.6	22.1	27.9	22.1	20.9	10.5	15.1	34.9	1.2	22.1
	高校生	85	47.1	25.9	25.9	14.1	17.6	15.3	10.6	5.9	32.9	0.0	23.5
	大学・短大・高専以上や社会人	532	50.9	29.9	31.6	23.5	23.7	19.7	14.5	14.7	33.5	1.1	22.0
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	48.4	30.0	29.1	20.1	20.6	19.9	14.9	17.2	31.4	1.1	23.2
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	51.9	30.9	32.8	24.4	26.2	23.2	16.7	18.4	38.0	1.5	18.2
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	46.0	30.7	30.2	25.1	26.0	19.5	16.7	17.7	38.1	2.8	23.7
	その他	69	26.1	13.0	18.8	7.2	11.6	11.6	11.6	10.1	21.7	1.4	52.2
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	56.8	38.0	36.2	22.1	26.3	21.6	21.1	20.2	31.9	1.9	12.7
	いない	2261	48.7	29.9	30.3	21.9	22.5	21.1	15.3	17.5	33.9	1.1	22.4
	どちらとも言えない	99	37.4	23.2	20.2	13.1	14.1	13.1	7.1	10.1	31.3	2.0	37.4
世帯年収	300万円未満	584	46.6	25.3	29.8	19.9	23.5	20.2	16.4	17.3	36.6	2.6	24.0
	300万円以上～700万円未満	1186	51.7	32.8	33.0	21.8	24.3	23.7	15.4	17.6	34.1	0.9	16.0
	700万円以上～1,000万円未満	417	53.2	34.3	28.8	28.5	21.1	21.3	15.8	18.7	29.3	1.0	18.7
	1,000万円以上	245	56.7	34.7	35.5	20.8	24.9	19.2	16.3	19.2	30.2	1.6	15.5
	分からない・答えたくない	621	39.3	23.3	23.5	18.0	17.4	15.5	14.2	15.8	33.7	1.1	37.7

《経年比較》

平成 28 年調査との比較では、まず、「特にない・分からない」という回答が今回多くなっているため、他の項目の回答率が下がっていることが指摘される。回答項目の順位の差でみると、平成 28 年と今回では、1 位「文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている」と 2 位「周辺環境が整備されている」は同じ、3 位は、今回は「文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある」となっているが、28 年調査では、「文化財の所在や内容に関する情報が充実していて分かりやすく表示・解説されている」である。また、4 位は、今回・前回ともに「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」という結果になった。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Q17-②　観光資源としての文化財の活用策（経年比較）



注 1）H28 での選択肢は「さまざまな文化財や文化芸術に関する展示・イベントが近隣で開催されることにより、一度の旅行で鑑賞することができる」

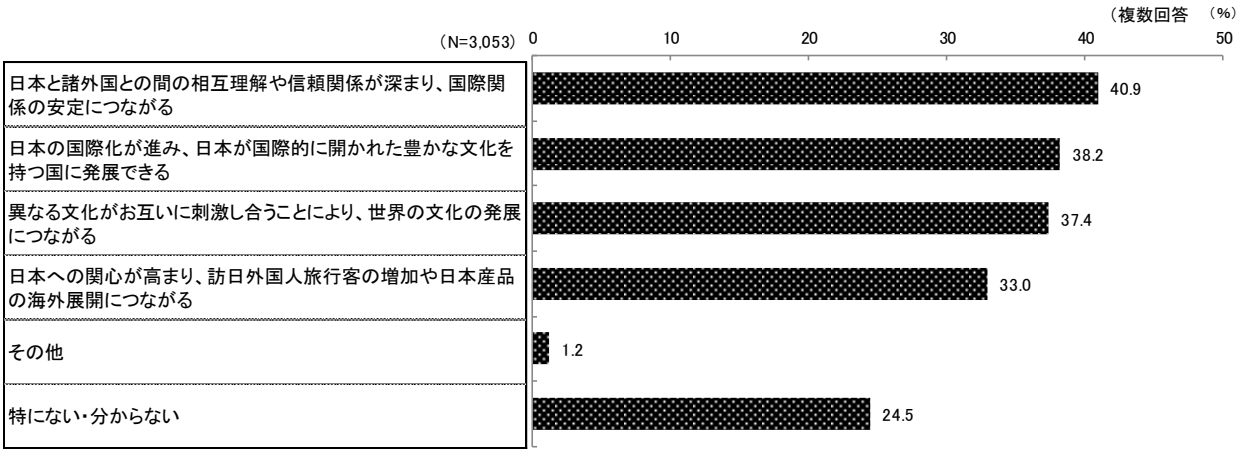
注 2）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

8．文化芸術の国際交流・発信

Q18	あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。（複数回答）

最も多い回答は「国際関係の安定につながる」の 40.9%で、ついで「国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展」の 38.2%、「世界の文化の発展につながる」の 37.4%と続く。

図Q18-①　文化交流の意義



18～19 歳と世帯年収が高い層で「訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる」という回答が多く、70 歳以上と介護・介助する家族がいる人で「国際関係の安定につながる」の回答率が高くなっている。介護、介助する家族がいる人では「国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展」との回答も多い。

表Q18　文化交流の意義

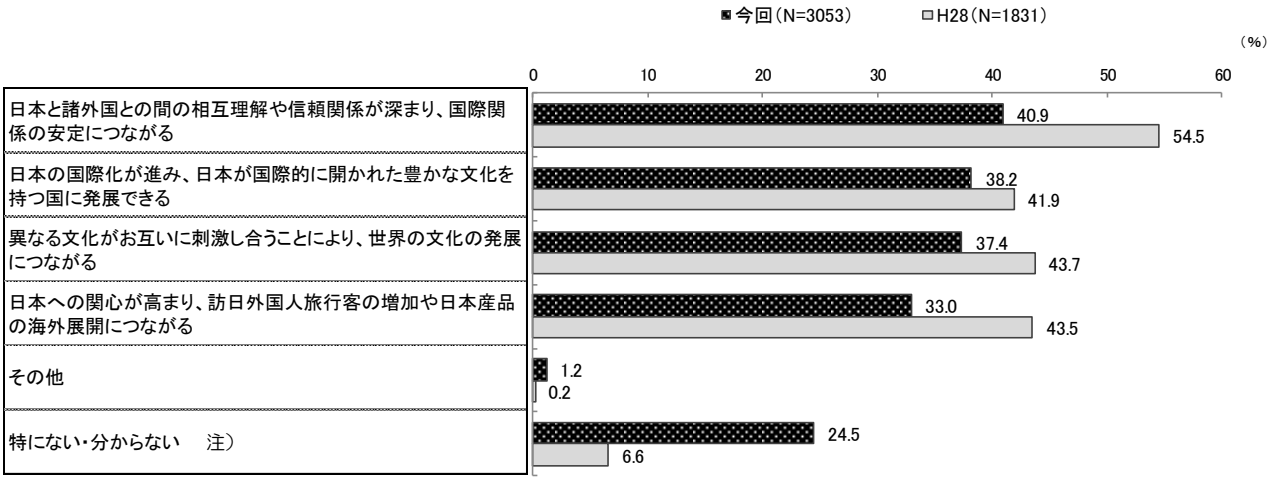
		N＝	日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる	異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる	日本と諸外国の間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる	訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開に日本への関心が高まり、つながる	その他	特にない・分からない
全体		3053	38.2	37.4	40.9	33.0	1.2	24.5
性別	男性	1465	37.7	35.4	39.1	29.7	1.4	25.9
	女性	1577	38.9	39.4	42.8	36.0	1.1	22.9
	答えたくない	11	9.1	9.1	18.2	27.3	0.0	63.6
年齢別	18～19歳	124	41.9	42.7	44.4	43.5	2.4	14.5
	20～29歳	349	37.2	37.2	34.1	30.4	0.6	26.6
	30～39歳	440	38.9	36.6	39.3	36.1	1.8	21.4
	40～49歳	521	34.0	34.5	33.2	30.7	1.2	30.5
	50～59歳	434	32.9	33.4	35.5	26.0	1.2	30.4
	60～69歳	512	39.1	35.5	43.8	32.6	1.8	24.4
	70歳以上	673	43.7	43.1	52.3	36.7	0.7	18.7
居住地域	北海道	132	38.6	45.5	42.4	32.6	2.3	25.0
	東北	217	43.3	39.6	43.3	34.6	0.5	25.3
	北関東・甲信	235	40.4	39.6	41.7	36.6	0.9	26.0
	南関東	863	39.3	37.1	38.0	32.1	0.9	25.3
	東海	357	36.7	34.5	42.3	30.0	2.0	24.1
	北陸	130	36.2	37.7	38.5	32.3	3.8	24.6
	近畿	490	34.3	34.5	42.0	30.2	1.0	22.2
	中国・四国	283	39.6	37.5	38.5	35.0	1.1	23.3
	九州・沖縄	346	37.6	39.0	45.7	37.3	1.2	25.1
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	38.1	35.1	37.0	29.6	1.1	25.3
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	38.0	39.1	38.9	32.9	1.9	25.0
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	36.4	40.0	42.2	33.8	2.2	23.1
	学生	195	42.1	41.0	41.5	38.5	1.0	16.4
	家事専業（主婦、主夫）	669	40.4	37.8	45.7	36.5	0.4	23.0
	リタイア、無職	472	36.0	37.3	42.4	31.6	1.5	27.3
	その他	69	30.4	30.4	44.9	33.3	1.4	31.9
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	34.6	38.1	38.3	30.4	1.9	25.4
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	39.6	36.8	42.2	34.0	0.9	23.9
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	35.5	44.5	42.0	29.4	2.0	20.0
	その他	172	35.5	32.0	30.8	31.4	2.3	35.5
子どもとの同居	同居している	1159	38.8	36.8	38.7	32.4	1.1	24.3
	同居していない	1414	39.0	37.6	43.7	34.2	1.1	24.3
末子の成長段階	未就学児	301	39.2	34.6	36.5	32.6	1.0	24.3
	小学生	155	44.5	38.7	38.7	36.1	0.0	19.4
	中学生	86	36.0	40.7	37.2	34.9	3.5	19.8
	高校生	85	34.1	34.1	22.4	28.2	0.0	32.9
	大学・短大・高専以上や社会人	532	38.2	37.2	42.7	31.6	1.3	25.2
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	37.9	35.8	39.0	31.6	1.3	25.2
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	40.7	41.2	45.7	35.8	0.9	21.4
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	34.9	38.6	44.2	35.3	1.4	24.2
	その他	69	20.3	24.6	17.4	23.2	1.4	52.2
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	49.3	45.5	52.1	34.7	1.9	14.6
	いない	2261	38.2	36.9	40.7	33.5	1.0	24.7
	どちらとも言えない	99	32.3	27.3	34.3	29.3	3.0	36.4
世帯年収	300万円未満	584	33.6	37.2	40.6	33.9	1.5	27.1
	300万円以上～700万円未満	1186	42.5	41.4	44.2	34.1	1.1	18.6
	700万円以上～1,000万円未満	417	42.4	37.4	41.7	35.5	1.0	18.7
	1,000万円以上	245	45.3	40.4	47.3	35.9	1.2	16.3
	分からない・答えたくない	621	28.8	28.7	32.0	26.9	1.4	40.3

《経年比較》

平成 28 年調査との比較では、まず、「特にない・分からない」という回答が今回多くなっているため、他の項目の回答率が下がっていることが指摘される。回答項目の順位の差でみると、平成 28 年と今回では、１位「日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる」は同じであるが、２位は、今回が「日本の国際化が進み、日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる」、28 年調査では、「異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる」となっている。また、３位も、今回は「異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる」であるが、前回は「日本への関心が高まり、訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる」である。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Q18-②　文化交流の意義（経年比較）

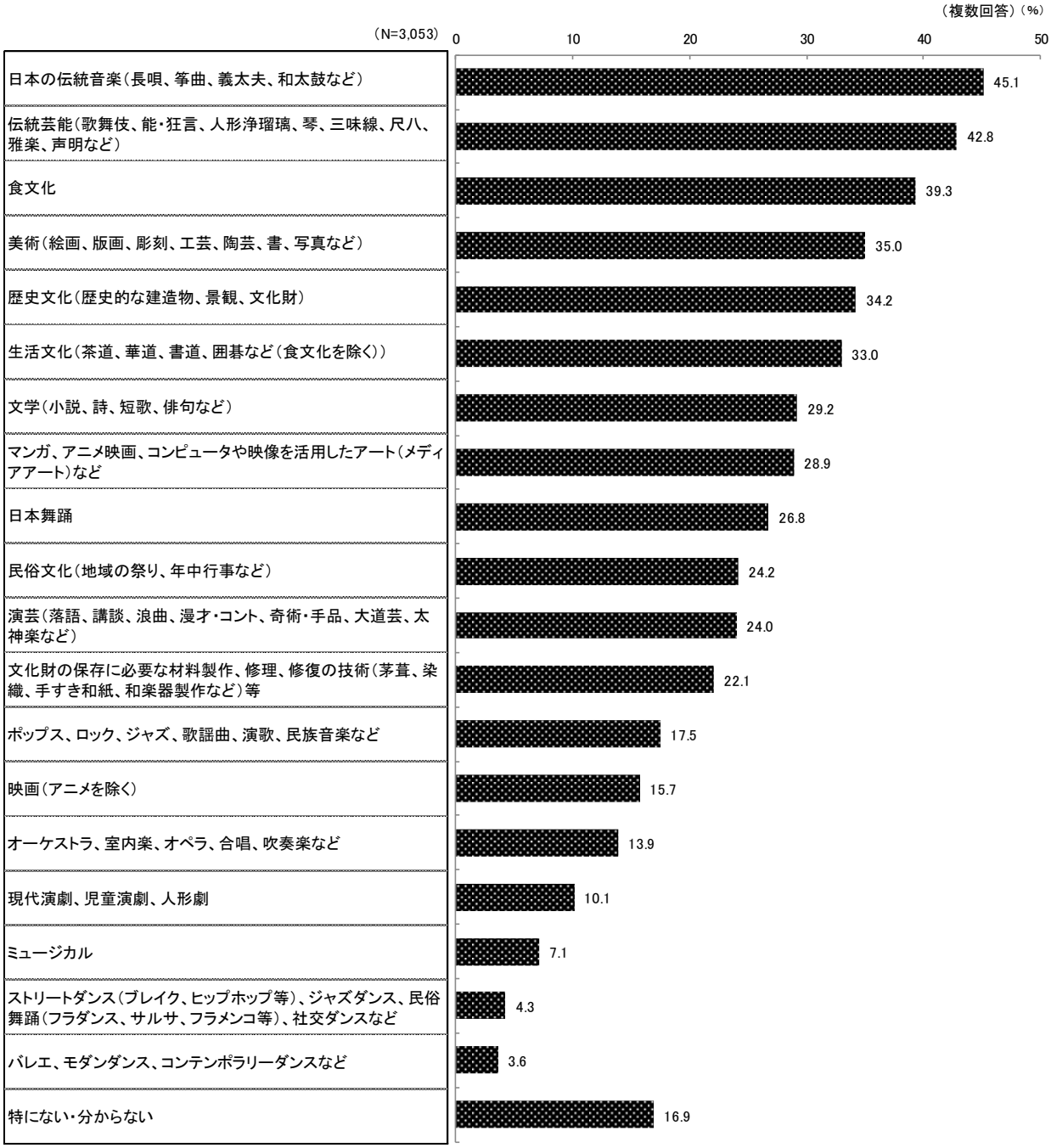


注）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

Q19	あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。（複数回答）

全体では「日本の伝統音楽」が 45.1％で最も多く、ついで「伝統芸能」（42.8％）、「食文化」（39.3％）、「美術」（35.0％）、「歴史文化」（34.2％）、「生活文化」（33.0％）と続いており、日本の伝統や歴史に基づく文化を発信すべきという回答が多い。

図Q19-①　文化芸術の国際発信のための重点分野



年齢別では、18～19 歳で「文学」、「現代演劇、児童演劇、人形劇」の、70 歳以上で「美術」の回答率が高い。また、学生も、「文学」という回答が多くなっている。また、世帯年収が高いほど「美術」という回答が増えている。

表Q19-[1]　文化芸術の国際発信のための重点分野

		N＝	文学（小説、詩、短歌、俳句など）	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	俗舞踊（フラダンス、民等）、ジャズダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ）	日本舞踊
全体		3053	29.2	13.9	17.5	45.1	35.0	10.1	7.1	3.6	4.3	26.8	
性別	男性	1465	26.5	14.3	18.8	39.1	30.6	9.2	5.0	2.3	3.8	22.1	
	女性	1577	31.8	13.6	16.3	50.9	39.3	11.0	9.2	4.9	4.8	31.2	
	答えたくない	11	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	
年齢別	18～19歳	124	41.9	16.9	25.0	50.0	30.6	22.6	15.3	2.4	7.3	27.4	
	20～29歳	349	34.1	13.8	22.6	40.1	26.1	9.5	11.2	4.3	5.4	26.1	
	30～39歳	440	32.5	12.5	23.9	45.9	30.5	9.1	8.9	4.3	5.2	30.0	
	40～49歳	521	27.8	12.5	19.8	41.3	31.9	8.6	5.6	2.9	5.4	24.6	
	50～59歳	434	29.3	10.6	15.2	41.7	32.3	8.3	4.6	1.6	2.3	23.3	
	60～69歳	512	24.6	14.8	15.2	44.1	37.7	11.1	6.8	4.9	4.7	24.0	
	70歳以上	673	26.7	16.8	10.7	52.2	45.6	10.4	5.5	3.9	2.7	30.9	
居住地域	北海道	132	25.8	17.4	13.6	41.7	28.0	7.6	10.6	6.1	6.1	25.0	
	東北	217	26.7	13.4	17.1	42.9	36.9	12.9	7.4	4.6	2.8	26.7	
	北関東・甲信	235	31.9	13.6	19.6	45.1	38.7	8.9	6.8	2.1	4.7	31.5	
	南関東	863	30.4	15.2	18.7	42.6	34.1	10.9	7.2	4.3	4.6	27.0	
	東海	357	25.8	14.0	16.8	47.9	37.3	10.6	8.7	5.0	5.0	26.9	
	北陸	130	25.4	13.1	20.0	43.1	29.2	5.4	7.7	3.8	5.4	23.1	
	近畿	490	30.0	13.9	17.6	47.1	35.5	9.4	6.7	2.2	3.5	25.5	
	中国・四国	283	31.1	14.5	17.0	47.0	33.6	12.4	4.6	2.1	3.5	26.5	
	九州・沖縄	346	29.8	9.5	15.0	47.4	36.7	8.7	6.6	2.9	4.0	26.9	
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	29.6	15.0	23.3	42.6	29.8	8.6	7.3	3.0	4.6	23.8	
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	30.8	13.4	17.8	42.9	34.8	10.2	7.2	3.6	4.0	29.3	
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	31.6	11.6	13.3	38.2	38.7	10.7	1.8	1.3	3.6	20.0	
	学生	195	42.1	15.4	24.6	49.7	30.3	17.4	12.8	3.6	5.1	26.2	
	家事専業（主婦、主夫）	669	26.6	12.6	13.0	52.0	40.4	9.3	7.6	5.2	4.3	31.5	
	リタイア、無職	472	24.4	14.8	10.8	45.3	36.7	10.6	6.1	3.2	3.6	27.5	
	その他	69	26.1	13.0	23.2	34.8	43.5	11.6	8.7	5.8	7.2	17.4	
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	29.4	15.0	17.7	42.9	34.8	9.4	6.5	4.4	4.2	25.0	
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	29.5	13.8	17.5	46.3	36.3	10.3	7.3	3.5	4.5	27.7	
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	27.8	15.9	19.2	43.3	31.0	12.2	8.2	4.5	3.7	27.8	
	その他	172	26.7	9.3	14.0	38.4	25.6	7.0	5.8	1.2	3.5	18.6	
子どもとの同居	同居している	1159	28.7	14.4	18.4	45.6	33.0	9.7	7.7	4.5	5.3	27.8	
	同居していない	1414	29.6	13.1	16.7	45.5	36.8	10.7	6.9	2.6	3.5	26.5	
末子の成長段階	未就学児	301	30.9	15.0	21.3	45.8	26.9	12.6	11.6	5.3	7.0	32.2	
	小学生	155	24.5	13.5	20.6	47.7	25.8	5.2	5.8	1.9	4.5	26.5	
	中学生	86	26.7	12.8	16.3	46.5	37.2	11.6	10.5	8.1	10.5	23.3	
	高校生	85	24.7	7.1	14.1	37.6	29.4	1.2	3.5	1.2	2.4	18.8	
	大学・短大・高専以上や社会人	532	29.7	15.8	17.1	45.9	38.3	10.5	6.2	4.7	4.3	27.8	
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	28.9	13.6	18.0	43.9	33.5	9.9	7.4	3.9	4.5	26.6	
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	30.8	14.2	16.6	51.4	39.7	10.3	6.4	3.7	4.0	29.7	
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	27.4	15.8	20.0	36.3	33.5	11.6	7.9	2.8	5.1	19.5	
	その他	69	23.2	10.1	11.6	24.6	21.7	10.1	7.2	0.0	2.9	10.1	
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	36.6	20.2	25.4	47.4	39.0	15.0	12.2	6.6	6.1	26.3	
	いない	2261	28.7	13.3	16.8	45.7	35.0	10.0	6.9	3.1	4.1	27.4	
	どちらとも言えない	99	23.2	8.1	15.2	36.4	27.3	7.1	6.1	5.1	5.1	21.2	
世帯年収	300万円未満	584	27.1	14.9	14.6	43.2	32.4	9.8	7.4	3.8	4.8	27.4	
	300万円以上～700万円未満	1186	29.5	13.7	18.3	47.7	37.0	10.5	6.6	3.7	4.6	27.3	
	700万円以上～1,000万円未満	417	34.8	19.2	24.0	47.5	38.8	13.2	9.4	4.3	4.8	27.1	
	1,000万円以上	245	33.9	13.9	18.8	46.1	40.4	9.4	9.0	3.7	1.6	28.2	
	分からない・答えたくない	621	25.1	9.8	13.8	39.9	29.0	7.9	5.8	2.7	3.9	24.3	

18～19 歳と学生で「マンガ、アニメなど」、70 歳以上と家事専業で「伝統芸能」の回答が多い。また、世帯年収が高いほど「映画」という回答が増えている。

表Q19-[2]　文化芸術の国際発信のための重点分野

		N＝	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）	映画（アニメを除く）	マンガ、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアートなど）	民俗文化（地域の祭り、年中行事など）	生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く））	食文化	歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）	文化財の保存に必要な技術（製作、修理、修復の技術（茅葺、染織、手すき和紙、和楽器製作など）等）	特にない・分からない
全体		3053	42.8	24.0	15.7	28.9	24.2	33.0	39.3	34.2	22.1	16.9
性別	男性	1465	35.2	20.6	16.0	28.0	22.5	25.1	34.6	31.5	17.1	18.8
	女性	1577	50.2	27.3	15.6	29.9	25.8	40.4	43.8	36.8	26.8	14.8
	答えたくない	11	18.2	9.1	0.0	9.1	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	63.6
年齢別	18～19歳	124	34.7	24.2	21.8	49.2	26.6	28.2	43.5	29.8	20.2	8.9
	20～29歳	349	33.5	21.2	16.0	37.8	15.8	28.4	38.1	22.9	17.8	20.6
	30～39歳	440	39.3	24.5	18.9	37.5	26.4	33.9	40.7	30.9	22.3	14.8
	40～49歳	521	40.1	24.6	16.9	36.7	21.5	28.0	37.4	32.2	22.6	21.1
	50～59歳	434	39.2	22.6	12.4	24.2	20.5	28.3	32.3	32.7	21.2	22.8
	60～69歳	512	45.9	22.9	15.4	20.7	25.0	37.5	42.6	38.7	25.0	16.8
	70歳以上	673	53.6	26.4	13.8	18.3	30.5	39.1	41.8	42.2	22.4	11.0
居住地域	北海道	132	40.9	22.0	13.6	25.0	24.2	31.1	36.4	34.8	22.7	20.5
	東北	217	38.2	28.6	14.3	26.3	31.3	32.7	35.9	30.4	22.6	17.5
	北関東・甲信	235	48.9	28.5	17.9	32.3	29.8	32.8	39.6	39.6	30.2	17.0
	南関東	863	40.4	22.0	16.0	29.0	22.2	32.8	39.3	34.1	21.4	19.0
	東海	357	42.3	23.0	19.3	27.5	23.8	33.6	38.1	34.2	19.0	17.4
	北陸	130	42.3	24.6	16.2	31.5	31.5	33.8	42.3	31.5	24.6	13.8
	近畿	490	44.9	23.1	14.7	28.4	21.8	33.3	37.8	32.9	20.0	13.9
	中国・四国	283	41.7	26.9	13.8	26.5	21.6	30.4	41.3	35.7	21.9	13.8
	九州・沖縄	346	47.1	23.7	14.5	32.9	23.7	35.3	43.1	35.0	22.8	17.6
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	35.9	22.8	18.5	31.7	21.5	27.5	35.2	28.9	17.8	17.3
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	43.1	21.4	13.8	31.0	23.4	33.6	41.0	35.9	23.1	17.0
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	39.6	23.6	13.3	26.7	24.0	32.9	37.3	32.0	26.7	18.2
	学生	195	34.4	25.1	19.0	43.6	24.1	28.2	41.0	27.7	20.5	11.8
	家事専業（主婦、主夫）	669	53.5	27.7	14.9	24.8	26.8	40.7	42.3	39.6	27.2	15.7
	リタイア、無職	472	46.0	24.6	12.7	22.9	27.8	32.8	40.7	38.1	20.6	19.1
	その他	69	40.6	18.8	21.7	24.6	15.9	39.1	42.0	37.7	20.3	18.8
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	42.7	23.1	14.4	25.6	22.7	33.1	39.8	33.5	22.5	16.9
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	44.2	24.5	16.3	29.6	25.5	33.9	40.8	35.1	22.8	16.1
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	38.4	22.4	16.7	31.0	20.8	29.8	32.7	33.9	17.6	17.1
	その他	172	32.0	22.7	11.0	26.7	16.3	25.6	29.1	26.2	18.0	27.3
子どもとの同居	同居している	1159	41.4	23.8	16.3	29.6	22.3	30.8	36.6	33.6	22.4	17.3
	同居していない	1414	44.1	24.5	15.7	29.5	26.2	34.7	41.4	34.9	21.6	16.7
末子の成長段階	未就学児	301	38.9	23.6	20.3	36.9	22.9	30.2	42.9	28.2	21.6	19.3
	小学生	155	40.6	22.6	11.0	29.7	22.6	22.6	29.7	25.8	17.4	12.9
	中学生	86	44.2	27.9	14.0	37.2	17.4	29.1	36.0	31.4	17.4	19.8
	高校生	85	34.1	25.9	14.1	27.1	17.6	27.1	30.6	36.5	20.0	16.5
	大学・短大・高専以上や社会人	532	43.8	23.3	16.4	24.6	23.3	34.4	36.1	38.9	25.6	17.1
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	40.5	22.5	15.9	30.0	23.4	32.0	38.9	33.6	21.9	17.5
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	49.8	27.5	16.2	28.2	28.0	36.6	43.0	37.6	23.8	13.3
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	41.4	27.4	15.3	30.2	19.1	29.8	35.8	31.2	19.5	18.1
	その他	69	29.0	17.4	10.1	15.9	14.5	24.6	20.3	15.9	15.9	46.4
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	44.6	24.9	21.6	32.4	21.6	35.7	33.8	35.7	19.7	8.5
	いない	2261	43.2	24.1	15.7	29.2	25.2	32.9	39.9	34.7	22.2	17.2
	どちらとも言えない	99	31.3	24.2	11.1	30.3	14.1	28.3	35.4	23.2	22.2	29.3
世帯年収	300万円未満	584	42.6	23.3	12.8	25.9	24.5	33.4	39.9	33.6	22.8	18.2
	300万円以上～700万円未満	1186	45.0	25.0	16.8	31.3	26.7	34.7	40.4	37.8	23.1	11.6
	700万円以上～1,000万円未満	417	42.0	25.2	17.7	30.5	23.7	32.6	37.9	32.1	21.8	14.4
	1,000万円以上	245	43.7	24.5	18.0	28.2	22.4	37.1	41.6	39.6	21.6	13.5
	分からない・答えたくない	621	39.1	21.9	14.2	26.6	20.0	27.9	36.7	27.4	19.8	29.0

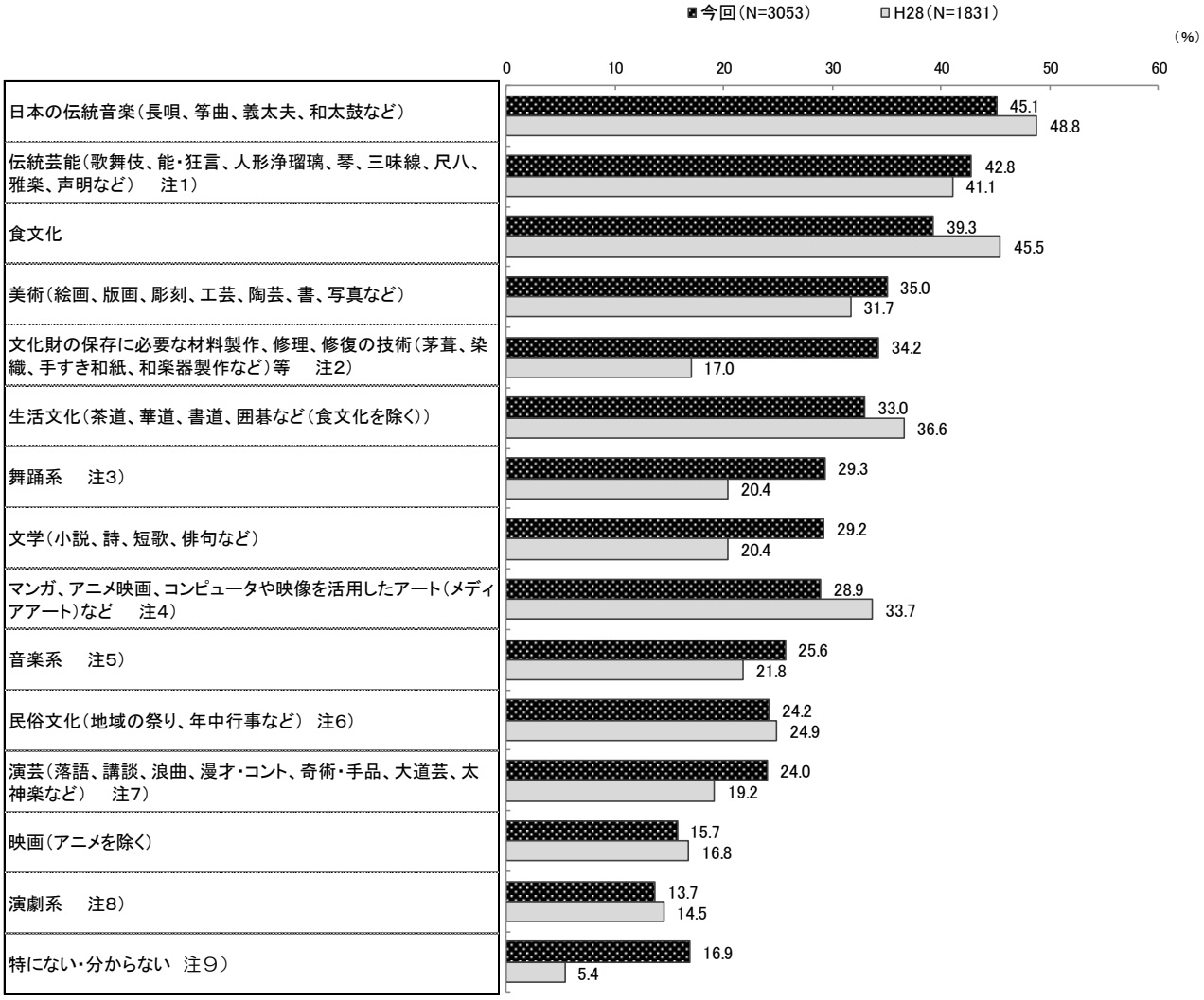
《経年比較》

平成 28 年調査との比較では、まず、「特にない・分からない」という回答が今回多くなっているため、他の項目の回答率が下がっていることが指摘される。回答項目の順位の差でみると、平成 28 年と今回では、１位の「日本の伝統音楽」は同じだが、２位は、今回は「伝統芸能」、28 年は「食文化」である（今回と前回では、２位と３位の順位が逆転している）。

また、回答率が全体として下がっている中で、「美術」、「文化財の保存に必要な技術」、「舞踊系」、「文学」、「音楽系」、「演芸」など多くの項目で前回より高い回答率となっていることも着目される。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Q19-②文化芸術の国際発信のための重点分野（経年比較）



注１）H28 での選択肢は「伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）」

注２）H28 での選択肢は「文化財の保存技術」

注３）今回の舞踊に関する選択肢を「舞踊系」にまとめた

H28 での選択肢は「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）

注４）H28 での選択肢は「マンガ、アニメ、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」

注５）今回の音楽に関する選択肢を「音楽系」にまとめた

H28 での選択肢は「音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など（日本の伝統音楽を除く））」

注６）H28 での選択肢は「民族文化財（神楽、地域の祭り、年中行事など）」

注７）H28 での選択肢は「芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）」

注８）今回の演劇に関する選択肢を「演劇系」にまとめた

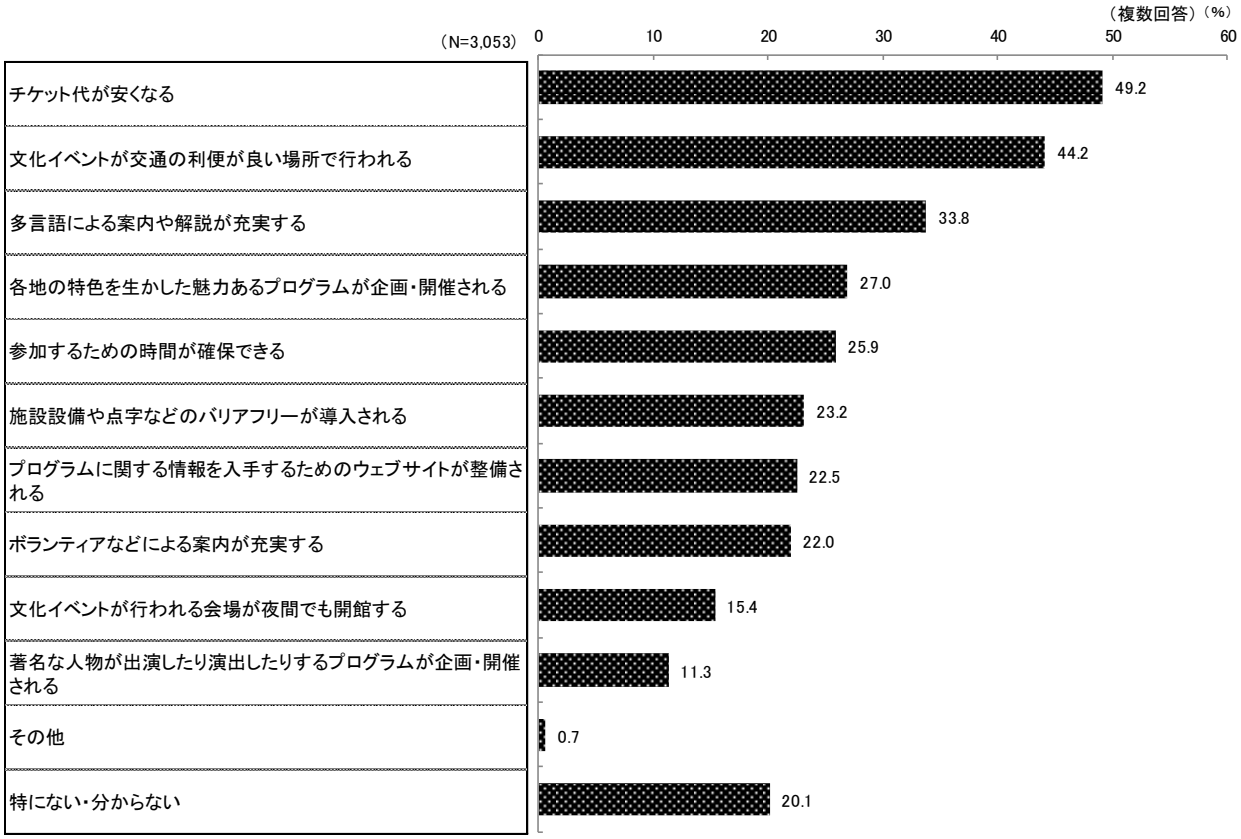
H28 での選択肢は「演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）」

注９）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

Q20	2020 年東京オリンピック・パラリンピックに関連して、文化イベントが全国各地で行われます。あなたは、文化イベントに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境が必要だと思いますか。（複数回答）

最も多いのは「チケット代が安くなる」の 49.2%で、ついで「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」の 44.2%、「多言語による案内や解説が充実する」（33.8）%などが並ぶ結果となった。

図Q20-①　オリンピック・パラリンピックの文化イベントへの参加促進策



「参加するための時間が確保できる」については、18～19 歳が最も多く、年齢が高まるに連れ回答率が下がっている。また、「著名な人物が出演したり演出したりするプログラム」も、50 歳未満の方が、50 歳以上より、回答が多い。職業別では、学生で「参加するための時間が確保できる」が、家事専業で「施設設備や点字などのバリアフリー」の回答が多い。「施設設備や点字などのバリアフリー」については、世帯年収が低い方が回答率が高くなる傾向もみられる。

表Q20　東京オリンピック・パラリンピックの文化イベントへの参加促進策

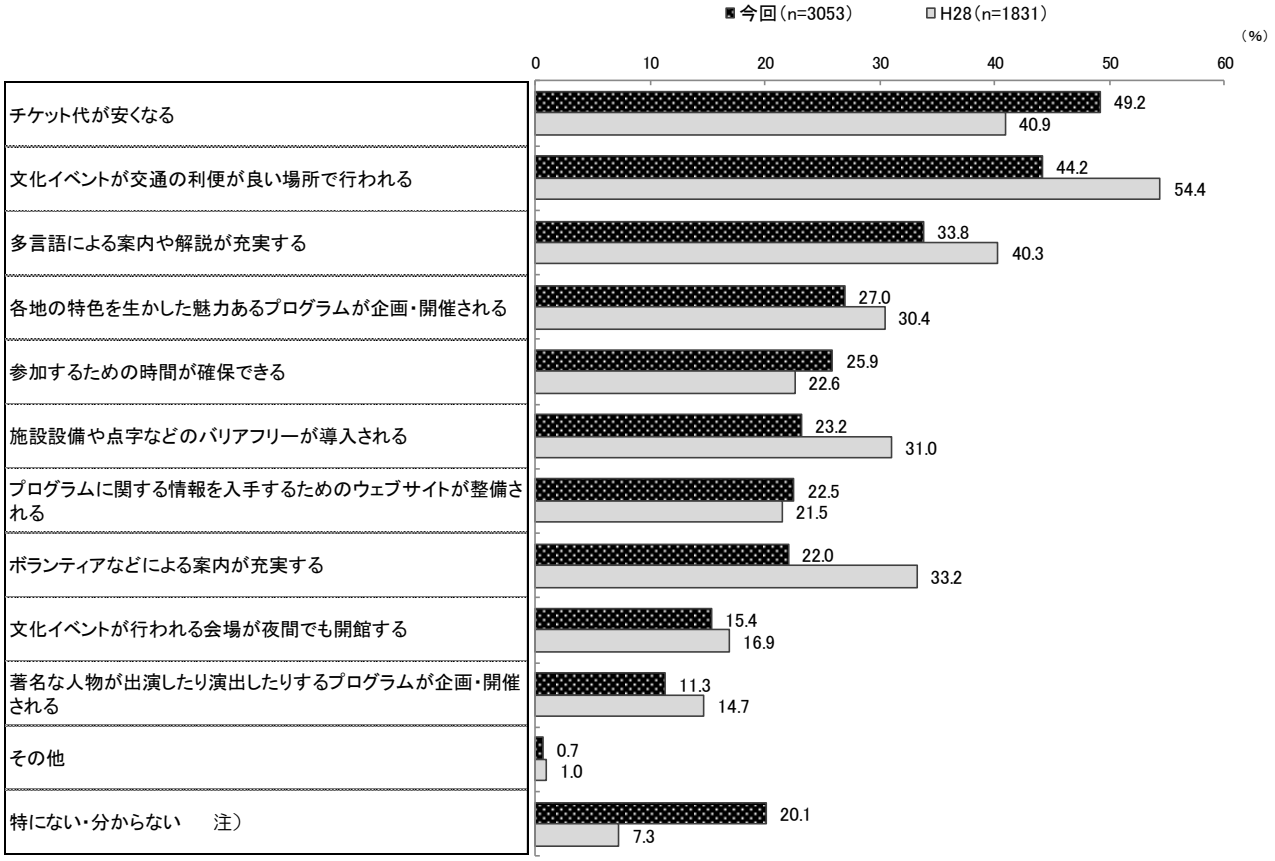
		N＝	文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる	チケット代が安くなる	参加するための時間が確保できる	文化イベントが行われる会場が夜間でも開館する	各地の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される	著名な人物が出演したりするプログラムが企画・開催される	プログラムに関する情報を入手するためのウェブサイトが整備される	ボランティアなどによる案内が充実する	多言語による案内や解説が充実する	施設設備や点字などのバリアフリーが導入される	その他	特にない・分からない
全体		3053	44.2	49.2	25.9	15.4	27.0	11.3	22.5	22.0	33.8	23.2	0.7	20.1
性別	男性	1465	39.7	46.6	26.8	15.2	23.0	11.0	19.8	17.3	29.2	16.8	0.7	22.8
	女性	1577	48.6	51.8	25.2	15.6	30.8	11.7	25.2	26.5	38.2	29.2	0.6	17.2
	答えたくない	11	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	81.8
年齢別	18～19歳	124	50.8	53.2	42.7	16.1	27.4	17.7	25.0	25.8	41.9	28.2	2.4	10.5
	20～29歳	349	43.3	45.0	35.8	16.9	19.8	14.6	19.2	17.8	31.8	21.8	0.9	20.6
	30～39歳	440	46.6	49.8	30.9	15.9	25.0	12.0	25.9	21.8	33.4	25.2	0.7	17.3
	40～49歳	521	38.4	43.0	30.1	14.6	21.9	12.3	20.7	16.1	28.2	19.0	1.0	26.3
	50～59歳	434	39.4	49.1	21.0	16.6	21.0	9.4	19.8	17.1	26.5	19.1	0.0	24.9
	60～69歳	512	40.4	51.4	19.3	14.3	31.3	9.8	23.0	22.9	34.4	25.4	0.6	19.5
	70歳以上	673	52.2	53.3	19.3	14.7	36.4	9.7	24.4	30.8	42.2	25.9	0.4	16.2
居住地域	北海道	132	42.4	43.2	20.5	15.2	27.3	13.6	26.5	22.0	34.8	20.5	0.0	23.5
	東北	217	44.2	49.3	30.9	18.9	28.1	13.4	23.0	22.6	31.8	26.3	0.0	23.0
	北関東・甲信	235	47.7	55.3	24.7	13.2	24.3	12.8	23.0	26.0	39.1	25.5	2.1	17.9
	南関東	863	41.9	49.9	25.1	14.9	24.0	10.8	21.4	21.3	33.6	21.8	0.8	21.8
	東海	357	45.4	47.1	28.6	13.2	27.5	9.8	19.9	20.4	29.1	22.4	0.3	19.9
	北陸	130	46.2	44.6	27.7	10.0	33.1	16.9	23.8	26.9	33.1	22.3	1.5	18.5
	近畿	490	40.8	52.7	27.8	17.6	29.2	10.4	23.3	18.8	30.6	22.0	0.4	16.7
	中国・四国	283	48.1	44.5	22.3	15.9	27.2	10.2	20.5	20.8	35.7	25.4	0.4	17.3
	九州・沖縄	346	47.4	48.0	24.6	16.5	29.2	11.3	26.0	26.0	39.6	25.1	0.6	22.5
職業別	企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	894	41.3	48.0	31.1	16.8	21.6	11.3	19.4	15.9	25.5	15.7	0.2	21.4
	パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	529	42.0	49.5	27.4	13.8	25.1	12.5	22.1	22.1	31.2	21.9	0.8	19.8
	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業	225	42.2	47.1	23.6	15.1	30.2	8.9	29.8	22.2	38.7	24.0	0.9	19.1
	学生	195	51.3	47.7	41.5	17.9	25.1	17.9	23.1	25.1	39.0	26.7	2.6	11.8
	家事専業（主婦、主夫）	669	51.9	53.1	19.3	14.5	32.4	10.6	25.7	28.7	40.5	33.3	0.3	17.3
	リタイア、無職	472	39.6	47.5	17.8	14.8	30.1	9.3	21.4	22.5	38.3	22.2	1.1	25.6
	その他	69	40.6	46.4	30.4	14.5	30.4	13.0	18.8	23.2	34.8	26.1	0.0	23.2
家族形態	ひとり暮らし（同居している家族はいない）	480	42.9	46.0	24.6	14.6	25.4	9.2	21.5	19.8	30.6	20.0	1.5	20.2
	核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）	2156	45.0	50.5	26.0	15.4	28.5	11.6	23.2	22.4	35.1	24.1	0.5	19.4
	三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）	245	44.5	48.6	31.4	19.6	22.0	12.2	21.6	24.5	31.4	24.1	0.4	17.1
	その他	172	36.0	41.9	20.9	11.0	18.6	12.8	18.0	19.2	30.2	19.8	1.2	33.1
子どもとの同居	同居している	1159	45.6	51.0	27.8	17.2	26.6	11.6	22.3	23.5	32.9	23.7	0.3	19.4
	同居していない	1414	43.4	48.7	24.8	14.1	27.8	11.8	23.1	21.6	35.6	23.8	0.6	20.7
末子の成長段階	未就学児	301	46.5	48.2	34.9	16.9	22.9	11.3	25.6	22.3	34.9	26.2	1.0	18.9
	小学生	155	43.9	52.3	32.3	16.8	26.5	12.3	17.4	14.8	28.4	20.6	0.0	16.8
	中学生	86	41.9	53.5	31.4	23.3	26.7	16.3	22.1	22.1	29.1	27.9	0.0	19.8
	高校生	85	49.4	42.4	25.9	22.4	17.6	8.2	21.2	25.9	29.4	11.8	0.0	20.0
	大学・短大・高専以上や社会人	532	45.7	53.2	22.2	15.6	30.1	11.5	22.2	26.5	34.2	24.4	0.2	20.3
健康状態	健康面で特に問題はない	1856	43.7	47.1	27.0	14.3	26.2	11.0	21.3	19.9	32.3	21.5	0.8	20.7
	持病などはあるが、普段の活動には問題はない	948	47.4	54.4	24.4	17.5	29.5	11.3	25.6	26.7	38.3	26.5	0.4	16.7
	障害、要介護その他で行動に制限がある	215	42.3	49.3	24.7	16.3	26.0	14.4	23.3	23.7	30.7	27.9	0.9	21.4
	その他	69	14.5	30.4	20.3	13.0	13.0	10.1	10.1	14.5	18.8	13.0	0.0	53.6
介護・介助が必要な家族の有無	いる	213	52.1	55.9	23.5	23.0	27.7	16.4	27.2	26.3	31.9	27.2	0.5	10.8
	いない	2261	44.2	49.8	26.9	14.9	27.3	11.4	22.5	22.3	34.7	23.2	0.5	20.5
	どちらとも言えない	99	32.3	35.4	15.2	12.1	24.2	9.1	18.2	17.2	33.3	30.3	0.0	31.3
世帯年収	300万円未満	584	45.0	53.1	22.6	15.4	23.3	9.1	20.4	24.1	34.4	26.4	1.2	20.4
	300万円以上～700万円未満	1186	45.8	51.3	26.1	15.9	30.8	12.6	24.7	22.3	36.3	23.4	0.4	14.8
	700万円以上～1,000万円未満	417	47.5	52.0	31.7	14.6	27.3	14.1	22.8	22.8	33.6	21.1	0.2	17.3
	1,000万円以上	245	47.8	46.9	28.6	21.2	30.6	13.9	22.9	18.4	29.0	19.6	1.2	15.9
	分からない・答えたくない	621	36.6	40.3	23.7	12.4	21.4	8.1	20.1	20.3	30.6	22.5	0.6	33.8

《経年比較》

平成 28 年調査との比較では、まず、「特にない・分からない」という回答が今回多くなっているため、他の項目の回答率が下がっていることが指摘される。回答項目の順位の差でみると、前回 1 位であった「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」が今回は２位になっており、今回１位の「チケット代が安くなる」が前回２位と上位２つが逆転している。３位の「多言語による案内や解説が充実する」は同じ、「ボランティアなどによる案内が充実する」（前回４位、今回８位）、「施設整備や点字などのバリアフリーが導入される」（前回５位、今回 6 位）は前回より順位を下げている。一方、「参加するための時間が確保できる」、「プログラムに関する情報を入手するためのウェブサイトが整備される」の順位は上昇している。

※前回までの調査は、ウェブ調査ではなく、調査員を使った面談調査となっている。そのため、分かりにくい質問でも、十分なレクチャーにより一定の回答が得られていたが、今回はウェブ調査となっているため、分かりにくい・答えにくい質問に関しては、「分からない」を選択する回答者が増える傾向にある。

図Q20-②　東京オリンピック・パラリンピックの文化イベントへの参加促進策（経年比較）



注）H28 での選択肢は「特にない」と「分からない」にわかれていたので、まとめた

Ⅲ．調査票及び集計結果

※（　）内の数字は全体の集計結果で％をあらわしている。

●プロフィール

回答者条件：全員 （N＝3,053）

F1　最初に、回答を統計的に分析するために、あなた自身のことについてお伺いします。 あなたの性別を教えてください。

（48.0）　1. 男性
（51.7）　2. 女性
（0.4）　3. 答えたくない

回答者条件：全員

F2　あなたの年齢を教えてください。

（4.1）　1. 18～19 歳
（11.4）　2. 20～29 歳
（14.4）　3. 30～39 歳
（17.1）　4. 40～49 歳
（14.2）　5. 50～59 歳
（16.8）　6. 60～69 歳
（20.2）　7. 70～79 歳
（1.8）　8. 80 歳以上
} 70 歳以上（22.0）

回答者条件：全員

F3　あなたのお住まいの都道府県をお知らせください。

（4.3）	1. 北海道		
（1.0）	2. 青森県	東北（7.1）	
（1.0）	3. 岩手県		
（1.8）	4. 宮城県		
（0.9）	5. 秋田県		
（0.9）	6. 山形県		
（1.5）	7. 福島県		
（2.3）	8. 茨城県		北関東・甲信（7.7）
（1.5）	9. 栃木県		
（1.5）	10. 群馬県		
（5.7）	11. 埼玉県	南関東（28.3）	
（4.8）	12. 千葉県		
（10.6）	13. 東京都		
（7.1）	14. 神奈川県		
（1.8）	15. 新潟県	北陸（4.3）	
（0.9）	16. 富山県		
（0.9）	17. 石川県		
（0.6）	18. 福井県		
（0.8）	19. 山梨県		
（1.6）	20. 長野県		
（1.6）	21. 岐阜県	東海（11.7）	
（2.9）	22. 静岡県		
（5.8）	23. 愛知県		
（1.4）	24. 三重県		
（1.1）	25. 滋賀県	近畿（16.0）	
（2.0）	26. 京都府		
（6.8）	27. 大阪府		
（4.3）	28. 兵庫県		
（1.1）	29. 奈良県		
（0.8）	30. 和歌山県		
（0.5）	31. 鳥取県	中国・四国（9.3）	
（0.6）	32. 島根県		
（1.6）	33. 岡山県		
（2.3）	34. 広島県		
（1.2）	35. 山口県		
（0.6）	36. 徳島県		
（0.9）	37. 香川県		
（1.1）	38. 愛媛県		
（0.5）	39. 高知県		

（3.9）	40. 福岡県	九州・沖縄（11.3）
（0.7）	41. 佐賀県	
（1.1）	42. 長崎県	
（1.4）	43. 熊本県	
（0.9）	44. 大分県	
（0.9）	45. 宮崎県	
（1.3）	46. 鹿児島県	
（1.1）	47. 沖縄県	

回答者条件：全員

F4　あなたの仕事を教えてください。

（29.3）	1. 企業・団体の正社員、正職員（役員・経営者含む）	
（17.3）	2. パートタイム、アルバイト、派遣社員、嘱託など	
（6.6）	3. 自営業主（家族従業者含む）、自由業	自営業主（家族従業者含む）、自由業、農林漁業（7.4）
（0.7）	4. 農林漁業	
（6.4）	5. 学生	
（21.9）	6. 家事専業（主婦、主夫）	
（15.5）	7. リタイア、無職	
（2.3）	8. その他	

回答者条件：全員

F5　あなたと同居している家族の状況を教えてください。

（15.7）	1. ひとり暮らし（同居している家族はいない）
（70.6）	2. 核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）
（8.0）	3. 三世代家族（親・子・孫の３世帯以上が同居）
（5.6）	4. その他

回答者条件：F5 で『2.核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）』～『4.その他』　いずれかを選択した方のみ （ｎ＝2,573）

F5SQ1　あなたは、あなた自身のお子さんと同居していますか。

（45.0）	1. 同居している
（55.0）	2. 同居していない

回答者条件：F5SQ1 で『1.同居している』　いずれかを選択した方のみ （ｎ＝1,159）

F5SQ2　同居されているお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」はどれに当てはまりますか。

（26.0）	1. 未就学児
（13.4）	2. 小学生
（7.4）	3. 中学生
（7.3）	4. 高校生
（45.9）	5. 大学・短大・高専以上や社会人

回答者条件：全員

F6　あなたの健康状態を教えて下さい。

障害、要介護その他で行動に制限がある（7.4）

（60.8）　1. 健康面で特に問題はない
（31.1）　2. 持病などはあるが、普段の活動には問題はない
（4.8）　3. 障害者手帳（身体障害者手帳、精神障害者手帳、療育手帳）を持っている
（1.2）　4. 要介護・要支援の認定を受けている
（1.4）　5. 障害者手帳の所持や要介護・要支援の認定はないが、健康面で不安があり、普段の活動に（一部）制限がある
（2.3）　6. その他

回答者条件：F5 で『2.核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）』～『4.その他』　いずれかを選択した方のみ　（n＝2,573）

F7　現在同居している家族に、病気・高齢・障害などにより、介護・介助が必要な方はいますか。

（8.3）　1. いる
（87.9）　2. いない
（3.8）　3. どちらとも言えない

回答者条件：全員

F8　昨年度の世帯全体の年収（税込み）は、おおよそどのくらいですか。

（19.1）　1. 300 万円未満
（38.8）　2. 300 万円以上～700 万円未満
（13.7）　3. 700 万円以上～1,000 万円未満
（8.0）　4. 1,000 万円以上
（20.3）　5. 分からない・答えたくない

1．文化芸術の鑑賞活動

回答者条件：全員

Q1　あなたは、この 1 年間で、どの程度、コンサートや美術展、アートや音楽のフェスティバル、歴史的な文化財の鑑賞、映画その他の文化芸術イベントを鑑賞しましたか。

（3.5）　1. 月数回以上
（7.0）　2. 月 1 回程度
（13.8）　3. 2～3 ヶ月に 1 回程度
（14.9）　4. 半年に 1 回程度
（14.7）　5. 年に 1 回程度
（46.1）　6. まったく・ほとんど鑑賞していない

回答者条件：Q1 で『1.月数回以上』～『5.年に 1 回程度』　いずれかを選択した方のみ（n＝1,647）

Q2 あなたが、この 1 年間に鑑賞した文化芸術のジャンルは何ですか。いくつでも選んでください。

（25.2）　1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
（31.5）　2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
（45.3）　3. 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）
（7.7）　4. 現代演劇、児童演劇、人形劇
（12.5）　5. ミュージカル
（3.3）　6. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
（3.6）　7. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
（2.1）　8. 日本舞踊
（8.0）　9. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
（7.7）　10. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
（9.2）　11. 花展、盆栽展、茶会、食文化などの展示、イベント
（43.6）　12. 映画（アニメを除く）
（13.3）　13. アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など
（29.6）　14. 歴史的な建物や遺跡、名勝地（庭園など）の文化財
（22.7）　15. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
（9.4）　16. 地域の伝統的な芸能や祭りなどを含む民俗文化財
（0.4）　17. その他（具体的に：　）
（1.2）　18. 分からない

回答者条件：Q1 で『6.まったく・ほとんど鑑賞していない』　いずれかを選択した方のみ（n＝1,406）

Q2SQ1　鑑賞しなかった理由は何ですか。いくつでも選んでください。

（19.5）　1. 近所で公演や展覧会などが行われていない
（1.1）　2. 夜間に公演や展覧会などが行われていない
（2.7）　3. 公演や展覧会などの情報が入手できない
（8.9）　4. 一緒に行く仲間がいない
（18.1）　5. 入場料・交通費など費用がかかり過ぎる
（1.8）　6. 公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難
（5.3）　7. 育児・介護などで時間がなかなか取れない
（8.9）　8. 仕事・学業などで時間がなかなか取れない
（4.1）　9. 小さな子どもを連れて行ける施設や行事が少ない
（1.1）　10. バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が少ない
（11.9）　11. 魅力ある公演や展覧会などが少ない
（7.2）　12. テレビ、ラジオ、ＣＤ・ＤＶＤ、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）ので
（35.4）　13. 関心がないから
（1.5）　14. その他　（具体的に：　）
（22.8）　15. 特にない・分からない

回答者条件：Q2SQ2 で『13.関心がないから』　いずれかを選択した方のみ （n＝498）

Q2SQ2　あなたはどのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞にもっと関心を持つようになると思いますか。いくつでも選んでください。

（14.3）　1. 自宅や職場の近くでたくさん催しが行われるようになる
（6.6）　2. オリンピックのように社会全体が話題にするような大きな文化芸術関係のイベントが行われる
（15.1）　3. 家族や親しい知人・友人に誘われる機会が増える
（4.6）　4. 仕事・家事・育児・介護などがひと段落して時間ができる
（20.3）　5. 今より経済的な余裕ができる
（20.5）　6. 無料で見られるコンサートや展覧会などが増える
（11.0）　7. テレビやインターネットなどメディアで興味を持てるアーティストや作品に出会う
（4.0）　8. 自分の地域のアーティストや作品、文化イベントが全国的、世界的に有名になる
（0.8）　9. その他　（具体的に：　）
（50.8）　10. 特にない・分からない

回答者条件：F5SQ2 で『1.未就学児』～『4.高校生』　いずれかを選択した方のみ （n＝627）

Q2SQ3　あなたと同居しているお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、この 1 年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで文化芸術を直接鑑賞したことはありますか。いくつでも選んでください。

※あなたや御家族が連れて行った場合に限らず、お子さんだけで鑑賞した場合、学校で鑑賞した場合なども全て選んでください。

（12.4）　1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
（10.0）　2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
（10.4）　3. 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）
（7.0）　4. 現代演劇、児童演劇、人形劇
（6.7）　5. ミュージカル
（2.2）　6. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
（2.6）　7. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
（1.0）　8. 日本舞踊
（2.4）　9. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
（2.7）　10. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
（2.2）　11. 花展、盆栽展、茶会、食文化などの展示、イベント
（16.6）　12. 映画（アニメを除く）
（16.6）　13. アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など
（9.3）　14. 歴史的な建物や遺跡、名勝地（庭園など）の文化財
（7.8）　15. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
（5.9）　16. 地域の伝統的な芸能や祭りなどを含む民俗文化財
（0.0）　17. その他（具体的に：　）
（40.4）　18. 鑑賞したものはない
（9.3）　19. 分からない

回答者条件：全員

Q3　美術館と博物館に限定してお聞きします。
あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きやすくなると思いますか。いくつでも選んでください。

（35.8）　1. 住んでいる地域やその近くに美術館・博物館ができる（増える）
（23.3）　2. 美術館や博物館へ行くための交通の利便が良くなる
（50.5）　3. 入場料が安くなる
（14.5）　4. 閉館時間が遅くなり、夜間でも鑑賞できるようにする
（7.1）　5. 入場者数を制限して混雑を解消する
（20.4）　6. 展覧会の開催に関する情報が分かりやすく提供される
（7.2）　7.高齢者、障害者向けの、行きやすい施設整備やバリアフリー、対応サービス等の導入
（8.9）　8. 小さな子どもを連れて行ける対応サービス、設備の充実
（14.6）　9. 全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会が開催される
（6.1）　10. 地域にゆかりのある芸術家の展覧会が開催される
（8.4）　11. 作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会が充実する
（7.1）　12. その地域ならではの文化財がいつも見られる観光名所の一つとなっている
（14.0）　13. 美術館や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設が充実する
（13.9）　14. 観光ガイドや観光マップに多く掲載され、旅行の際に立ち寄りやすくなっている
（10.6）　15. 他の美術館・博物館や観光施設との共同パスがあり、安く周遊できる
（1.2）　16. その他　（具体的に：　）
（21.2）　17. 特にない・分からない

2．鑑賞以外の文化芸術活動（創作、出演、習い事、祭、体験活動など）

回答者条件：全員

Q4　あなたは、この１年間に、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）をしたことはありますか。いくつでも選んでください。

（8.8）　1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
（5.6）　2. マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作
（6.2）　3. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
（4.7）　4. 音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講
（3.7）　5. 茶道、華道、書道などの習い事の受講
（3.4）　6. 郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加
（6.4）　7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
（0.7）　8. その他（具体的に：　）
（65.4）　9. この１年間、自分自身では文化芸術活動をしていない
（9.3）　10. 分からない

回答者条件：Q4 で『1.文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作』～『8.その他』　いずれかを選択した方のみ （n＝773）

Q5　では、あなたは、前問（Q4）で提示したような、創作や出演、習い事、地域の芸能や祭りへの参加などの活動を、この 1 年間で、どの程度しましたか。

（23.3）　1. 月数回以上
（19.1）　2. 月 1 回程度
（16.0）　3. 1～3 ヶ月に 1 回程度
（17.7）　4. 半年に 1 回程度
（23.8）　5. 年に 1 回程度

回答者条件：F5SQ2 で『1.未就学児』～『4.高校生』　いずれかを選択した方のみ （n＝627）

Q5SQ1　あなたの同居されているお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、学校以外で、この 1 年間に、この中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。いくつでも選んでください。

（8.9）　1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
（6.9）　2. マンガ、映画などの映像作品、ＣＧ、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作
（9.6）　3. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
（8.3）　4. 音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講
（4.1）　5. 茶道、華道、書道などの習い事の受講
（4.0）　6. 郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加
（10.0）　7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
（0.3）　8. その他（具体的に：　）
（58.5）　9. 特に行ったことはない
（9.3）　10. 分からない

回答者条件：全員

Q6　あなたは、この 1 年間に、文化芸術への支援の活動やボランティアをしたことはありますか。いくつでも選んでください。

（4.3）　1. 子どもの文化芸術体験のための支援活動
（3.6）　2. 高齢者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動
（2.7）　3. 障害者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動
（1.5）　4. 在住外国人の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動
（2.0）　5. 美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動
（1.5）　6. 劇場・ホールなどにおける案内や制作補助などの支援活動
（2.6）　7. 音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催のための支援活動
（2.1）　8. 歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動
（0.4）　9. その他（具体的に：　）
（79.8）　10. 文化芸術への支援活動やボランティアはしていない
（8.0）　11. 分からない

回答者条件：全員

Q7　では、あなたは、どうすれば鑑賞以外の創作、出演、習い事といった活動や支援・ボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。いくつでも選んでください。

（27.6）　1. 住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる
（22.6）　2. 活動に参加するための費用の負担が軽くなる
（21.3）　3. 活動のための時間が取れるようになる
（10.8）　4. 土日祝日や夜間などにも活動が行われる
（27.2）　5. 魅力ある内容の活動が行われる
（21.0）　6. 初心者向けの活動が提供される
（5.2）　7. 参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供されるようになる
（19.8）　8. 情報が入手しやすくなる
（17.9）　9. 一緒に活動する仲間ができる
（6.5）　10. 年齢や障害の有無にかかわらず、参加しやすい施設整備やバリアフリー、対応サービスの導入
（6.5）　11. 小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実
（0.9）　12. その他（具体的に：　）
（35.9）　13. 特にない・分からない

3．子どもの文化芸術体験

回答者条件：全員

Q8　あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。いくつでも選んでください。

（34.8）　1. 学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる
（25.7）　2. 学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる
（20.6）　3. 学校における華道・茶道・書道などの生活文化の体験機会を充実させる
（21.8）　4. 郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会を充実させる
（24.3）　5. 歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる
（20.2）　6. 学校と地域の文化芸術施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を実現する
（22.3）　7. ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる
（22.2）　8. 音楽祭や演劇祭など、地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する
（22.7）　9. 地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する
（0.9）　10. その他（具体的に：　）
（32.3）　11. 特にない・分からない

回答者条件：全員

Q9　子どもの文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。いくつでも選んでください。

（38.5）　1. 美しさなどへの感性が育まれる
（32.0）　2. コミュニケーション能力が高まる
（49.1）　3. 創造性や工夫をする力が高まる
（26.7）　4. 他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる
（14.2）　5. 学校生活における自信が向上する
（14.8）　6. 困難に直面したときの解決力が向上する
（36.3）　7. 日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる
（24.5）　8. 他国の人々や文化への関心が高まる
（20.6）　9. 文化芸術活動を将来続けていくきっかけとなる
（0.7）　10. その他
（23.8）　11. 特にない・分からない

４．地域の文化的環境

回答者条件：全員

Q10「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」との考え方について、あなたはどのように思いますか。

（26.7）　1. そう思う
（48.2）　2. どちらかといえばそう思う
（8.6）　3. どちらかといえばそう思わない
（4.9）　4. そう思わない
（11.6）　5. 分からない

回答者条件：全員

Q11　あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。

（4.1）　1. 満足している
（29.4）　2. どちらかといえば満足している
（26.8）　3. どちらかといえば満足していない
（13.5）　4. 満足していない
（26.2）　5. 分からない

回答者条件：全員

Q12　あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。この中から３つまで選んでください。

（29.5）　1. ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
（20.4）　2. 文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実
（22.5）　3. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
（8.6）　4. 芸術家や文化団体の活動の支援
（9.0）　5. 著名な芸術家の招へい
（20.9）　6. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
（19.0）　7. 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
（5.7）　8. 文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用
（8.8）　9. ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実
（21.6）　10. 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
（8.0）　11. 工芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興
（6.2）　12. 日本文化の国際的な知名度やイメージの向上
（1.1）　13. その他（具体的に：　）
（23.5）　14. 特にない・分からない

回答者条件：全員

Q13　近年、文化芸術活動を共に行うことを通じて、障害者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考え方があることを知っていますか。

（21.7）　1. 知っている
（78.3）　2. 知らない

回答者条件：全員

Q14　文化芸術活動を通じて、障害者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考えを実現するためにはどのような取組が必要だと思いますか。いくつでもあげてください。

（22.5）　1. 特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意する
（42.2）　2. 一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う
（26.4）　3. 障害者や高齢者、生活困窮者の博物館、美術館などの入場料を低額もしくは無料にする
（31.2）　4. 音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実
（13.9）　5. 作品の解説やワークショップの開催などにより、交流の場を提供する
（20.9）　6. 鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材の育成
（32.5）　7. 障害の有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の整備
（15.0）　8. 障害者の方が創作した作品などを鑑賞する機会の充実
（0.4）　9. その他（具体的に：　）
（7.5）　10. 特別な支援を行う必要はない
（17.4）　11. 分からない

5．文化芸術振興に対する寄付に関する意識

回答者条件：全員

Q15　あなたは、この 1 年間に、チケット代金以外の文化芸術振興に関わる寄付をしたことがありますか。

（5.6）　1. したことがある
（31.0）　2. したことはないが、今後はしてみたい
（44.0）　3. したことはなく、今後もしたいとは思わない
（19.4）　4. 分からない

回答者条件：全員

Q16　あなたは、どうすればもっと寄付しやすくなる、もしくは寄付してもいいと思えるようになると思いますか。いくつでも選んでください。

（29.3）　1. 寄付に関する基礎的な情報（寄付先、寄付の方法、特典など）が提供されること
（26.4）　2. 寄付に対する控除など、納税の際の優遇措置が拡充されること
（25.1）　3. 寄付先（文化芸術団体など）の活動状況や財務情報が積極的に公開されること
（20.3）　4. インターネット上での決済やクラウド・ファンディングなど、寄付の方法が簡易になること
（16.0）　5. 寄付先から提供される特典が充実すること
（4.2）　6. 寄付者一覧が広報誌やプログラムに掲載されるなど、寄付者に対する謝意の表し方を充実させること
（29.9）　7. 寄付金の収支が明確になること
（18.6）　8. 寄付金が使われる分野・内容を指定できるようにすること
（13.2）　9. ふるさと納税で文化芸術活動について支援できるようになること
（15.9）　10. 国や地方公共団体公認の信頼できる寄付先ができること
（1.7）　11. その他
（29.8）　12. 特にない・分からない

６．文化芸術の振興と効果

回答者条件：全員

Q17　あなたは、日本の文化財を観光の資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。いくつでも選んでください。

（48.8）　1. 文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている
（29.8）　2. 歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている
（30.1）　3. 文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある
（21.5）　4. さまざまな文化財や芸術文化、茶華道・書道・和食などの生活文化に関する展示・イベントが近隣で開催されることにより、一つの機会で複数の鑑賞、体験を行うことができる
（22.3）　5. 文化財の所在や内容に関する情報が充実していて分かりやすく表示・解説されている
（20.7）　6. 歴史的な文化について学べたり、体感できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している
（15.5）　7. 公衆無線ＬＡＮなどの通信環境が整備されていることにより、観光地において文化財に関する情報が入手しやすい
（17.5）　8. 訪日外国人への対応（多言語対応や異文化の人へのサービスなど）が充実している
（33.5）　9. 周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道など）が整備されている
（1.3）　10. その他
（22.3）　11. 特にない・分からない

７．文化芸術の国際交流・発信

回答者条件：全員

Q18 あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。この中からいくつでも選んでください。

（38.2）　1. 日本の国際化が進み、日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる
（37.4）　2. 異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる
（40.9）　3. 日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる
（33.0）　4. 日本への関心が高まり、訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる
（1.2）　5. その他
（24.5）　6. 特にない・分からない

回答者条件：全員

Q19 あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。この中からいくつでも選んでください。

（29.2）　1. 文学（小説、詩、短歌、俳句など）
（13.9）　2. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
（17.5）　3. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
（45.1）　4. 日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）
（35.0）　5. 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）
（10.1）　6. 現代演劇、児童演劇、人形劇
（7.1）　7. ミュージカル
（3.6）　8. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
（4.3）　9. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
（26.8）　10. 日本舞踊
（42.8）　11. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
（24.0）　12. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
（15.7）　13. 映画（アニメを除く）
（28.9）　14. マンガ、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など
（24.2）　15. 民俗文化（地域の祭り、年中行事など）
（33.0）　16. 生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く））
（39.3）　17. 食文化
（34.2）　18. 歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）
（22.1）　19. 文化財の保存に必要な材料製作、修理、修復の技術（茅葺、染織、手すき和紙、和楽器製作など）等
（16.9）　20. 特にない・分からない

回答者条件：全員

Q20　2020 年東京オリンピック・パラリンピックに関連して、文化イベントが全国各地で行われます。あなたは、文化イベントに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境が必要だと思いますか。いくつでもあげてください。

（44.2）　1. 文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる
（49.2）　2. チケット代が安くなる
（25.9）　3. 参加するための時間が確保できる
（15.4）　4. 文化イベントが行われる会場が夜間でも開館する
（27.0）　5. 各地の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される
（11.3）　6. 著名な人物が出演したり演出したりするプログラムが企画・開催される
（22.5）　7. プログラムに関する情報を入手するためのウェブサイトが整備される
（22.0）　8. ボランティアなどによる案内が充実する
（33.8）　9. 多言語による案内や解説が充実する
（23.2）　10. 施設設備や点字などのバリアフリーが導入される
（0.7）　11. その他（具体的に：　）
（20.1）　12. 特にない・分からない

Ⅳ．附属資料

★同居の末子の成長段階別回答

Q1　あなたは、この１年間で、どの程度、コンサートや美術展、アートや音楽のフェスティバル、歴史的な文化財の鑑賞、映画その他の文化芸術イベントを鑑賞しましたか。

		n＝	月数回以上	月1回程度	2～3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	まったく・ほとんど鑑賞していない
全体		1159	2.4	7.2	13.6	13.3	14.2	49.2
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	2.7	8.1	11.3	12.3	14.4	51.2
	大学・短大・高専以上や社会人	532	2.1	6.2	16.4	14.5	14.1	46.8

Q2　あなたが、この１年間に鑑賞した文化芸術のジャンルは何ですか。（複数回答）

		n＝	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
全体		589	25.1	32.9	43.3	8.8	11.7	3.6	4.2	2.4	8.3
同居の末子の成長段階	高校生以下	306	25.2	35.3	37.6	10.1	14.4	3.6	5.9	2.0	6.2
	大学・短大・高専以上や社会人	283	25.1	30.4	49.5	7.4	8.8	3.5	2.5	2.8	10.6

		n＝	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）	花展、盆栽展、茶会、食文化などの展示、イベント	映画（アニメを除く）	アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアートなど）	歴史的な建物や遺跡、名勝地（庭園など）の文化財	歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭りなどを含む民俗文化財	その他	分からない
全体		589	6.8	10.7	41.4	13.6	28.5	21.4	9.0	0.2	1.2
同居の末子の成長段階	高校生以下	306	4.9	6.5	44.1	21.6	21.9	20.3	9.8	0.3	1.3
	大学・短大・高専以上や社会人	283	8.8	15.2	38.5	4.9	35.7	22.6	8.1	0.0	1.1

Q2SQ1　鑑賞しなかった理由は何ですか。（複数回答）

		n＝	近所で公演や展覧会などが行われていない	夜間に公演や展覧会などが行われていない	公演や展覧会などの情報が入手できない	一緒に行く仲間がいない	入場料・交通費など費用がかかり過ぎる	公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難	育児・介護などで時間がなかなか取れない	仕事・学業などで時間がなかなか取れない	小さな子どもを連れて行ける施設や行事が少ない	バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が少ない	魅力ある公演や展覧会などが少ない	テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）ので	関心がないから	その他	特にない・分からない
全体		570	16.3	0.5	3.2	5.6	17.4	1.8	11.4	9.1	10.0	1.2	11.1	5.4	34.6	0.9	21.8
同居の末子の成長段階	高校生以下	321	14.6	0.0	2.5	5.3	15.6	1.6	19.0	10.9	17.1	1.6	7.8	3.1	32.4	0.6	19.9
	大学・短大・高専以上や社会人	249	18.5	1.2	4.0	6.0	19.7	2.0	1.6	6.8	0.8	0.8	15.3	8.4	37.3	1.2	24.1

Q2SQ2　あなたはどのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞にもっと関心を持つようになると思いますか。（複数回答）

		n＝	自宅や職場の近くでたくさん催しが行われるようになる	オリンピックのように社会全体が話題にするような大きな文化芸術関係のイベントが行われる	家族や親しい知人・友人に誘われる機会が増える	仕事・家事・育児・介護などがひと段落して時間ができる	今より経済的な余裕ができる	無料で見られるコンサートや展覧会などが増える	テレビやインターネットなどメディアで興味を持てるアーティストや作品に出会う	自分の地域のアーティストや作品、文化イベントが全国的、世界的に有名になる	その他	特にない・分からない
全体		197	14.7	7.6	14.2	6.1	18.8	17.8	8.6	4.1	0.5	51.3
同居の末子の成長段階	高校生以下	104	9.6	7.7	12.5	6.7	20.2	12.5	5.8	4.8	1.0	55.8
	大学・短大・高専以上や社会人	93	20.4	7.5	16.1	5.4	17.2	23.7	11.8	3.2	0.0	46.2

Q2SQ3　あなたと同居しているお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、この１年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで文化芸術を直接鑑賞したことはありますか。（複数回答）

		n＝	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾など）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
全体		627	12.4	10.0	10.4	7.0	6.7	2.2	2.6	1.0	2.4	2.7
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	12.4	10.0	10.4	7.0	6.7	2.2	2.6	1.0	2.4	2.7
	大学・短大・高専以上や社会人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		n＝	花展、盆栽展、茶会、食文化などの展示、イベント	映画（アニメを除く）	アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	歴史的な建物や遺跡、名勝地（庭園など）の文化財	歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など	地域の伝統的な芸能や祭りなどを含む民俗文化財	その他	鑑賞したものはない	分からない
全体		627	2.2	16.6	16.6	9.3	7.8	5.9	0.0	40.4	9.3
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	2.2	16.6	16.6	9.3	7.8	5.9	0.0	40.4	9.3
	大学・短大・高専以上や社会人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q3　あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きやすくなると思いますか。（複数回答）

		n＝	住んでいる地域やその近くに美術館・博物館ができる（増える）	美術館や博物館へ行くための交通の利便が良くなる	入場料が安くなる	閉館時間が遅くなり、夜間でも鑑賞できるようにする	入場者数を制限して混雑を解消する	展覧会の開催に関する情報が分かりやすく提供される	高齢者、障害者向けの、行きやすい施設整備やバリアフリー、対応サービス等の導入	小さな子どもを連れて行ける対応サービス、設備の充実	全国的あるいは世界的に著名な芸術家の展覧会が開催される
全体		1159	35.7	20.6	51.7	13.4	7.9	19.6	5.5	17.9	12.7
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	36.5	18.2	51.5	15.6	6.5	17.5	2.6	29.3	10.2
	大学・短大・高専以上や社会人	532	34.8	23.5	51.9	10.7	9.4	22.0	9.0	4.5	15.6

		n＝	地域にゆかりのある芸術家の展覧会が開催される	作品の解説やワークショップの開催など、作品に親しむ機会が充実する	その地域ならではの文化財がいつも見られる観光名所の一つとなっている	美術館や博物館に併設あるいは近隣の飲食店や商業施設が充実する	観光ガイドや観光マップに多く掲載され、旅行の際に立ち寄りやすくなっている	他の美術館・博物館や観光施設との共同パスがあり、安く周遊できる	その他	特にない・分からない
全体		1159	5.4	9.6	6.0	13.5	13.5	9.6	0.9	21.1
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	3.5	11.5	4.6	12.4	9.7	8.0	0.8	21.1
	大学・短大・高専以上や社会人	532	7.7	7.3	7.7	14.7	17.9	11.5	0.9	21.1

Q4　あなたは、この１年間に、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）をしたことはありますか。（複数回答）

		n＝	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	茶道、華道、書道などの習い事の受講	郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	この1年間、自分自身では文化芸術活動をしていない	分からない
全体		1159	8.6	5.4	6.5	4.2	3.0	4.6	8.8	0.4	65.7	9.3
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	8.9	8.3	8.3	4.0	2.9	5.4	9.6	0.2	63.0	9.6
	大学・短大・高専以上や社会人	532	8.3	2.1	4.3	4.5	3.2	3.6	7.9	0.8	69.0	9.0

Q5　あなたは、Q4 で提示したような、創作や出演、習い事、地域の芸能や祭りへの参加などの活動を、この 1 年間で、どの程度しましたか。

		n＝	月数回以上	月1回程度	1～3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度
全体		289	19.0	20.4	14.9	19.0	26.6
同居の末子の成長段階	高校生以下	172	18.6	22.1	15.1	18.6	25.6
	大学・短大・高専以上や社会人	117	19.7	17.9	14.5	19.7	28.2

Q5SQ1　あなたの同居されているお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、学校以外で、この 1 年間に、この中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。

		n＝	文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作	マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作	音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	茶道、華道、書道などの習い事の受講	郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	特に行ったことはない	分からない
全体		627	8.9	6.9	9.6	8.3	4.1	4.0	10.0	0.3	58.5	9.3
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	8.9	6.9	9.6	8.3	4.1	4.0	10.0	0.3	58.5	9.3
	大学・短大・高専以上や社会人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q6　あなたは、この 1 年間に、文化芸術への支援の活動やボランティアをしたことはありますか。（複数回答）

		n＝	子どもの文化芸術体験のための支援活動	高齢者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動	障害者の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動	在住外国人の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動	美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動	劇場・ホールなどにおける案内や制作補助などの支援活動	音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催のための支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	文化芸術への支援活動やボランティアはしていない	分からない
全体		1159	5.4	4.1	3.4	1.6	2.2	1.7	2.6	2.2	0.3	79.5	7.9
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	7.8	4.6	3.7	2.2	3.0	1.9	3.7	2.2	0.3	76.7	8.0
	大学・短大・高専以上や社会人	532	2.6	3.6	3.0	0.8	1.3	1.5	1.3	2.3	0.4	82.7	7.7

Q7　あなたは、どうすれば鑑賞以外の創作、出演、習い事といった活動や支援・ボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。（複数回答）

		n＝	住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる	活動に参加するための費用の負担が軽くなる	活動のための時間が取れるようになる	土日祝日や夜間などにも活動が行われる	魅力ある内容の活動が行われる	初心者向けの活動が提供される	参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供される	情報が入手しやすくなる	一緒に活動する仲間ができる	年齢や障害の有無にかかわらず、参加しやすい施設整備やバリアフリー、対応サービスの導入	小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実	その他	特にない・分からない
全体		1159	29.3	22.6	23.0	13.0	25.5	19.7	4.7	19.0	17.0	5.1	13.5	0.5	36.2
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	31.4	25.7	28.5	16.4	27.8	22.3	4.1	18.7	16.6	3.3	23.1	0.5	28.7
	大学・短大・高専以上や社会人	532	26.9	19.0	16.5	9.0	22.9	16.5	5.5	19.4	17.5	7.1	2.1	0.6	44.9

Q8　あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（複数回答）

		n＝	学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる	学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる	学校における華道・茶道・書道などの生活文化の体験機会を充実させる	郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会を充実させる	歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる	学校と地域の文化芸術施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を実現する	ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる	音楽祭や演劇祭など、地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する	地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する	その他	特にない・分からない
全体		1159	36.4	25.9	20.5	20.9	24.0	20.0	23.4	21.1	21.9	0.4	30.0
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	37.8	27.6	20.7	21.1	20.6	17.5	25.0	21.7	23.6	0.6	27.6
	大学・短大・高専以上や社会人	532	34.8	23.9	20.3	20.7	28.0	22.9	21.4	20.3	19.9	0.2	32.9

Q9　子どもの文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。（複数回答）

		n＝	美しさなどへの感性が育まれる	コミュニケーション能力が高まる	創造性や工夫をする力が高まる	他者の気持ちを理解したり思いやったりするようになる	学校生活における自信が向上する	困難に直面したときの解決力が向上する	日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる	他国の人々や文化への関心が高まる	文化芸術活動を将来続けていくきっかけとなる	その他	特にない・分からない
全体		1159	38.4	32.4	49.9	26.7	14.8	14.2	34.9	24.8	19.2	0.4	21.7
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	39.4	35.9	50.6	26.5	16.7	14.4	33.3	27.1	16.4	0.2	19.6
	大学・短大・高専以上や社会人	532	37.2	28.4	49.1	27.1	12.6	14.1	36.8	22.2	22.4	0.8	24.1

Q10　「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」との考え方について、あなたはどのように思いますか。

		n＝	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	分からない
全体		1159	24.1	50.0	9.9	4.9	11.0
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	23.8	48.6	12.1	5.7	9.7
	大学・短大・高専以上や社会人	532	24.4	51.7	7.3	3.9	12.6

Q11　あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。

		n＝	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	分からない
全体		1159	4.1	30.0	27.8	13.3	24.8
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	4.6	32.4	28.9	12.3	21.9
	大学・短大・高専以上や社会人	532	3.6	27.3	26.5	14.5	28.2

Q12　あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。（回答は３つ以内）

		n＝	ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	芸術家や文化団体の活動の支援	著名な芸術家の招へい	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用	ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実	子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	エ芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興	日本文化の国際的な知名度やイメージの向上	その他	特にない・分からない
全体		1159	28.9	18.9	23.2	8.1	9.0	21.5	18.5	5.3	10.4	26.1	7.0	5.4	0.9	21.5
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	27.8	20.4	19.9	8.6	7.7	19.9	14.5	3.8	11.8	32.4	5.4	4.6	1.1	21.1
	大学・短大・高専以上や社会人	532	30.3	17.1	27.1	7.5	10.5	23.3	23.1	7.0	8.8	18.6	8.8	6.4	0.8	22.0

Q13　近年、文化芸術活動を共に行うことを通じて、障害者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考え方があることを知っていますか。

		n＝	知っている	知らない
全体		1159	21.7	78.3
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	21.4	78.6
	大学・短大・高専以上や社会人	532	22.2	77.8

Q14　文化芸術活動を通じて、障害者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考えを実現するためにはどのような取組が必要だと思いますか。（複数回答）

		n＝	特別な配慮が必要となる人のために特別な機会を用意する	一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援を行う	障害者や高齢者、生活困窮者の博物館、美術館などの入場料を低額もしくは無料にする	音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実	作品の解説やワークショップの開催などにより、交流の場を提供する	鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材の育成	障害の有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の整備	障害者の方が創作した作品などを鑑賞する機会の充実	その他	特別な支援を行う必要はない	分からない
全体		1159	23.3	40.3	26.7	28.2	14.3	20.1	30.7	14.5	0.1	9.1	16.8
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	24.6	38.6	23.3	26.3	13.7	17.4	27.9	12.0	0.2	9.4	16.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	21.8	42.3	30.8	30.5	15.0	23.3	34.0	17.5	0.0	8.6	17.3

Q15　あなたは、この１年間に、チケット代金以外の文化芸術振興に関わる寄付をしたことがありますか。

		n＝	したことがある	したことはないが、今後はしてみたい	したことはなく、今後もしたいとは思わない	分からない
全体		1159	5.3	32.4	43.6	18.7
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	5.7	31.6	42.9	19.8
	大学・短大・高専以上や社会人	532	4.9	33.3	44.4	17.5

Q16　あなたは、どうすればもっと寄付しやすくなる、もしくは寄付してもいいと思えるようになると思いますか。（複数回答）

		n＝	寄付に関する基礎的な情報（寄付先、寄付の方法、特典など）が提供されること	寄付に対する控除など、納税の際の優遇措置が拡充されること	寄付先（文化芸術団体など）の活動状況や財務情報が積極的に公開されること	インターネット上での決済やクラウド・ファンディングなど、寄付の方法が簡易になること	寄付先から提供される特典が充実すること	寄付者一覧が広報誌やプログラムに掲載されるなど、寄付者に対する謝意の表し方を充実させること	寄付金の収支が明確になること	寄付金が使われる分野・内容を指定できるようにすること	ふるさと納税で文化芸術活動について支援できるようになること	国や地方公共団体公認の信頼できる寄付先ができること	その他	特にない・分からない
全体		1159	27.8	28.1	24.8	19.9	16.3	4.2	27.8	19.2	14.2	14.9	1.6	29.8
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	28.5	30.1	23.0	19.3	17.4	3.7	23.9	17.9	14.4	11.8	1.1	29.2
	大学・短大・高専以上や社会人	532	26.9	25.8	26.9	20.7	15.0	4.9	32.3	20.7	13.9	18.6	2.1	30.5

Q17 あなたは、日本の文化財を観光の資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。（複数回答）

		n＝	文化財が良好な状態で美しく保存・管理されている	歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている	文化財と周辺の景観に統一感や一体感がある	さまざまな文化財や芸術文化、茶華道・書道・和食などの生活文化に関する展示・イベントが近隣で開催され、複数の鑑賞、一つの機会で行うことができる	文化財の所在や内容に関する情報が充実していて分かりやすく表示・解説されている	歴史的な文化について学べたり、体感できたりする講座やツアー、ワークショップなどが充実している	環境が整備されていることにより、観光地において文化財に関する情報が入手しやすい	公衆無線LANなどの通信環境が整備されていること	訪日外国人への対応（多言語対応や異文化の人への対応サービスなど）が充実している	周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道など）が整備されている	その他	特にない・分からない
全体		1159	48.7	31.5	27.9	22.1	21.0	20.0	13.8	15.2	30.9	0.7	22.5	
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	46.7	32.9	24.7	20.9	18.7	20.3	13.2	15.6	28.7	0.3	23.0	
	大学・短大・高専以上や社会人	532	50.9	29.9	31.6	23.5	23.7	19.7	14.5	14.7	33.5	1.1	22.0	

Q18　あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。（複数回答）

		n＝	日本の国際化が進み、日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる	異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる	日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる	日本への関心が高まり、日本を訪れる外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる	その他	特にない・分からない
全体		1159	38.8	36.8	38.7	32.4	1.1	24.3
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	39.4	36.4	35.2	33.2	1.0	23.6
	大学・短大・高専以上や社会人	532	38.2	37.2	42.7	31.6	1.3	25.2

Q19　あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。（複数回答）

		n＝	文学（小説、詩、短歌、俳句など）	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など	日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊
全体		1159	28.7	14.4	18.4	45.6	33.0	9.7	7.7	4.5	5.3	27.8
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	27.9	13.2	19.5	45.3	28.4	9.1	8.9	4.3	6.2	27.8
	大学・短大・高専以上や社会人	532	29.7	15.8	17.1	45.9	38.3	10.5	6.2	4.7	4.3	27.8

		n＝	伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）	演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）	映画（アニメを除く）	マンガ、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	民俗文化（地域の祭り、年中行事など）	生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く））	食文化	歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）	文化財の保存に必要な材料製作、修理、修復の技術（茅葺、染織、手すき和紙、和楽器製作など）等	特にない・分からない
全体		1159	41.4	23.8	16.3	29.6	22.3	30.8	36.6	33.6	22.4	17.3
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	39.4	24.2	16.3	33.8	21.4	27.8	37.0	29.2	19.8	17.4
	大学・短大・高専以上や社会人	532	43.8	23.3	16.4	24.6	23.3	34.4	36.1	38.9	25.6	17.1

Q20 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに関連して、文化イベントが全国各地で行われます。あなたは、文化イベントに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境が必要だと思いますか。（複数回答）

		n＝	文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる	チケット代が安くなる	参加するための時間が確保できる	文化イベントが行われる会場が夜間でも開館する	各地の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される	著名な人物が出演したり演出したりするプログラムが企画・開催される	プログラムに関する情報を入手するためのウェブサイトが整備される	ボランティアなどによる案内が充実する	多言語による案内や解説が充実する	施設設備や点字などのバリアフリーが導入される	その他	特にない・分からない
全体		1159	45.6	51.0	27.8	17.2	26.6	11.6	22.3	23.5	32.9	23.7	0.3	19.4
同居の末子の成長段階	高校生以下	627	45.6	49.1	32.5	18.5	23.6	11.8	22.5	20.9	31.7	23.1	0.5	18.7
	大学・短大・高専以上や社会人	532	45.7	53.2	22.2	15.6	30.1	11.5	22.2	26.5	34.2	24.4	0.2	20.3

文化に関する世論調査
報告書

平成 31 年３月

発　行：文化庁 地域文化創生本部
〒605-8505　京都府京都市東山区東大路通松原上る
三丁目毘沙門町 43-3
電 話：075-330-6725
FAX：075-561-3512